

平成29年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

平成31年1月

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

平成29年5月1日現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、188,384人、日本語教育機関では、78,658人となっています（JASSO調べ）。

本機構では、平成30年1月に、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（7,000人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目 次

「平成29年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要	1
I. 調査の目的と方法	
1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査対象人数	3
5. 調査実施時期	3
II. 調査結果の内容	
1. アンケート回答状況	4
2. 日本留学前の状況	7
3. 在日・在学年数及び入学前の活動	10
4. 留学後の日本への印象等	12
5. 収入	15
6. 奨学金	17
7. 支出	20
8. アルバイト	23
9. 授業時間を除く学習・研究時間	29
10. 宿舎	35
11. 授業料等の保証人	42
12. 健康	44
13. 卒業後の進路希望等	47
参考資料	
平成29年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート用紙	65

「平成 29 年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により、7,000 人に対してアンケートを送付し、5,704 人から有効回答を得た。回答率は 81.5%であった。

2. 日本留学前の状況

(1) 日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」(60.8%) が最も多い回答であった。

(2) 留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」(54.8%) が最も多い回答であった。

(3) 留学情報の入手方法は、「親戚や友人に相談して」(47.5%) が最も多い回答であった。

※(1) から(3)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が4年未満の者は、4,685 人と全体の約8割(82.1%)であった。

また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は、3,058 人で全体の 53.6%で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと 1,738 人で全体の 30.5%であった。

なお、現在の大学等に直接入学しなかった者(2,562 人)のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は、約7割の 1,844 人(72.0%)であった。

4. 留学後の日本への印象等

(1) 日本人に対する印象が「良くなった」とする回答は、41.2%であった。

(2) 日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、92.0%であった。

(3) 留学後の苦労は、「物価が高い」(74.0%) が最も多い回答であった。

※(3)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

5. 収入

(1) 収入の平均月額、146,000 円であった。

(2) 収入は、主に「アルバイト」及び「仕送り」であった。

(3) 居住地域別の収入の平均月額は、関東地方が 157,000 円と全国で最も高く(東京のみでは 163,000 円)、四国地方が 117,000 円と最も低かった。

6. 奨学金

(1) 全体の約4割(39.3%)の者が何らかの奨学金を受けていた。

(2) 在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「学部正規課程」、「専門職大学院課程」であった。

(3) 学習奨励費を受けて良かったことは、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」(85.9%) が最も多い回答であった。

(4) 学習奨励費の給付に対する要望は、「給付期間を1年間から延ばしてほしい」(59.4%) が最も多かった。

※(3)及び(4)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

7. 支出

(1) 支出の平均月額は、146,000 円であった。

(2) 支出のうち「学習研究費」が最も多く、次いで「住居費」、「食費」の順であった。

(3) 支出が最も高いのは、民間のアパートやマンションに住む私立大学学部レベルの学生であり、平均月額は 157,000 円であった。最も低いのは、公立大学に通い大学の学生寮に住んでいる学部レベルの学生で、平均月額は 74,000 円であった。

8. アルバイト

- (1) 全体の7割以上(75.8%)が何らかのアルバイトに従事していた。
 - (2) 職種は、軽労働の「飲食業」が1,810人で全体の約4割(41.9%)であった。
 - (3) 従事時間は、週平均「20時間以上25時間未満」が1,535人(35.5%)と最も多く、次いで「15時間以上20時間未満」が765人(17.7%)であった。
- ※(2)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

9. 授業時間を除く学習・研究時間

- (1) 在籍段階別にみると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、194人(57.7%)が週当たり「週35時間以上」勉強していると回答しているが、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」を除いた在籍段階において、8割以上が、学習時間「週28時間未満」であり、その中でも特に「週7時間以上21時間未満」に集中していた。
- (2) 「医・歯学」分野の学生の約5割(46.7%)、「薬学」の約6割(57.9%)は、「週28時間以上」を学習時間にあてている一方で、「日本語」の約9割(87.4%)、「社会科学」約8割(80.6%)、「人文科学」8割(79.6%)、「家政」約7割(70.1%)、「教育」7割(69.4%)、「工学」6割(62.3%)は「週28時間未満」が多い回答であった。

10. 宿舍

- (1) 住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,302人(75.4%)と最も多かった。
- (2) 一人当たりの専有面積は、10㎡(約6畳)未満の者が全体の約5割(44.8%)であった。また、約8割の者が、個別のキッチン、バス・シャワー、トイレ付きの部屋に居住していた。
- (3) 単身、同居別では、約5割(単身48.5%、同居50.5%)と同じであった。また、同居のうち「2人で生活(同居人1人)」は995人(34.6%)、「3人で生活(同居人2人)」は955人(33.2%)であった。同居人の種類は、「外国人留学生」が1,621人(56.3%)と最も多い回答であった。
- (4) 地域別の住居費の全国平均月額額は34,000円で、関東地方が39,000円と最も高かった。
- (5) 宿舍入居の際に保証人を求められたと回答した者は、約6割(55.5%)の3,168人であった。また、保証人は、「大学・学校(代表者)」が757人(23.9%)と最も多かった。

11. 授業料等の保証人

授業料等の保証人を「求められた」と回答した者は約6割(60.2%)の3,434人であった。また、保証人は、「親族」が2,494人(72.6%)と最も多かった。

12. 健康

- (1) 健康保険に加入している者は、ほぼ全員(5,628人)で加入率は98.7%であった。
- (2) 健康保険加入者の中では、日本の国民健康保険に加入している者が5,186人(92.1%)であった。
- (3) 健康保険未加入者22人のうち、未加入理由は「保険料が高すぎる」と回答した者が3人(13.6%)で最も多かった。

13. 卒業後の進路希望等

- (1) 卒業後の予定は、「日本において就職」を希望した者が3,682人(64.6%)で最も多く、次いで「日本において進学」が2,940人(51.5%)であった。
 - (2) 「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「海外業務」1,242人(33.7%)が最も多く、次いで、「翻訳・通訳」1,193人(32.4%)、「貿易業務」909人(24.7%)、「経営・管理業務」903人(24.5%)であった。
 - (3) 就職活動時の要望は、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が1,905人(51.7%)で最も多く、次いで、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が1,900人(51.6%)であった。
- ※(1)から(3)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

※調査結果の率(%)合計値について、四捨五入や集計値の違いによって、若干の誤差が生じておりますので、あらかじめご承知おき下さい。

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

2. 調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍機関が1年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

3. 調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、所定のアンケート用紙及びアンケート回答用紙（無記名）を送付し、アンケート回答用紙を回収した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

4. 調査対象人数

7,000 人（国立大学 67 校 892 人、公立大学 14 校 106 人、私立大学 212 校 2,203 人、短期大学 17 校 47 人、専修学校（専門課程）100 校 1,550 人、準備教育課程 12 校 94 人、日本語教育機関 145 校 2,108 人）

5. 調査実施時期

平成 30 年 1 月

Ⅱ．調査結果の内容

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生 7,000 人にアンケートを送付し、有効回答を 5,704 人から得た（有効回答回収率 81.5%）。

回答者の性別の内訳（第 1-1 表）は、男性が 2,918 人（51.2%）、女性が 2,778 人（48.7%）であった。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が最も多く 2,341 人（41.0%）、以下「ベトナム」が 989 人（17.3%）、「ネパール」が 452 人（7.9%）、「韓国」が 416 人（7.3%）、「台湾」が 217 人（3.8%）と続いており、アジア出身者が全回答者数の 94.3%となっている。

回答者の在籍学校別の内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 828 人（14.5%）、「公立大学」が 92 人（1.6%）、「私立大学」が 1,868 人（32.7%）、「短期大学」が 40 人（0.7%）、「専修学校（専門課程）」が 1,211 人（21.2%）、「準備教育課程」が 82 人（1.4%）、「日本語教育機関」が 1,583 人（27.8%）であった。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「日本語教育機関」が 1,555 人（27.4%）、「学部正規課程」が 1,514 人（26.5%）、「専修学校（専門課程）」が 1,194 人（21.0%）、「大学院修士課程・博士前期課程」が 619 人（10.9%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 336 人（5.9%）、「準備教育課程」が 82 人（1.4%）、「短期大学」が 40 人（0.7%）、「専門職大学院課程」が 52 人（0.9%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 51 人（0.9%）、「大学院レベルの研究生」が 41 人（0.7%）と続いている。
なお、「その他」に、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、同様に、「日本語」が 2,083 人（36.5%）、「社会科学」が 1,226 人（21.5%）、「工学」が 613 人（10.7%）、「人文科学」が 411 人（7.2%）と続いている。

第 1-1 表 回答者の性別 (Q1 参照)

区分	男性	女性	不明	計
人数 (人)	2,918	2,778	8	5,704
率 (%)	51.2	48.7	0.1	100.0

第 1-2 表 出身国・地域別の回答者数

	国・地域	人数	割合%
アジア	中国	2,341	41.0
	ベトナム	989	17.3
	ネパール	452	7.9
	韓国	416	7.3
	台湾	217	3.8
	インドネシア	156	2.7
	ミャンマー	145	2.5
	スリランカ	142	2.5
	マレーシア	115	2.0
	タイ	107	1.9
	モンゴル	97	1.7
	バングラデシュ	85	1.5
	フィリピン	40	0.7
	インド	34	0.6
	カンボジア	18	0.3
	シンガポール	10	0.2
	パキスタン	9	0.2
	ラオス	4	0.1
	ブータン	2	0.0
	小計	5,379	94.3
中近東	トルコ	9	0.2
	イラン	8	0.1
	イスラエル	2	0.0
	サウジアラビア	2	0.0
	アフガニスタン	2	0.0
	シリア	1	0.0
	イエメン	1	0.0
	小計	25	0.4
アフリカ	エジプト	6	0.1
	ナイジェリア	6	0.1
	セネガル	6	0.1
	ケニア	3	0.1
	ガーナ	2	0.0
	エチオピア	2	0.0
	エリトリア	2	0.0
	チュニジア	1	0.0
	タンザニア	1	0.0
	カメルーン	1	0.0
	ザンビア	1	0.0
	コートジボワール	1	0.0
	モロッコ	1	0.0
	ギニア	1	0.0
	ウガンダ	1	0.0
	ジンバブエ	1	0.0
	アンゴラ	1	0.0
	小計	37	0.6
オセアニア	ニュージーランド	4	0.1
	オーストラリア	2	0.0
	小計	6	0.1
北米	アメリカ合衆国	30	0.5
	カナダ	12	0.2
	小計	42	0.7

(Q2 参照)

	国・地域	人数	割合%
中南米	メキシコ	8	0.1
	ブラジル	4	0.1
	ペルー	4	0.1
	コロンビア	3	0.1
	コスタリカ	2	0.0
	チリ	2	0.0
	グアテマラ	1	0.0
	エルサルバドル	1	0.0
	パラグアイ	1	0.0
	エクアドル	1	0.0
	ベネズエラ	1	0.0
	小計	28	0.5
ヨーロッパ	ロシア	38	0.7
	イタリア	25	0.4
	フランス	23	0.4
	ウズベキスタン	21	0.4
	スウェーデン	11	0.2
	スペイン	10	0.2
	ドイツ	9	0.2
	ウクライナ	6	0.1
	英国	5	0.1
	ノルウェー	3	0.1
	ポーランド	3	0.1
	カザフスタン	3	0.1
	トルクメニスタン	3	0.1
	ルーマニア	2	0.0
	アルメニア	2	0.0
	アイスランド	1	0.0
	フィンランド	1	0.0
	デンマーク	1	0.0
	ベルギー	1	0.0
	オランダ	1	0.0
	オーストリア	1	0.0
	ハンガリー	1	0.0
	セルビア	1	0.0
	ブルガリア	1	0.0
	リトアニア	1	0.0
	クロアチア	1	0.0
	スロベニア	1	0.0
	キルギス	1	0.0
	小計	177	3.1
その他	不明	10	0.2
	小計	10	0.2
合 計		5,704	100.0

第 1-3 表 回答者の在籍学校別内訳

(Q11・12 参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語教 育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
調査対象人数	892	106	2,203	3,201	47	1,550	94	4,892	2,108	7,000
回答人数	828	92	1,868	2,788	40	1,211	82	4,121	1,583	5,704
率 (%)	14.5	1.6	32.7	48.9	0.7	21.2	1.4	72.2	27.8	100.0
回収率 (%)	92.8	86.8	84.8	87.1	85.1	78.1	87.2	84.2	75.1	81.5

(注) 1. 人数は、第 1-4 表の在籍段階別のうち不明を除いた有効回答人数

2. 回収率は、在籍学校別の有効回答回収率

第 1-4 表 在籍段階別の回答者数

(Q12 参照)

区分	大学院博士課程 博士後期課程	大学院修士課程 博士前期課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語教 育機関	その他	計
人数 (人)	336	619	52	41	1,514	51	40	1,194	82	1,555	220	5,704
率 (%)	5.9	10.9	0.9	0.7	26.5	0.9	0.7	21.0	1.4	27.4	3.7	100.0

(注) 1. 「その他」に、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む

第 1-5 表 専攻分野別の回答者数

(Q16 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
人数 (人)	411	1,226	158	613	90	66	19	97	124	2,083	817	5,704
率 (%)	7.2	21.5	2.8	10.7	1.6	1.2	0.3	1.7	2.2	36.5	14.3	100.0

(注) 1. 「日本語」に、日本語教育機関の在籍数 1,583 人を含む

2. 「その他」に、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第 2-1 表）は、「学位を取得する」が最も多く、2,992 人（52.5%）、「就職に必要な技能や知識を身に付ける」が 2,818 人（49.4%）、「日本で働く、もしくは日本企業に就職する」が 2,637 人（46.2%）、「国際的な考え方を身に付けたい」が 1,757 人（30.8%）、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作りたい」が 1,702 人（29.8%）、「教養を身につける」が 1,479 人（25.9%）となっている。

第 2-1 表 留学の目的 （複数回答設問）

（Q3 参照）

区分	学位を取得するため	教養を身につけるため	就職に必要な技能や知識を身につけるため	日本で働く、もしくは日本企業に就職するため	国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため	国際的な考え方を身につけるため	良い環境で研究を行うため	日本語の能力を高めるため	異文化に接するため	その他	不明
集計 pt	8,291	3,384	6,411	5,161	2,830	2,642	879	2,026	1,280	96	—
集計 pt 率 (%)	25.1	10.3	19.4	15.6	8.6	8.0	2.7	6.1	3.9	0.3	—
人数 (人)	2,992	1,479	2,818	2,637	1,702	1,757	554	1,254	982	53	12
率 (%)	52.5	25.9	49.4	46.2	29.8	30.8	9.7	22.0	17.2	0.9	0.2
平成 27 年率 (%)	53.2	27.1	47.3	44.3	31.8	31.0	9.6	21.8	17.3	0.8	0.0
平成 25 年率 (%)	55.2	23.4	39.9	38.0	29.7	29.0	14.4	35.3	13.1	1.0	0.0

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

日本を留学先として選んだ理由（第 2-2 表）としては、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」が 3,467 人（60.8%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかったため」が 2,749 人（48.2%）、「日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため」が 1,947 人（34.1%）と続く。

第 2-2 表 日本を留学先として選んだ理由 （複数回答設問）

（Q4 参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため	地理的に近いため	興味ある専門分野があったため	異文化に接したかったため	日本語・日本文化を勉強したかったため	日本と関連のある職業に就きたかったため	奨学金を得られたため
集計 pt	9,329	4,644	1,966	2,768	2,537	5,199	2,119	518
集計 pt 率 (%)	28.6	14.2	6.0	8.5	7.8	15.9	6.5	1.6
人数 (人)	3,467	1,947	1,001	1,347	1,351	2,749	1,396	314
率 (%)	60.8	34.1	17.5	23.6	23.7	48.2	24.5	5.5
平成 27 年率 (%)	59.5	35.8	19.6	22.1	23.1	47.3	25.0	4.3
平成 25 年率 (%)	56.6	32.9	20.7	21.9	21.6	45.1	22.1	4.3

区分	友人、知人、家族等に勧められたため	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	その他	不明
集計 pt	1,713	419	1,319	142	—
集計 pt 率 (%)	5.2	1.3	4.0	0.4	—
人数 (人)	1,047	280	961	86	15
率 (%)	18.4	4.9	16.8	1.5	0.3
平成 27 年率 (%)	19.6	5.8	15.0	1.4	0.1
平成 25 年率 (%)	21.6	6.1	12.6	1.4	0.0

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学するにあたり不安に感じていたこと（第 2-3 表）は、「周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか」が最も多く、3,005 人（52.7%）、次いで、「自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか」2,975 人（52.2%）、「経済的な困難に直面しないかどうか」が 2,383 人（41.8%）と続く。

第 2-3 表 留学するにあたり不安に感じていたこと（複数回答設問）

（Q5 参照）

区分	日本の天候や食べ物、習慣に適應できるかどうか	自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか	周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか	適切な宿舎を確保できるかどうか	病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか	孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか	経済的な困難に直面しないかどうか	特に不安はなかった	その他	不明
集計 pt	4,127	7,659	6,684	1,324	2,801	2,202	3,910	1,713	159	—
集計 pt 率 (%)	13.5	25.0	21.9	4.3	9.2	7.2	12.8	5.6	0.5	—
人数 (人)	1,579	2,975	3,005	700	1,516	1,368	2,383	816	92	19
率 (%)	27.7	52.2	52.7	12.3	26.6	24.0	41.8	14.3	1.6	0.3
平成 27 年率 (%)	25.0	54.0	51.5	13.7	25.2	22.6	45.2	14.4	1.6	0.2
平成 25 年率 (%)	19.1	47.8	44.5	8.2	24.8	21.8	44.8	15.0	1.9	0.2

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学するまでに特に苦勞したこと（第 2-4 表）は、「日本語学習」が最も多く、3,124 人（54.8%）、次いで、「情報の収集」が 2,822 人（49.5%）、「留学資金準備」が 2,649 人（46.4%）となっている。

第 2-4 表 留学するまでに特に苦勞したこと（複数回答設問）

（Q6 参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
集計 pt	7,343	7,608	3,052	3,184	5,182	2,700	467	—
集計 pt 率 (%)	24.9	25.8	10.3	10.8	17.5	9.1	1.6	—
人数 (人)	2,822	3,124	1,521	1,639	2,649	1,713	243	50
率 (%)	49.5	54.8	26.7	28.7	46.4	30.0	4.3	0.9
平成 27 年率 (%)	49.2	53.6	28.8	29.0	46.8	29.2	4.7	0.5
平成 25 年率 (%)	40.1	50.7	21.9	25.0	43.7	24.1	3.8	0.6

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学情報の入手方法（第 2-5 表）としては、「親戚や友人に相談して」が最も多く、2,709 人（47.5%）、次いで、「インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）の HP を検索して」が 2,558 人（44.8%）、「母国の学校や教員に相談して」が 1,954 人（34.3%）と続いている。

第 2-5 表 留学情報の入手方法 （複数回答設問）

（Q7 参照）

区分	日本留学フェア 教育展等に 参加して	入学を希望する 学校に直接 問い合わせして	在外日本大使館 等の在外公館に 問い合わせして	母国の政府 教育機関に 問い合わせ して	日本学生支援 機構(JASSO)に 問い合わせして	インターネット を利用して学校 や日本学生支援 機構(JASSO)の HPを検索して	その他の 民間団体に 問い合わせして
集計 pt	4,034	4,031	653	1,536	447	5,807	2,548
集計 pt 率 (%)	13.9	13.9	2.3	5.3	1.5	20.0	8.8
人数 (人)	1,539	1,662	294	639	213	2,558	1,133
率 (%)	27.0	29.1	5.2	11.2	3.7	44.8	19.9
平成 27 年率 (%)	26.9	29.8	5.5	11.7	3.8	45.6	19.0
平成 25 年率 (%)	20.7	24.1	3.6	11.3	3.2	36.9	17.3

区分	日本の出版物を 購入して	母国の学校や 教員に 相談して	親戚や友人に 相談して	その他	不明
集計 pt	659	4,037	4,828	423	—
集計 pt 率 (%)	2.3	13.9	16.6	1.5	—
人数 (人)	376	1,954	2,709	215	25
率 (%)	6.6	34.3	47.5	3.8	0.4
平成 27 年率 (%)	7.1	33.7	46.5	3.3	0.2
平成 25 年率 (%)	4.8	29.6	41.7	3.8	0.2

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合を示す。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第3-1表）は、「1年以上2年未満」の1,854人（32.5%）が最も多く、次いで、「2年以上3年未満」が1,032人（18.1%）、「1年未満」が904人（15.8%）と続き、在日年数が「1年以上4年未満」の者が3,781人（66.3%）で全体の約7割である。

第3-1表 在日年数

（Q8参照）

区分	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	不明	計
人数（人）	904	1,854	1,032	895	459	268	269	23	5,704
率（%）	15.8	32.5	18.1	15.7	8.0	4.7	4.7	0.4	100.0
平成27年率（%）	14.9	29.9	17.3	15.6	9.1	7.2	5.7	0.2	100.0
平成25年率（%）	11.8	24.2	17.3	19.5	13.3	7.5	6.3	0.1	100.0

在籍段階別の在日年数（第3-2表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」の約5割（53.6%）が在日3年以上であり、課程の段階があがるにつれて在日年数が増えている。

第3-2表 在籍段階別の在日年数

（Q8・12参照）

区分		1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	44	55	55	50	42	30	58	2	336
	率（%）	13.1	16.4	16.4	14.9	12.5	8.9	17.3	0.6	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	99	147	146	90	42	28	67	0	619
	率（%）	16.0	23.7	23.6	14.5	6.8	4.5	10.8	0.0	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	11	10	9	10	7	3	2	0	52
	率（%）	21.2	19.2	17.3	19.2	13.5	5.8	3.8	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	6	10	7	6	5	4	3	0	41
	率（%）	14.6	24.4	17.1	14.6	12.2	9.8	7.3	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	191	237	295	316	247	149	77	2	1,514
	率（%）	12.6	15.7	19.5	20.9	16.3	9.8	5.1	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	6	7	11	9	6	6	5	1	51
	率（%）	11.8	13.7	21.6	17.6	11.8	11.8	9.8	2.0	100.0
短期大学	人数（人）	2	13	8	9	3	2	3	0	40
	率（%）	5.0	32.5	20.0	22.5	7.5	5.0	7.5	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	71	235	411	364	64	20	25	4	1,194
	率（%）	5.9	19.7	34.4	30.5	5.4	1.7	2.1	0.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	30	51	1	0	0	0	0	0	82
	率（%）	36.6	62.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	409	1,036	48	9	15	11	20	7	1,555
	率（%）	26.3	66.6	3.1	0.6	1.0	0.7	1.3	0.5	100.0
その他	人数（人）	35	53	41	32	28	15	9	7	220
	率（%）	15.9	24.1	18.6	14.5	12.7	6.8	4.1	3.2	100.0
合計	人数（人）	904	1,854	1,032	895	459	268	269	23	5,704
	率（%）	15.8	32.5	18.1	15.7	8.0	4.7	4.7	0.4	100.0

次の表（第3-3表と第3-4表）は、在籍段階別の在籍学生の経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

表3-3を見ると、来日後、「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者は3,058人（53.6%）で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと1,738人で全体の30.5%であった。

また、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者は 2,562 人 (44.9%) である。

第 3-3 表 在籍段階別の在籍学生の経路

(Q9・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
直接入学 の者	人数 (人)	212	300	26	23	588	24	22	439	68	1,252	104	3,058
	率 (%)	63.1	48.5	50.0	56.1	38.8	47.1	55.0	36.8	82.9	80.5	47.3	53.6
	平成 27 年率 (%)	61.6	43.2	41.5	44.0	36.7	59.6	48.1	36.3	70.0	79.3	50.9	51.2
	平成 25 年率 (%)	62.2	39.7	56.3	52.9	39.8	49.3	44.1	37.9	78.0	81.3	42.7	48.6
直接入学 以外の者	人数 (人)	120	314	24	16	918	25	17	738	13	270	107	2,562
	率 (%)	35.7	50.7	46.2	39.0	60.6	49.0	42.5	61.8	15.9	17.4	48.6	44.9
	平成 27 年率 (%)	37.6	55.4	56.6	56.0	62.5	40.4	51.9	62.3	27.1	18.0	47.6	47.3
	平成 25 年率 (%)	37.8	60.3	43.7	47.1	60.2	50.7	55.9	62.1	22.0	18.6	57.3	51.3
不明	人数 (人)	4	5	2	2	8	2	1	17	1	33	9	84
	率 (%)	1.2	0.8	3.8	4.9	0.5	3.9	2.5	1.4	1.2	2.1	4.1	1.5
	平成 27 年率 (%)	0.8	1.4	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3	2.9	2.7	1.5	1.5
	平成 25 年率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	人数 (人)	336	619	52	41	1,514	51	40	1,194	82	1,555	220	5,704
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校にすぐ入学した者を示す。

また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す。

第 3-4 表 直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況

(Q10・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
日本語 教育機関	人数 (人)	50	165	14	7	704	19	13	615	11	176	70	1,844
	率 (%)	41.7	52.5	58.3	43.8	76.7	76.0	76.5	83.3	84.6	65.2	65.4	72.0
準備教育課程	人数 (人)	5	18	1	1	14	0	0	8	0	3	3	53
	率 (%)	4.2	5.7	4.2	6.3	1.5	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	2.8	2.1
留学生別科	人数 (人)	12	28	2	2	70	2	2	21	0	4	3	146
	率 (%)	10.0	8.9	8.3	12.5	7.6	8.0	11.8	2.8	0.0	1.5	2.8	5.7
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	0	1	2	0	37	0	0	27	0	1	9	77
	率 (%)	0.0	0.3	8.3	0.0	4.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.4	8.4	3.0
高等専門学校	人数 (人)	0	7	0	0	15	0	1	5	0	4	4	36
	率 (%)	0.0	2.2	0.0	0.0	1.6	0.0	5.9	0.7	0.0	1.5	3.7	1.4
短期大学	人数 (人)	1	1	0	0	8	0	0	5	0	4	0	19
	率 (%)	0.8	0.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	1.5	0.0	0.7
大学の学部	人数 (人)	9	42	2	1	19	2	0	12	0	19	1	107
	率 (%)	7.5	13.4	8.3	6.3	2.1	8.0	0.0	1.6	0.0	7.0	0.9	4.2
大学院	人数 (人)	21	15	1	4	1	0	0	3	0	4	0	49
	率 (%)	17.5	4.8	4.2	25.0	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	1.5	0.0	1.9
働いていた	人数 (人)	5	14	1	1	14	0	1	22	0	24	5	87
	率 (%)	4.2	4.5	4.2	6.3	1.5	0.0	5.9	3.0	0.0	8.9	4.7	3.4
その他	人数 (人)	15	22	0	0	28	2	0	7	2	12	10	98
	率 (%)	12.5	7.0	0.0	0.0	3.1	8.0	0.0	0.9	15.4	4.4	9.3	3.8
不明	人数 (人)	2	1	1	0	8	0	0	13	0	19	2	46
	率 (%)	1.7	0.3	4.2	0.0	0.9	0.0	0.0	1.8	0.0	7.0	1.9	1.8
合計	人数 (人)	120	314	24	16	918	25	17	738	13	270	107	2,562
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 回答者数は、第 3-3 表の直接入学以外の者の数 (2,562 人)

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本人に対する印象（第 4-1 表）は、「良くなった」と回答した者が 2,348 人（41.2%）で約 4 割となっており、「悪くなった」と回答した者は 706 人（12.4%）である。

第 4-1 表 留学後の日本人に対する印象

（Q22 参照）

区分	留学前は悪かったが留学後に良くなった	留学前から良かったが留学後にさらに良くなった	留学前は良かったが留学後に悪くなった	留学前から悪かったが留学後にさらに悪くなった	留学前から良かったが留学後に特に変化は無い	留学前から悪かったが留学後に特に変化は無い	不明	計
人数（人）	497	1,851	686	20	2,538	45	67	5,704
率（%）	8.7	32.5	12.0	0.4	44.5	0.8	1.2	100.0
平成 27 年率（%）	10.6	35.0	9.3	0.6	42.1	0.7	1.7	100.0
平成 25 年率（%）	13.5	37.0	6.9	0.4	41.3	0.2	0.9	100.0

日本へ留学しての全体的な印象（第 4-2 表）は、留学して「良かった」と回答した者が 5,247 人（92.0%）で約 9 割になっており、「悪かった」と回答した者は 68 人（1.2%）である。

第 4-2 表 日本へ留学しての全体的な印象

（Q23 参照）

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
人数（人）	5,247	68	348	41	5,704
率（%）	92.0	1.2	6.1	0.7	100.0
平成 27 年率（%）	90.8	1.1	7.7	0.4	100.0
平成 25 年率（%）	90.3	0.3	9.2	0.2	100.0

留学して良かったこと（第 4-3 表）は、「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が 3,521 人（67.1%）、次いで「日本語が習得できたこと」が 3,427 人（65.3%）である。

また、最もあてはまると回答した項目は「質の高い教育を受けられたこと」が一番多く 2,276 人（41.5%）、「日本語が習得できたこと」が 1,676 人（30.6%）、「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が 670 人（12.2%）、「日本人の友人ができたこと」が 332 人（6.1%）と続く。

第 4-3 表 留学して良かったこと（複数回答設問）

（Q24 参照）

区分	質の高い教育を受けられたこと	日本語が習得できたこと	日本人の友人ができたこと	国際的な人脈ができたこと	国際的な考え方、教養を身につけることができたこと	その他	不明
集計 pt	7,770	8,168	4,066	3,314	5,669	269	—
集計 pt 率（%）	26.6	27.9	13.9	11.3	19.4	0.9	—
人数（人）	2,880	3,427	2,152	1,875	3,521	164	0
率（%）	54.9	65.3	41.0	35.7	67.1	3.1	0.0
平成 27 年率（%）	54.6	64.8	40.8	35.3	67.3	4.4	0.5
平成 25 年率（%）	44.6	58.8	35.4	26.0	61.0	2.7	0.0

（注）1. 回答者は、第 4-2 表で良かったと回答した者

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

在籍校の良い点と悪い点（第 4-4 表）は、良い点として「学生のサポート体制」が 2,536 人（44.5%）、「学修環境」が 1,651 人（28.9%）と続く。一方、悪い点として、「その他」「不明」を除き、「課外活動」が 866 人（15.2%）、「福利厚生」が 533 人（9.3%）である。

第 4-4 表 在籍校の良い点と悪い点（複数回答設問）

（Q21 参照）

区分		学生の サポート体制	学修環境	研究内容	福利厚生	課外活動	その他	不明
良い点	人数（人）	2,536	1,651	546	135	329	77	430
	率（%）	44.5	28.9	9.6	2.4	5.8	1.3	7.5
	平成 27 年率（%）	40.8	30.2	10.4	2.7	5.7	3.7	6.6
	平成 25 年率（%）	41.6	32.3	11	2.4	4.8	3.6	4.3
悪い点	人数（人）	330	432	292	533	866	501	2,750
	率（%）	5.8	7.6	5.1	9.3	15.2	8.8	48.2
	平成 27 年率（%）	7.6	8.6	5.5	12.3	16.1	17.2	32.7
	平成 25 年率（%）	7.9	8.1	5	13.3	15.1	17.6	33.2

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-5 表）を見ると、「良かった」が 9 割以上であり、在日年数が「6 年以上」（93.7%）が最も高い率となっている。在日年数が多くなるほど、印象が良くなる傾向がある。

第 4-5 表 在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象

（Q8・23 参照）

区分			良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
在日年数	1 年未満	人数（人）	827	9	59	9	904
		率（％）	91.5	1.0	6.5	1.0	100.0
	1 年～2 年未満	人数（人）	1,697	24	122	11	1,854
		率（％）	91.5	1.3	6.6	0.6	100.0
	2 年～3 年未満	人数（人）	948	16	63	5	1,032
		率（％）	91.9	1.6	6.1	0.5	100.0
	3 年～4 年未満	人数（人）	830	7	51	7	895
		率（％）	92.7	0.8	5.7	0.8	100.0
	4 年～5 年未満	人数（人）	428	4	25	2	459
		率（％）	93.2	0.9	5.4	0.4	100.0
	5 年～6 年未満	人数（人）	249	1	18	0	268
		率（％）	92.9	0.4	6.7	0.0	100.0
	6 年以上	人数（人）	252	6	10	1	269
		率（％）	93.7	2.2	3.7	0.4	100.0
不明		人数（人）	16	1	0	6	23
		率（％）	69.6	4.3	0.0	26.1	100.0
合計		人数（人）	5,247	68	348	41	5,704
		率（％）	92.0	1.2	6.1	0.7	100.0

留学後の苦労（第 4-6 表）としては、「物価が高い」と回答した者が 4,219 人（74.0%）で約 7 割となっており、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 1,972 人（34.6%）、「日本語の習得」が 1,750 人（30.7%）となっている。

第 4-6 表 留学後の苦勞 (複数回答設問)

(Q25 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舍等を探すこと	宿舍等におけるルール (ゴミ出し等)を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で日本人学生と 交流できないこと
集計 pt	11,758	4,128	2,495	1,342	3,314	1,664	2,245
集計 pt 率 (%)	40.3	14.1	8.5	4.6	11.4	5.7	7.7
人数 (人)	4,219	1,972	1,278	781	1,750	973	1,291
率 (%)	74.0	34.6	22.4	13.7	30.7	17.1	22.6
平成 27 年率 (%)	70.5	33.5	23.3	12.0	30.7	19.4	22.4
平成 25 年率 (%)	74.5	27.8	21.6	10.1	30.6	17.3	20.6

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	599	1,178	471	—
集計 pt 率 (%)	2.1	4.0	1.6	—
人数 (人)	399	780	247	276
率 (%)	7.0	13.7	4.3	4.8
平成 27 年率 (%)	7.0	15.2	5.3	4.9
平成 25 年率 (%)	6.3	15.3	4.6	0.7

(注) 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学後の苦勞で克服できなかったこと (第 4-7 表) は、「物価が高い」と回答した者が 3,084 人 (54.1%) となっており、次いで、「日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い」が 1,158 人 (20.3%)、「英語の習得」と「学校内で日本人学生と交流できないこと」が 1,096 人 (19.2%) となっている。

第 4-7 表 留学後の苦勞で克服できなかったこと (複数回答設問)

(Q26 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舍等を探すこと	宿舍等におけるルール (ゴミ出し等)を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で日本人学生と 交流できないこと
集計 pt	8,740	2,633	1,493	883	1,999	2,332	2,281
集計 pt 率 (%)	38.5	11.6	6.6	3.9	8.8	10.3	10.0
人数 (人)	3,084	1,158	733	463	956	1,096	1,096
率 (%)	54.1	20.3	12.9	8.1	16.8	19.2	19.2
平成 27 年率 (%)	50.2	19.9	12.7	7.1	16.7	21.5	19.6
平成 25 年率 (%)	45.8	12.9	8.8	4	11.4	18	14.4

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	609	792	942	—
集計 pt 率 (%)	2.7	3.5	4.1	—
人数 (人)	367	481	374	632
率 (%)	6.4	8.4	6.6	11.1
平成 27 年率 (%)	6.6	10.1	10.2	9.9
平成 25 年率 (%)	4.8	6.7	9.1	9.6

(注) 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

5. 収入

全体の平均月収入額は、146,000 円である。在籍段階別の平均月収入額（第 5-2 表）を比較すると、「準備教育課程」が 173,000 円で最も高く、以下、「専門職大学院課程」が 165,000 円、「専修学校（専門課程）」が 153,000 円、「学部正規課程」と「日本語教育機関」が 148,000 円、「短期大学」が 143,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 134,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 132,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 128,000 円、「大学院レベルの研究生」が 127,000 円と続いている。

第 5-1 表 収入・支出同額者の在学段階別内訳数 (Q12・27 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	280	509	36	27	1,196	37	29	909	52	1,067	139	4,281

(注) 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,281 人)

第 5-2 表 在籍段階別の平均月収入額 (全体と在籍段階別) (Q12・27 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体
平均月額 (千円)	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146
平成 27 年 (千円)	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141
平成 25 年 (千円)	135	130	139	136	138	127	143	157	154	144	137	140

(注) 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,281 人) で、各項目の平均

大学国公私別の平均月収入額（第 5-3 表）を見ると、全体の平均収入額が 142,000 円であり、私立大学が 154,000 円、国立大学が 121,000 円、公立大学が 116,000 円である。

第 5-3 表 大学国公私別の平均月収入額 (Q11・12・27 参照)

区分	大学			全体
	国立	公立	私立	
平均月額 (千円)	121	116	154	142
平成 27 年 (千円)	113	110	148	135
平成 25 年 (千円)	111	114	148	136

(注) 1. 短期大学を除く。

2. 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,281 人) で、各項目の平均

項目別平均月収入額（第 5-4 表）については、高等教育機関においては、回答の多い順に、「アルバイト」が 2,466 人（57.6%）で 73,000 円、「仕送り」が 2,185 人（51.0%）で 77,000 円、「奨学金」が 1,526 人（35.6%）で 61,000 円と続く。日本語教育機関においては、回答の多い順に、「仕送り」が 850 人（19.9%）で 91,000 円、「アルバイト」が 847 人（19.8%）で 85,000 円、「奨学金」が 156 人（3.6%）で 30,000 円と続いている。

第 5-4 表 項目別平均月収入額

（Q12・27 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	人数（人）	2,185	2,466	1,526	97	83	396
	率（%）	51.0	57.6	35.6	2.3	1.9	9.3
	平均月額（千円）	77	73	61	47	99	33
日本語教育機関	人数（人）	850	847	156	34	5	124
	率（%）	19.9	19.8	3.6	0.8	0.1	2.9
	平均月額（千円）	91	85	30	54	100	30

- （注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）
2. 率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、収入額の計を、収入を得ている人数で除した額（収入を得ている者の平均月額）

【参考】項目別平均月収入額（収入額の計を、当該収入を得ている者及び得ていない者の計で除した額）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	平均月額(千円)	50	54	28	1	2	4
日本語教育機関	平均月額(千円)	66	61	4	2	0	3

居住地域別平均月収入額（第 5-5 表）は、関東地方が 157,000 円と全国で最も高く、四国地方が 117,000 円と最も低い。なお、東京のみでは 163,000 円となっている。

第 5-5 表 居住地域別平均月収入額（単位：千円）

（Q12・27・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	132	128	159	129	142	126	117	128	167	146
日本語教育機関	108	122	152	137	144	136	—	135	157	148
全体	130	126	157	130	143	126	117	129	163	146

- （注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）で、各項目の平均

第 5-6 表 居住地域別の項目別収入内訳（単位：千円）

（Q27・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	42	49	66	40	58	33	24	41	74	57
アルバイト	50	48	63	53	52	55	45	60	59	59
奨学金	31	17	20	29	28	27	39	25	21	23
知人の援助	1	0	2	2	1	4	0	1	2	1
配偶者の収入	3	7	2	1	2	5	8	2	2	2
その他	3	5	5	4	2	3	2	2	5	4

- （注） 収入内訳は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）で、各項目の平均

【参考】居住地域別の項目別収入内訳（高等教育機関のみ）（単位：千円）

（Q12・27・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	45	53	61	38	54	32	24	38	68	52
アルバイト	45	37	62	51	50	54	45	55	58	56
奨学金	35	22	27	32	34	28	39	31	30	29
知人の援助	1	0	2	2	1	2	0	0	2	1
配偶者の収入	4	9	2	2	2	5	8	2	3	3
その他	3	7	5	4	2	3	2	1	6	4

- （注） 収入内訳は、高等教育機関に在籍している回答者で、各項目の平均

6. 奨学金

奨学金の受給者は 1,682 人で、全体（Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者）の約 4 割となっている。
奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を回答の多い順に見ると、高等教育機関では、「学習奨励費」が 839 人（55.0%）で平均月額 48,000 円、「民間団体の奨学金」が 314 人（20.6%）で 87,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 286 人（18.7%）で 45,000 円と続く。日本語教育機関では、「学習奨励費」が 121 人（77.6%）で 30,000 円、「その他の奨学金」が 15 名（9.6%）で 31,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 14 人（9.0%）で 23,000 円と続く。

第 6-1 表 奨学金の受給内容内訳

（Q12・27 参照）

区分		学習奨励費	大学・学校からの奨学金	地方自治体 (都道府県市区町村) による援助金	民間団体の奨学金	海外の団体 による奨学金 (日本以外の団体)	その他の奨学金
高等教育機関	人数 (人)	839	286	68	314	27	81
	率 (%)	55.0	18.7	4.5	20.6	1.8	5.3
	平均月額 (千円)	48	45	48	87	133	77
	平成 27 年 (千円)	48	40	50	81	115	77
	平成 25 年 (千円)	52	43	43	85	103	69
日本語教育機関	人数 (人)	121	14	2	5	1	15
	率 (%)	77.6	9.0	1.3	3.2	0.6	9.6
	平均月額 (千円)	30	23	25	44	8	31
	平成 27 年 (千円)	30	28	24	21	176	44
	平成 25 年 (千円)	47	26	48	51	145	58

（注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）

2. 率は、第 5-4 表で奨学金を記入した者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

第 6-2 表 収入・支出同額者の在籍大学別（国公私別）

（Q11・12・27 参照）

区分	国立	公立	私立	大学計
人数 (人)	725	74	1,398	2,197
率 (%)	33.0	3.4	63.6	100.0

（注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）各項目の件数

在籍学校別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、「国立大学」が 460 人（63.4%）で、平均が 75,000 円と最も高く、最も低い金額は、「日本語教育機関」で 156 人（14.4%）30,000 円となっている。

第 6-3 表 在籍学校別奨学金受給者（年度別比較表）

（Q11・12・27 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育課程	高等教育機関計
	国立	公立	私立	大学計				
人数（人）	460	52	747	1,259	10	241	16	1,526
率（％）	63.4	70.3	53.4	57.3	34.5	26.2	30.8	47.7
平成 27 年率（％）	56.6	53.9	50.4	52.5	26.3	36.8	30.6	48.5
平成 25 年率（％）	60.0	71.4	60.8	60.9	63.2	41.6	51.2	57.5
平均月額（千円）	75	61	56	63	41	52	52	61
平成 27 年（千円）	69	59	53	59	45	48	45	57
平成 25 年（千円）	73	66	55	61	46	47	47	59

区分	日本語 教育機関	奨学金 受給者計	奨学金 非受給者	計
人数（人）	156	1,682	2,599	4,281
率（％）	14.4	39.3	60.7	100.0
平成 27 年率（％）	16.9	40.8	59.2	100.0
平成 25 年率（％）	22.7	52.5	47.5	100.0
平均月額（千円）	30	58	—	—
平成 27 年（千円）	32	54	—	—
平成 25 年（千円）	50	58	—	—

（注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）

2. 率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

在籍段階別奨学金受給者（第 6-4 表）を見ると、最も受給率が高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」の 74.3%（208 人）で、平均月額は 89,000 円である。次いで、「大学院修士課程・博士前期課程」の 62.7%（319 人、69,000 円）、「学部正規課程」の 54.3%（649 人、54,000 円）、「専門職大学院課程」の 47.2%（17 人、67,000 円）と続いている。最も受給率が低いのは、「日本語教育機関」の 14.2%（152 人、30,000 円）である。

第 6-4 表 在籍段階別奨学金受給者

（Q12・27 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	208	319	17	12	649	13	10	240	16	152	46	1,682
率（％）	74.3	62.7	47.2	44.4	54.3	35.1	34.5	26.4	30.8	14.2	33.1	39.3
平成 27 年率（％）	66.0	55.6	45.9	35.3	50.6	48.8	26.3	36.7	31.3	17.1	31.8	40.8
平成 25 年率（％）	69.7	64.8	32.7	35.2	60.4	43.8	63.2	41.6	51.2	22.7	49.7	52.5
平均月額（千円）	89	69	67	55	54	61	41	52	52	30	45	58
平成 27 年（千円）	79	63	53	59	51	55	45	48	45	32	52	54
平成 25 年（千円）	80	72	69	76	52	57	46	47	47	50	55	58

（注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）

2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の回答者のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

学習奨励費を受けて良かったこと（第 6-5 表）を見ると、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」が 825 人（85.9%）で最も多い。次いで、「成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった」が 743 人（77.4%）となっている。

第 6-5 表 学習奨励費を受けて良かったこと（複数回答設問）

（Q28(1) 参照）

区分	日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた	成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった	奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった	宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった	その他	不明
集計 pt	2,342	1,589	366	367	78	—
集計 pt 率 (%)	49.4	33.5	7.7	7.7	1.6	—
人数 (人)	825	743	280	268	57	56
率 (%)	85.9	77.4	29.2	27.9	5.9	5.8
平成 27 年率 (%)	87.7	75.4	33.1	21.7	7.0	4.4
平成 25 年率 (%)	85.7	71.2	24.5	17.2	4.1	4.9

（注） 1. 回答者数は、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（960 人）

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、「学習奨励費」の回答者を 100 とした割合

次に、学習奨励費受給者の学習奨励費に対する要望（第 6-6 表）は、「給付期間を 1 年間から延ばしてほしい」が 570 人（59.4%）で最も多く、次いで、「給付金額の増額」が 568 人（59.2%）、「受給者数の増加」が 422 人（44.0%）と続き、いずれも他の項目と比較して強い要望がある。

第 6-6 表 学習奨励費に対する要望（複数回答設問）

（Q28(2) 参照）

区分	給付金額の増額	受給者数の増加	海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やして欲しい	給付期間を 1 年間から延ばしてほしい	母国において、学習奨励費の情報が少なかったのもっと情報提供して欲しい	学校内での選考についてもっと情報提供してほしい	その他	不明
集計 pt	1,484	937	285	1,177	530	449	39	—
集計 pt 率 (%)	30.3	19.1	5.8	24.0	10.8	9.2	0.8	—
人数 (人)	568	422	147	570	292	297	19	59
率 (%)	59.2	44.0	15.3	59.4	30.4	30.9	2.0	6.1
平成 27 年率 (%)	60.1	45.1	12.5	55.9	25.7	31.0	1.7	7.9
平成 25 年率 (%)	50.6	44.5	11.0	54.7	23.7	27.6	1.4	5.7

（注） 1. 回答者数は、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（960 人）

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、「学習奨励費」の回答者を 100 とした割合

7. 支出

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「準備教育課程」が 173,000 円で最も高い。次いで、「専門職大学院課程」が 165,000 円、「専修学校（専門課程）」が 153,000 円、「学部正規課程」と「日本語教育機関」が 148,000 円、「短期大学」が 143,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 134,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 132,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 128,000 円、「大学院レベルの研究生」が 127,000 円と続いている。なお、支出の平均月額 は 146,000 円である。

第 7-1 表 在籍段階別の平均月支出額 （全体と在籍段階別）（Q12・29 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体
平均月額（千円）	134	132	165	127	148	128	143	153	173	148	146	146
平成 27 年(千円)	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141
平成 25 年(千円)	135	130	139	136	138	127	143	157	154	144	137	140

（注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）で、各項目の平均

大学国公立別の平均月支出額（第 7-2 表）を見ると、私立大学が 154,000 円で最も高く、国立大学が 121,000 円、公立大学が 116,000 円と続いている。

第 7-2 表 大学国公立別の平均月支出額 （Q11・12・29 参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	121	116	154	142
平成 27 年（千円）	113	110	148	135
平成 25 年（千円）	111	114	148	136

（注） 1. 短期大学を除く。

2. 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）で、各項目の平均

居住地域別の平均月支出額（第 7-3 表）を見ると、関東地方が平均 157,000 円と全国で最も高く、四国地方が 117,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、163,000 円となっている。

第 7-3 表 居住地域別の平均月支出額 （単位：千円）（Q12・29・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	132	128	159	129	142	126	117	128	167	146
日本語教育機関	108	122	152	137	144	136	0	135	157	148
全体	130	126	157	130	143	126	117	129	163	146

（注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者で、各項目の平均（4,281 人）

第 7-4 表 居住地域別の項目別支出内訳 (単位: 千円)

(Q29・32 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	43	45	52	43	48	43	27	44	53	49
通学費	2	2	5	4	4	3	3	3	5	5
食費	27	25	28	27	28	28	28	23	29	27
住居費	31	25	39	26	35	24	23	24	43	34
電気、ガス、水道料金	7	8	7	7	7	8	8	7	7	7
保険、医療費	3	3	3	3	3	3	5	3	2	3
趣味、娯楽費	5	5	7	5	6	4	4	6	7	6
その他の日常的な経費	6	6	7	6	6	7	6	6	7	7
残額	5	7	10	9	8	7	12	12	10	9

(注) 金額は、支出額の合計を回答人数で割った額

項目別平均月支出額の内訳(第 7-5 表)を見ると、「学習研究費」が 56,000 円と最も高く、以下「住居費」が 36,000 円、「食費」が 28,000 円、「その他の日常的な経費」が 12,000 円、「趣味・娯楽費」が 10,000 円、「通学費」と「電気、ガス、水道料金」が 8,000 円と続いている。

第 7-5 表 項目別平均月支出額の内訳

(Q29 参照)

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数(人)	3,712	2,495	4,173	4,081	3,669	3,390	2,692	2,385	2,420
率(%)	86.7	58.3	97.5	95.3	85.7	79.2	62.9	55.7	56.5
平均月額(千円)	56	8	28	36	8	4	10	12	17
平成 27 年率(%)	86.3	55.8	97.0	95.0	84.9	75.3	59.8	58.2	53.2
平成 27 年(千円)	46	4	27	33	7	2	6	7	8
平成 25 年率(%)	88.9	55.8	96.5	99.4	86.8	77.4	59	59.3	46.7
平成 25 年(千円)	54	7	28	34	9	3	9	11	16

(注) 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者(4,281 人)
2. 率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

学習研究費の内訳(第 7-6 表)を見ると、「授業料」の平均月額が 55,000 円、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 5,000 円となっている。

第 7-6 表 学習研究費の内訳

(Q11・12・29 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習 材料、文具等 の経費*	サークル活動 の会費、合宿 費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関		
人数(人)	3,479	489	58	1,146	26	819	41	900	1,871	346
率(%)	81.3	67.4	78.4	82.0	89.7	89.0	78.8	83.1	43.7	8.1
平均月額(千円)	55	34	33	63	61	57	63	55	8	5

(注) 1. * 印の率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者(4,281 人)を 100 とした割合
2. 学校種別の率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

【参考】学習研究費の内訳（学校種別の率は、各在籍学校別の回答者に対する割合）（Q11・12・29 参照）

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習材料、文具等の経費*	サークル活動の会費、合宿費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校(専門課程)	準備教育課程	日本語教育機関		
人数(人)	3,479	489	58	1,146	26	819	41	900	1,871	346
率(%)	81.3	59.1	63.0	61.3	65.0	67.6	50.0	56.9	43.7	8.1
平均月額(千円)	55	34	33	63	61	57	63	55	8	5

- (注) 1. * 印の率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者(4,281 人)を 100 とした割合
2. 学校種別の率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）については、「その他」、「不明」を除き、「民間アパート・マンション等」に居住する準備教育課程生が最も高く、185,000 円を支出していることがわかる。最も低いのは、公立大学に通い大学の学生寮に住んでいる学部レベルの学生で、74,000 円である。宿舎については、第 10 節で詳しくふれる。

※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

第 7-7 表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（Q11・12・29・33(1)参照）

区分		国立大学			公立大学			私立大学		
		大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体
民間アパート・マンション等	人数(人)	314	133	447	25	19	44	243	815	1,058
	平均支出額(千円)	126	125	126	132	123	128	156	157	157
大学・学校の学生寮(留学生用・一般学生用)	人数(人)	141	65	206	11	9	20	38	99	137
	平均支出額(千円)	109	109	109	109	74	94	137	145	143
その他	人数(人)	45	16	61	3	7	10	29	68	97
	平均支出額(千円)	137	111	130	109	105	106	171	152	157
不明	人数(人)	1	0	1	0	0	0	2	2	4
	平均支出額(千円)	60	0	60	0	0	0	137	155	146
合計	人数(人)	501	214	715	39	35	74	312	984	1,296
	平均支出額(千円)	122	119	121	124	107	116	155	155	155

区分		短期大学	専修学校(専門課程)	準備教育課程	日本語教育機関	その他	合計
民間アパート・マンション等	人数(人)	22	761	34	791	113	3,270
	平均支出額(千円)	149	154	185	150	148	150
大学・学校の学生寮(留学生用・一般学生用)	人数(人)	6	81	15	173	12	650
	平均支出額(千円)	119	135	134	140	131	128
その他	人数(人)	1	64	3	94	13	343
	平均支出額(千円)	171	163	230	145	136	148
不明	人数(人)	0	3	0	9	1	18
	平均支出額(千円)	0	142	0	137	120	135
合計	人数(人)	29	909	52	1,067	139	4,281
	平均支出額(千円)	143	153	173	148	146	146

- (注) 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者(4,281 人)
2. 平均支出額は、各項目の平均

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）は全体の約 7 割以上（75.8%）で、何らかのアルバイトをしている。

第 8-1 表 アルバイト従事率

（Q30 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	不明	計
人数（人）	4,321	1,337	46	5,704
率（%）	75.8	23.4	0.8	100.0
平成 27 年率（%）	74.8	24.4	0.8	100.0
平成 25 年率（%）	75.3	24.2	0.5	100.0

在籍学校別アルバイト従事率（第 8-2 表）を見ると、準備教育課程（52.4%）、国立大学（60.0%）、公立大学（64.1%）の従事率が 7 割以下であり、私立大学、短期大学、専修学校（専門課程）、日本語教育機関と比べて低い。

第 8-2 表 在籍学校別アルバイト従事率

（Q11・12・30 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	497	59	1,420	1,976	35	1,057	43	3,111	1,210	4,321
率（%）	60.0	64.1	76.0	70.9	87.5	87.3	52.4	75.5	76.4	75.8
平成 27 年率（%）	62.1	73.9	75.1	71.3	81.5	82.9	57.7	74.0	77.3	74.8
平成 25 年率（%）	63.3	77.9	78.6	74.5	72.9	83.4	46.0	75.9	72.4	75.3

（注）率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数を 100 とした割合

在籍段階別アルバイト従事率（第 8-3 表）を見ると、「短期大学」（87.5%）、「専修学校（専門課程）」（87.1%）、「学部レベルの研究生・聴講生」（82.4%）は約 8 割以上の者がアルバイトに従事している。

第 8-3 表 在籍段階別アルバイト従事率

（Q12・30 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	195	411	32	32	1,126	42	35	1,040	43	1,188	177	4,321
率（%）	58.0	66.4	61.5	78.0	74.4	82.4	87.5	87.1	52.4	76.4	80.5	75.8
平成 27 年率（%）	58.9	66.6	71.7	66.0	75.2	69.2	81.5	83.0	57.1	77.1	79.0	74.8
平成 25 年率（%）	62.4	71.9	74.6	74.3	77.6	80.3	72.9	83.4	46.0	72.3	74.6	75.3

（注）率は、第 1-4 表の各在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第 8-4 表）は、軽労働の「飲食業」が 1,810 人（41.9%）と最も多くなっている。以下、「営業・販売（コンビニ等）」が 1,250 人（28.9%）、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が 314 人（7.3%）、「翻訳・通訳」が 289 人（6.7%）と続いている。

第 8-4 表 アルバイトの職種（複数回答設問）

（Q31(1)参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	一般事務	経理事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	189	269	136	314	201	25	239	6	9	3	94	65
率（%）	4.4	6.2	3.1	7.3	4.7	0.6	5.5	0.1	0.2	0.1	2.2	1.5
平成 27 年率（%）	4.6	6.5	3.3	6.9	4.4	0.5	5.1	0.1	0.2	0.1	1.7	1.1
平成 25 年率（%）	5.1	6.3	2.6	7.4	3.6	0.5	4.7	0.2	0.2	0.1	1.6	0.9

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場での組立作業	倉庫整理	翻訳通訳	プログラマー・オペレーター	グラフィック・デザイナー	
人数（人）	1,810	1,250	230	6	12	23	152	65	289	23	23	252
率（%）	41.9	28.9	5.3	0.1	0.3	0.5	3.5	1.5	6.7	0.5	0.5	5.8
平成 27 年率（%）	45.7	26.3	5.0	0.2	0.3	0.6	4.3	1.5	6.8	0.4	0.6	6.4
平成 25 年率（%）	48.7	24.7	4.1	0.2	0.2	0.4	3.7	1.0	4.2	0.4	0.3	3.7

区分	不明
人数（人）	39
率（%）	0.9
平成 27 年率（%）	0.9
平成 25 年率（%）	0.4

- （注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数(4,321 人)
2. 率は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した者を 100 とした割合

1週間のアルバイトの時間数（第8-5表）は、「週20時間以上25時間未満」が1,535人（35.5%）と最も多く、次いで、「週15時間以上20時間未満」が765人（17.7%）となっている。在籍段階別では、「大学院博士課程・博士前期課程」と「大学院博士課程・博士後期課程」で「週15時間未満」が半数以上となっているが、「専門職大学院課程」、「学部正規課程」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では逆に「週15時間以上」が6割以上である。

第8-5表 1週間のアルバイトの時間数（全体と在籍段階別）（Q12・31(2)参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	30	43	40	38	25	9	10	195
	率（%）	15.4	22.1	20.5	19.5	12.8	4.6	5.1	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	37	100	83	91	65	19	16	411
	率（%）	9.0	24.3	20.2	22.1	15.8	4.6	3.9	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	2	6	3	7	9	5	0	32
	率（%）	6.3	18.8	9.4	21.9	28.1	15.6	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	3	7	5	4	7	5	1	32
	率（%）	9.4	21.9	15.6	12.5	21.9	15.6	3.1	100.0
学部正規課程	人数（人）	65	125	213	244	328	119	32	1,126
	率（%）	5.8	11.1	18.9	21.7	29.1	10.6	2.8	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	3	1	7	8	12	10	1	42
	率（%）	7.1	2.4	16.7	19.0	28.6	23.8	2.4	100.0
短期大学	人数（人）	0	0	3	9	18	5	0	35
	率（%）	0.0	0.0	8.6	25.7	51.4	14.3	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	25	38	72	143	462	261	39	1,040
	率（%）	2.4	3.7	6.9	13.8	44.4	25.1	3.8	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	3	6	8	16	7	2	43
	率（%）	2.3	7.0	14.0	18.6	37.2	16.3	4.7	100.0
日本語教育機関	人数（人）	22	47	112	181	523	256	47	1,188
	率（%）	1.9	4.0	9.4	15.2	44.0	21.5	4.0	100.0
その他	人数（人）	6	13	15	32	70	23	18	177
	率（%）	3.4	7.3	8.5	18.1	39.5	13.0	10.2	100.0
計	人数（人）	194	383	559	765	1,535	719	166	4,321
	率（%）	4.5	8.9	12.9	17.7	35.5	16.6	3.8	100.0
	平成27年率（%）	5.0	8.8	13.8	19.9	33.5	15.4	3.7	100.0
	平成25年率（%）	5.4	11.2	18.4	23.0	30.1	11.5	0.5	100.0

（注） 回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数(4,321人)

奨学金受給の有無別に分けると、奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が、429 人（28.1%）と最も多く、次いで、「週 15 時間以上 20 時間未満」が 320 人（21.0%）となっている。また、在籍段階別では、「大学院レベルの研究生」以上は「週 15 時間未満」が 5 割以上となっているが、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」は「週 15 時間以上」が約 8 割以上となっている。

第 8-6 表 奨学金受給者の有無別アルバイト従事率 (Q27・30 参照)

区分		アルバイトを している	アルバイトを していない	不明	計
奨学金を受給している	人数 (人)	1,526	601	7	2,134
	率 (%)	71.5	28.2	0.3	100.0
奨学金を受給していない	人数 (人)	2,795	736	39	3,570
	率 (%)	78.3	20.6	1.1	100.0
合計	人数 (人)	4,321	1,337	46	5,704
	率 (%)	75.8	23.4	0.8	100.0

第 8-7 表 奨学金受給者のアルバイト時間数 (全体と在籍段階別) (Q12・27・31(2)参照)

区分		5 時間 未満	5 時間～ 10 時間未満	10 時間～ 15 時間未満	15 時間～ 20 時間未満	20 時間～ 25 時間未満	25 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	24	33	21	24	15	4	6	127
	率 (%)	18.9	26.0	16.5	18.9	11.8	3.1	4.7	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	19	70	58	48	29	8	7	239
	率 (%)	7.9	29.3	24.3	20.1	12.1	3.3	2.9	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	1	3	1	1	1	0	0	7
	率 (%)	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	1	1	3	1	2	1	1	10
	率 (%)	10.0	10.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	35	82	131	140	166	39	14	607
	率 (%)	5.8	13.5	21.6	23.1	27.3	6.4	2.3	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	0	1	3	3	1	1	0	9
	率 (%)	0.0	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	0	0	1	6	8	1	0	16
	率 (%)	0.0	0.0	6.3	37.5	50.0	6.3	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	6	18	18	49	120	60	8	279
	率 (%)	2.2	6.5	6.5	17.6	43.0	21.5	2.9	100.0
準備教育課程	人数 (人)	0	0	1	4	4	2	0	11
	率 (%)	0.0	0.0	9.1	36.4	36.4	18.2	0.0	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	3	6	23	32	67	35	6	172
	率 (%)	1.7	3.5	13.4	18.6	39.0	20.3	3.5	100.0
その他	人数 (人)	2	3	6	12	16	4	6	49
	率 (%)	4.1	6.1	12.2	24.5	32.7	8.2	12.2	100.0
計	人数 (人)	91	217	266	320	429	155	48	1,526
	率 (%)	6.0	14.2	17.4	21.0	28.1	10.2	3.1	100.0
	平成 27 年率 (%)	6.5	12.3	16.0	23.8	28.4	10.0	3.0	100.0
	平成 25 年率 (%)	6.5	14.3	21.2	23.4	26.1	8.1	0.5	100.0

(注) 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答 (4,321 人) し、かつ奨学金を受給していると回答した件数 (1,526 人)

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,106 人（39.6%）と最も多く、次いで「週 25 時間以上」が 564 人（20.2%）となっている。在籍段階別では、「専門職大学院課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「日本語教育機関」では「週 15 時間以上」アルバイトをしている割合が 7 割以上となっている。

また、第 8-7 表と第 8-8 表から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、「週 15 時間以上」アルバイトをする者は、奨学金受給者の 59.2%に対して、非受給者は 75.7%となり、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多いことがわかる。

第 8-8 表 奨学金非受給者のアルバイト時間数 （全体と在籍段階別） （Q12・27・31(2)参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	6	10	19	14	10	5	4	68
	率（%）	8.8	14.7	27.9	20.6	14.7	7.4	5.9	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	18	30	25	43	36	11	9	172
	率（%）	10.5	17.4	14.5	25.0	20.9	6.4	5.2	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	3	2	6	8	5	0	25
	率（%）	4.0	12.0	8.0	24.0	32.0	20.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	2	6	2	3	5	4	0	22
	率（%）	9.1	27.3	9.1	13.6	22.7	18.2	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	30	43	82	104	162	80	18	519
	率（%）	5.8	8.3	15.8	20.0	31.2	15.4	3.5	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	3	0	4	5	11	9	1	33
	率（%）	9.1	0.0	12.1	15.2	33.3	27.3	3.0	100.0
短期大学	人数（人）	0	0	2	3	10	4	0	19
	率（%）	0.0	0.0	10.5	15.8	52.6	21.1	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	19	20	54	94	342	201	31	761
	率（%）	2.5	2.6	7.1	12.4	44.9	26.4	4.1	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	3	5	4	12	5	2	32
	率（%）	3.1	9.4	15.6	12.5	37.5	15.6	6.3	100.0
日本語教育機関	人数（人）	19	41	89	149	456	221	41	1,016
	率（%）	1.9	4.0	8.8	14.7	44.9	21.8	4.0	100.0
その他	人数（人）	4	10	9	20	54	19	12	128
	率（%）	3.1	7.8	7.0	15.6	42.2	14.8	9.4	100.0
計	人数（人）	103	166	293	445	1,106	564	118	2,795
	率（%）	3.7	5.9	10.5	15.9	39.6	20.2	4.2	100.0
	平成 27 年率（%）	4.1	6.6	12.5	17.6	36.5	18.6	4.0	100.0
	平成 25 年率（%）	4.3	8.2	15.8	22.6	33.8	14.8	0.6	100.0

（注） 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答（4,321 人）し、かつ奨学金を受給していないと回答した件数（2,795 人）

アルバイトに従事する理由（第 8-9 表）は、「日本での生活を維持するために必要だから」が 3,036 人（70.3%）で 7 割以上となっている。

第 8-9 表 アルバイトに従事する理由 （Q31(3)参照）

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流等良い機会になるから	教養・娯楽等にあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数（人）	3,036	903	249	86	47	4,321
率（%）	70.3	20.9	5.8	2.0	1.1	100.0
平成 27 年率（%）	71.1	21.5	4.7	1.7	1.0	100.0
平成 25 年率（%）	69.2	23.3	5.3	1.6	0.6	100.0

（注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数（4,321 人）

2. 率は、第 8-1 表のアルバイトをしていると回答した数を 100 とした割合

アルバイトの時給額（第 8-10 表）は、全体では「800 円以上 1,000 円未満」が 1,833 人（42.4%）が最も多く、次いで、「1,000 円以上 1,200 円未満」が 1,703 人（39.4%）となっており、「800 円以上 1,200 円未満」の時給が 8 割以上となっている。

在籍段階別に見ると、1,400 円以上の時給に対する比率が最も高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」（21.5%）であり、次いで、「専門職大学院課程」（9.4%）、「大学院修士課程・博士前期課程」（8.8%）となっており、上位の課程になると時給も高くなっている。

第 8-10 表 アルバイトの時給額（全体と在籍段階別）

（Q12・31(4)参照）

区分		800 円未満	800 円～1,000 円未満	1,000 円～1,200 円未満	1,200 円～1,400 円未満	1,400 円～1,600 円未満	1,600 円～1,800 円未満	1,800 円～2,000 円未満	2,000 円以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	13	61	55	20	19	4	4	15	4	195
	率（%）	6.7	31.3	28.2	10.3	9.7	2.1	2.1	7.7	2.1	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	26	209	112	25	16	3	7	10	3	411
	率（%）	6.3	50.9	27.3	6.1	3.9	0.7	1.7	2.4	0.7	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	11	14	3	0	0	0	3	0	32
	率（%）	3.1	34.4	43.8	9.4	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	4	15	11	2	0	0	0	0	0	32
	率（%）	12.5	46.9	34.4	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	58	546	372	82	29	3	3	29	4	1,126
	率（%）	5.2	48.5	33.0	7.3	2.6	0.3	0.3	2.6	0.4	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	3	18	17	3	0	0	0	1	0	42
	率（%）	7.1	42.9	40.5	7.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	4	23	7	1	0	0	0	0	0	35
	率（%）	11.4	65.7	20.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	62	384	484	82	6	4	2	5	11	1,040
	率（%）	6.0	36.9	46.5	7.9	0.6	0.4	0.2	0.5	1.1	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	11	28	3	1	0	0	0	0	43
	率（%）	0.0	25.6	65.1	7.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	54	477	544	67	15	4	3	10	14	1,188
	率（%）	4.5	40.2	45.8	5.6	1.3	0.3	0.3	0.8	1.2	100.0
その他	人数（人）	10	78	59	9	6	2	3	1	9	177
	率（%）	5.6	44.1	33.3	5.1	3.4	1.1	1.7	0.6	5.1	100.0
計	人数（人）	235	1,833	1,703	297	92	20	22	74	45	4,321
	率（%）	5.4	42.4	39.4	6.9	2.1	0.5	0.5	1.7	1.0	100.0
	平成 27 年率（%）	9.3	50.1	30.7	4.4	1.4	0.4	0.9	1.7	1.0	100.0
	平成 25 年率（%）	14.1	54.7	22.5	3.6	1.4	0.7	0.6	1.7	0.6	100.0

- （注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数（4,321 人）
2. 率は、第 8-1 表のアルバイトをしている回答した数を 100 とした割合

9. 授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第9-1表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「週35時間以上」と回答した者が半数以上（194人、57.7%）であり、「大学院修士課程・博士前期課程」では、「週14時間以上35時間未満」と回答した者が半数以上（322人、52.0%）となっている。

「週28時間未満」を見ると、「短期大学」（36人、90.0%）、「準備教育課程」（72人、87.8%）、「日本語教育機関」（1,362人、87.6%）、「専修学校（専門課程）」（1,028人、86.1%）、「学部レベルの研究生・聴講生」（43人、84.3%）、「学部正規課程」（1,266人、83.6%）であり、いずれも8割以上となっている。特に「週7時間以上21時間未満」と回答した者が多い。

第9-1表 在籍段階別学習・研究時間

（Q12・17参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	12	22	30	28	50	67	55	72	0	336
	率（%）	3.6	6.5	8.9	8.3	14.9	19.9	16.4	21.4	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	33	98	137	100	85	75	32	54	5	619
	率（%）	5.3	15.8	22.1	16.2	13.7	12.1	5.2	8.7	0.8	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	5	15	10	9	5	3	1	3	1	52
	率（%）	9.6	28.8	19.2	17.3	9.6	5.8	1.9	5.8	1.9	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	9	7	8	7	6	3	0	1	0	41
	率（%）	22.0	17.1	19.5	17.1	14.6	7.3	0.0	2.4	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	260	414	371	221	134	47	35	31	1	1,514
	率（%）	17.2	27.3	24.5	14.6	8.9	3.1	2.3	2.0	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	14	16	6	7	5	2	0	1	0	51
	率（%）	27.5	31.4	11.8	13.7	9.8	3.9	0.0	2.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	11	15	9	1	4	0	0	0	0	40
	率（%）	27.5	37.5	22.5	2.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	211	317	266	234	96	33	16	14	7	1,194
	率（%）	17.7	26.5	22.3	19.6	8.0	2.8	1.3	1.2	0.6	100.0
準備教育課程	人数（人）	17	33	14	8	6	2	1	1	0	82
	率（%）	20.7	40.2	17.1	9.8	7.3	2.4	1.2	1.2	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	288	432	467	175	98	45	11	28	11	1,555
	率（%）	18.5	27.8	30.0	11.3	6.3	2.9	0.7	1.8	0.7	100.0
その他	人数（人）	36	60	62	23	15	14	1	2	7	220
	率（%）	16.4	27.3	28.2	10.5	6.8	6.4	0.5	0.9	3.2	100.0
計	人数（人）	896	1,429	1,380	813	504	291	152	207	32	5,704
	率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0
	平成27年率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0
	平成25年率（%）	13.8	21.9	25.5	16.1	9.2	6.0	2.9	4.2	0.5	100.0

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第 9-2 表と第 9-3 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が比較的多い。

「大学院博士課程・博士後期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」を除き、「週 14 時間未満」の割合が、受給者から非受給者になると増加している。

第 9-2 表 奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q12・17・27 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	8	17	17	18	31	39	34	44	0	208
	率 (%)	3.8	8.2	8.2	8.7	14.9	18.8	16.3	21.2	0.0	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	19	44	57	54	44	45	22	33	1	319
	率 (%)	6.0	13.8	17.9	16.9	13.8	14.1	6.9	10.3	0.3	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	2	6	3	2	1	1	0	1	1	17
	率 (%)	11.8	35.3	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	2	2	3	2	1	2	0	0	0	12
	率 (%)	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	96	184	168	94	57	21	16	13	0	649
	率 (%)	14.8	28.4	25.9	14.5	8.8	3.2	2.5	2.0	0.0	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	2	3	1	4	3	0	0	0	0	13
	率 (%)	15.4	23.1	7.7	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	1	4	4	0	1	0	0	0	0	10
	率 (%)	10.0	40.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	31	60	58	45	25	14	3	3	1	240
	率 (%)	12.9	25.0	24.2	18.8	10.4	5.8	1.3	1.3	0.4	100.0
準備教育課程	人数 (人)	1	3	2	4	2	2	1	1	0	16
	率 (%)	6.3	18.8	12.5	25.0	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	16	51	36	23	12	8	2	2	2	152
	率 (%)	10.5	33.6	23.7	15.1	7.9	5.3	1.3	1.3	1.3	100.0
その他	人数 (人)	5	10	12	9	5	3	1	0	1	46
	率 (%)	10.9	21.7	26.1	19.6	10.9	6.5	2.2	0.0	2.2	100.0
計	人数 (人)	183	384	361	255	182	135	79	97	6	1,682
	率 (%)	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0
	平成 27 年率 (%)	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0
	平成 25 年率 (%)	8.8	21.3	25.0	16.9	10.5	7.9	3.9	5.4	0.3	100.0

(注) 回答者数は、第 5-4 表の奨学金受給者数 (1,682 人)

第 9-3 表 奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q12・17・27 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	2	2	9	5	12	15	11	16	0	72
	率 (%)	2.8	2.8	12.5	6.9	16.7	20.8	15.3	22.2	0.0	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	10	32	54	29	25	18	7	14	1	190
	率 (%)	5.3	16.8	28.4	15.3	13.2	9.5	3.7	7.4	0.5	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	1	5	5	4	2	1	1	0	0	19
	率 (%)	5.3	26.3	26.3	21.1	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	2	1	4	5	2	1	0	0	0	15
	率 (%)	13.3	6.7	26.7	33.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	100	157	129	85	37	16	13	9	1	547
	率 (%)	18.3	28.7	23.6	15.5	6.8	2.9	2.4	1.6	0.2	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	7	7	5	2	1	2	0	0	0	24
	率 (%)	29.2	29.2	20.8	8.3	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	6	9	2	1	1	0	0	0	0	19
	率 (%)	31.6	47.4	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	131	193	143	126	48	11	7	4	6	669
	率 (%)	19.6	28.8	21.4	18.8	7.2	1.6	1.0	0.6	0.9	100.0
準備教育課程	人数 (人)	6	16	8	4	2	0	0	0	0	36
	率 (%)	16.7	44.4	22.2	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	173	244	295	101	57	19	4	17	5	915
	率 (%)	18.9	26.7	32.2	11.0	6.2	2.1	0.4	1.9	0.5	100.0
その他	人数 (人)	17	32	22	9	7	4	0	1	1	93
	率 (%)	18.3	34.4	23.7	9.7	7.5	4.3	0.0	1.1	1.1	100.0
計	人数 (人)	455	698	676	371	194	87	43	61	14	2,599
	率 (%)	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0
	平成 27 年率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	17.2	23.1	26.6	15.0	8.1	4.2	2.2	3.1	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第 6-3 表の奨学金非受給者数 (2,599 人)

専攻別の学習・研究時間（第9-4表）を見ると、「人文科学」、「社会科学」、「日本語」は、いずれも「週21時間未満」（1日当たり平均3時間未満）が6割を超え、「家政」、「工学」は、約5割となっている。

一方、「医・歯学」、「薬学」は、「週28時間以上」（1日当たり平均4時間以上）が、それぞれ31人（47.0%）、11人（57.9%）となっている。

第9-4表 専攻別の学習・研究時間

（Q16・17参照）

区分		7時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49時間 以上	不明	計
人文科学	人数（人）	72	84	90	81	41	23	11	7	2	411
	率（%）	17.5	20.4	21.9	19.7	10.0	5.6	2.7	1.7	0.5	100.0
社会科学	人数（人）	191	318	304	175	121	53	31	31	2	1,226
	率（%）	15.6	25.9	24.8	14.3	9.9	4.3	2.5	2.5	0.2	100.0
理学	人数（人）	11	25	27	25	20	18	11	21	0	158
	率（%）	7.0	15.8	17.1	15.8	12.7	11.4	7.0	13.3	0.0	100.0
工学	人数（人）	69	111	115	87	65	64	41	60	1	613
	率（%）	11.3	18.1	18.8	14.2	10.6	10.4	6.7	9.8	0.2	100.0
農学	人数（人）	4	16	14	15	8	12	6	13	2	90
	率（%）	4.4	17.8	15.6	16.7	8.9	13.3	6.7	14.4	2.2	100.0
医・歯学	人数（人）	5	12	9	9	12	3	7	9	0	66
	率（%）	7.6	18.2	13.6	13.6	18.2	4.5	10.6	13.6	0.0	100.0
薬学	人数（人）	1	1	2	4	2	3	3	3	0	19
	率（%）	5.3	5.3	10.5	21.1	10.5	15.8	15.8	15.8	0.0	100.0
家政	人数（人）	15	27	9	17	19	2	2	5	1	97
	率（%）	15.5	27.8	9.3	17.5	19.6	2.1	2.1	5.2	1.0	100.0
教育	人数（人）	12	27	32	15	18	13	4	3	0	124
	率（%）	9.7	21.8	25.8	12.1	14.5	10.5	3.2	2.4	0.0	100.0
日本語	人数（人）	370	592	597	261	136	60	19	34	14	2,083
	率（%）	17.8	28.4	28.7	12.5	6.5	2.9	0.9	1.6	0.7	100.0
その他	人数（人）	146	216	181	124	62	40	17	21	10	817
	率（%）	17.9	26.4	22.2	15.2	7.6	4.9	2.1	2.6	1.2	100.0
計	人数（人）	896	1,429	1,380	813	504	291	152	207	32	5,704
	率（%）	15.7	25.1	24.2	14.3	8.8	5.1	2.7	3.6	0.6	100.0
	平成27年率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0
	平成25年率（%）	13.8	21.9	25.5	16.1	9.2	6.0	2.9	4.2	0.5	100.0

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-5 表と第 9-6 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。「家政」、「教育」を除いて、受給者から非受給者になると「週 14 時間未満」の割合が増加し、「週 28 時間以上」の割合は、すべての専攻別で奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第 9-5 表 専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間

（Q16・17・27 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
人文科学	人数（人）	22	29	36	23	21	13	7	5	2	158
	率（％）	13.9	18.4	22.8	14.6	13.3	8.2	4.4	3.2	1.3	100.0
社会科学	人数（人）	56	119	123	86	56	23	14	18	1	496
	率（％）	11.3	24.0	24.8	17.3	11.3	4.6	2.8	3.6	0.2	100.0
理学	人数（人）	4	13	8	12	8	15	8	10	0	78
	率（％）	5.1	16.7	10.3	15.4	10.3	19.2	10.3	12.8	0.0	100.0
工学	人数（人）	28	41	53	32	26	38	26	37	0	281
	率（％）	10.0	14.6	18.9	11.4	9.3	13.5	9.3	13.2	0.0	100.0
農学	人数（人）	4	4	8	5	3	7	4	6	0	41
	率（％）	9.8	9.8	19.5	12.2	7.3	17.1	9.8	14.6	0.0	100.0
医・歯学	人数（人）	3	5	4	5	7	1	5	5	0	35
	率（％）	8.6	14.3	11.4	14.3	20.0	2.9	14.3	14.3	0.0	100.0
薬学	人数（人）	0	0	0	1	2	2	1	2	0	8
	率（％）	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	0.0	100.0
家政	人数（人）	2	9	0	2	5	2	0	3	0	23
	率（％）	8.7	39.1	0.0	8.7	21.7	8.7	0.0	13.0	0.0	100.0
教育	人数（人）	6	14	11	7	5	5	3	1	0	52
	率（％）	11.5	26.9	21.2	13.5	9.6	9.6	5.8	1.9	0.0	100.0
日本語	人数（人）	27	77	62	44	22	13	4	3	2	254
	率（％）	10.6	30.3	24.4	17.3	8.7	5.1	1.6	1.2	0.8	100.0
その他	人数（人）	31	73	56	38	27	16	7	7	1	256
	率（％）	12.1	28.5	21.9	14.8	10.5	6.3	2.7	2.7	0.4	100.0
計	人数（人）	183	384	361	255	182	135	79	97	6	1,682
	率（％）	10.9	22.8	21.5	15.2	10.8	8.0	4.7	5.8	0.4	100.0
	平成 27 年率（％）	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0
	平成 25 年率（％）	8.8	21.3	25.0	16.9	10.5	7.9	3.9	5.4	0.3	100.0

（注）回答者数は、第 5-4 表の奨学金受給者数（1,682 人）

第 9-6 表 専攻別の奨学金非受給者の学習・研究時間

(Q16・17・27 参照)

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
人文科学	人数 (人)	29	31	36	38	12	6	2	1	0	155
	率 (%)	18.7	20.0	23.2	24.5	7.7	3.9	1.3	0.6	0.0	100.0
社会科学	人数 (人)	81	129	119	57	30	14	10	7	1	448
	率 (%)	18.1	28.8	26.6	12.7	6.7	3.1	2.2	1.6	0.2	100.0
理学	人数 (人)	6	8	12	6	3	1	1	4	0	41
	率 (%)	14.6	19.5	29.3	14.6	7.3	2.4	2.4	9.8	0.0	100.0
工学	人数 (人)	34	51	41	38	25	17	10	16	0	232
	率 (%)	14.7	22.0	17.7	16.4	10.8	7.3	4.3	6.9	0.0	100.0
農学	人数 (人)	0	10	3	4	4	3	2	4	0	30
	率 (%)	0.0	33.3	10.0	13.3	13.3	10.0	6.7	13.3	0.0	100.0
医・歯学	人数 (人)	1	3	3	2	4	0	0	3	0	16
	率 (%)	6.3	18.8	18.8	12.5	25.0	0.0	0.0	18.8	0.0	100.0
薬学	人数 (人)	1	1	2	1	0	1	2	0	0	8
	率 (%)	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	100.0
家政	人数 (人)	9	14	8	11	11	0	2	0	1	56
	率 (%)	16.1	25.0	14.3	19.6	19.6	0.0	3.6	0.0	1.8	100.0
教育	人数 (人)	2	8	15	6	10	5	0	2	0	48
	率 (%)	4.2	16.7	31.3	12.5	20.8	10.4	0.0	4.2	0.0	100.0
日本語	人数 (人)	211	331	356	146	71	23	8	17	6	1,169
	率 (%)	18.0	28.3	30.5	12.5	6.1	2.0	0.7	1.5	0.5	100.0
その他	人数 (人)	81	112	81	62	24	17	6	7	6	396
	率 (%)	20.5	28.3	20.5	15.7	6.1	4.3	1.5	1.8	1.5	100.0
計	人数 (人)	455	698	676	371	194	87	43	61	14	2,599
	率 (%)	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0
	平成 27 年率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	17.2	23.1	26.6	15.0	8.1	4.2	2.2	3.1	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第 6-3 表の奨学金非受給者数 (2,599 人)

奨学金の受給金額と学習・研究時間 (第 9-7 表) を見ると、奨学金の非受給者においては、「週 28 時間未満」が約 7 割であり、中でも、「週 7 時間以上 14 時間未満」の 698 人 (26.9%) が最も多い。

奨学金が 7 万円未満の受給者では、学習・研究時間は、「週 7 時間以上 21 時間未満」が最も多く、「5 万円未満」の受給者では 46.0% (574 人)、「5 万円以上 7 万円未満」の受給者では 48.0% (49 人) となっている。

第 9-7 表 奨学金の受給金額と学習・研究時間

(Q17・27 参照)

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
奨学金なし	人数 (人)	455	698	676	371	194	87	43	61	14	2,599
	率 (%)	17.5	26.9	26.0	14.3	7.5	3.3	1.7	2.3	0.5	100.0
奨学金あり	5 万円未満	人数 (人)	137	296	278	211	133	92	40	57	1,249
		率 (%)	11.0	23.7	22.3	16.9	10.6	7.4	3.2	4.6	100.0
	5 万円以上 7 万円未満	人数 (人)	17	30	19	8	10	6	9	2	102
		率 (%)	16.7	29.4	18.6	7.8	9.8	5.9	8.8	2.0	100.0
	7 万円以上 9 万円未満	人数 (人)	4	12	10	6	11	9	5	6	63
		率 (%)	6.3	19.0	15.9	9.5	17.5	14.3	7.9	9.5	100.0
	9 万円以上 11 万円未満	人数 (人)	12	19	30	13	8	11	9	3	105
		率 (%)	11.4	18.1	28.6	12.4	7.6	10.5	8.6	2.9	100.0
	11 万円以上	人数 (人)	13	27	24	17	20	17	16	29	163
		率 (%)	8.0	16.6	14.7	10.4	12.3	10.4	9.8	17.8	100.0

(注) 回答者数は、第 5-3 表の奨学金受給者数 (1,682 人)、及び第 6-2 表の奨学金非受給者数 (2,599 人)

10. 宿舍

「宿舍の形態（第 10-1 表）は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,302 人（75.4%）と最も多い。

第 10-1 表 宿舍の形態

（Q11・12・33(1)参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	人数（人）	516	150	85	24	27	5	2	14	5	828
		率（%）	62.3	18.1	10.3	2.9	3.3	0.6	0.2	1.7	0.6	100.0
	公立	人数（人）	55	19	5	6	3	0	0	3	1	92
		率（%）	59.8	20.7	5.4	6.5	3.3	0.0	0.0	3.3	1.1	100.0
	私立	人数（人）	1,484	133	95	27	40	12	22	44	11	1,868
		率（%）	79.4	7.1	5.1	1.4	2.1	0.6	1.2	2.4	0.6	100.0
	大学計	人数（人）	2,055	302	185	57	70	17	24	61	17	2,788
		率（%）	73.7	10.8	6.6	2.0	2.5	0.6	0.9	2.2	0.6	100.0
	短期大学	人数（人）	31	2	5	0	0	0	0	2	0	40
		率（%）	77.5	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）		人数（人）	995	48	56	14	20	25	10	26	17	1,211
		率（%）	82.2	4.0	4.6	1.2	1.7	2.1	0.8	2.1	1.4	100.0
準備教育機関		人数（人）	56	12	8	1	0	2	0	3	0	82
		率（%）	68.3	14.6	9.8	1.2	0.0	2.4	0.0	3.7	0.0	100.0
日本語教育機関		人数（人）	1,165	107	129	17	41	28	11	54	31	1,583
		率（%）	73.6	6.8	8.1	1.1	2.6	1.8	0.7	3.4	2.0	100.0
計		人数（人）	4,302	471	383	89	131	72	45	146	65	5,704
		率（%）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
		平成 27 率（%）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0
		平成 25 率（%）	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	0.5	100.0

在籍学校別の宿舎形態の率（年度別比較表）（第 10-2 表）は、すべての区分ではほぼ同じ割合で推移している。

第 10-2 表 在籍学校別の宿舎形態の率（単位％）（年度別比較表）（Q11・12・33(1)参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	平成 29 年	62.3	18.1	10.3	2.9	3.3	0.6	0.2	1.7	0.6	100.0
		平成 27 年	65.7	16.5	9.8	2.5	3.8	0.5	0.1	0.6	0.4	100.0
		平成 25 年	57.5	21.6	11.4	2.6	4.5	0.7	0.5	0.9	0.3	100.0
	公立	平成 29 年	59.8	20.7	5.4	6.5	3.3	0.0	0.0	3.3	1.1	100.0
		平成 27 年	56.3	22.7	10.9	2.5	3.4	0.0	2.5	1.7	0.0	100.0
		平成 25 年	61.8	18.4	5.1	9.6	2.9	1.5	0.0	0.7	0.0	100.0
	私立	平成 29 年	79.4	7.1	5.1	1.4	2.1	0.6	1.2	2.4	0.6	100.0
		平成 27 年	77.9	8.9	4.6	1.5	2.4	1.3	0.8	2.0	0.8	100.0
		平成 25 年	81.3	7.5	3.9	1.5	2.0	0.9	0.5	1.9	0.5	100.0
	大学計	平成 29 年	73.7	10.8	6.6	2.0	2.5	0.6	0.9	2.2	0.6	100.0
		平成 27 年	73.6	11.6	6.3	1.8	2.8	1.0	0.7	1.6	0.6	100.0
		平成 25 年	74.3	11.6	5.9	2.0	2.7	0.9	0.5	1.6	0.4	100.0
短期大学		平成 29 年	77.5	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	100.0
		平成 27 年	70.4	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	1.9	1.9	0.0	100.0
		平成 25 年	83.1	5.1	5.1	0.0	1.7	0.0	3.4	0.0	1.7	100.0
専修学校（専門課程）		平成 29 年	82.2	4.0	4.6	1.2	1.7	2.1	0.8	2.1	1.4	100.0
		平成 27 年	85.6	4.1	3.1	0.7	1.7	0.7	1.1	2.5	0.7	100.0
		平成 25 年	83.5	3.4	3.9	1.6	2.3	0.8	0.7	3.3	0.4	100.0
準備教育課程		平成 29 年	68.3	14.6	9.8	1.2	0.0	2.4	0.0	3.7	0.0	100.0
		平成 27 年	66.2	15.5	9.9	2.8	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	100.0
		平成 25 年	44.0	20.0	14.0	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0
日本語教育機関		平成 29 年	73.6	6.8	8.1	1.1	2.6	1.8	0.7	3.4	2.0	100.0
		平成 27 年	73.2	8.0	7.3	1.5	2.1	1.3	2.6	2.8	1.3	100.0
		平成 25 年	72.6	9.6	7.5	1.4	2.0	0.9	1.7	3.1	1.1	100.0
計		平成 29 年	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
		平成 27 年	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0
		平成 25 年	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	0.5	100.0

宿舎を選ぶ際に重視したもの（第 10-3 表）は、「家賃・初期費用」が 4,824 人（84.6%）と最も多く、「学校からの距離・通学時間」が 3,877 人（68.0%）、「周辺環境の利便性」が 2,462 人（43.2%）と続く。

第 10-3 表 宿舎を選ぶ際に重視したもの（複数回答設問）（Q33(2)参照）

区分		家賃 初期費用	間取り 広さ	設備	学校からの 距離 通学時間	周辺環境 の利便性	セキュ リティ	日本人と の交流	留学生同 士の交流
高等教育機関	集計 pt	9,866	1,816	1,634	5,545	2,519	1,035	330	234
	集計 pt 率（％）	42.9	7.9	7.1	24.1	11.0	4.5	1.4	1.0
	人数（人）	3,528	945	917	2,835	1,789	700	228	177
	率（％）	85.6	22.9	22.3	68.8	43.4	17.0	5.5	4.3
日本語教育機関	集計 pt	3,630	676	709	2,036	933	417	164	101
	集計 pt 率（％）	41.9	7.8	8.2	23.5	10.8	4.8	1.9	1.2
	人数（人）	1,296	345	382	1,042	673	271	107	67
	率（％）	81.9	21.8	24.1	65.8	42.5	17.1	6.8	4.2
合計	集計 pt	13,496	2,492	2,343	7,581	3,452	1,452	494	335
	集計 pt 率（％）	42.6	7.9	7.4	24.0	10.9	4.6	1.6	1.1
	人数（人）	4,824	1,290	1,299	3,877	2,462	971	335	244
	率（％）	84.6	22.6	22.8	68.0	43.2	17.0	5.9	4.3
	平成 27 年率（％）	85.4	22.6	21.5	67.2	44.1	14.4	6.4	3.9
	平成 25 年率（％）	86.3	17.5	20.7	68.4	44.6	11.4	5.6	3.5

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

一人当たりの専有面積（第 10-4 表）は、「7.5 m²以上 10 m²（約 5～6 畳）未満」が 1,144 人（20.1%）と最も多く、「15 m²（約 9 畳）未満」が全体の約 7 割（65.5%）となっている。

第 10-4 表 一人当たりの専有面積

（Q33(3)参照）

区分	5 m ² 未満	5～7.5 m ² 未満	7.5～10 m ² 未満	10～12.5 m ² 未満	12.5～15 m ² 未満	15～17.5 m ² 未満	17.5～20 m ² 未満	20～25 m ² 未満	25 m ² 以上	不明	計
人数（人）	504	910	1,144	638	541	444	556	462	359	146	5,704
率（%）	8.8	16.0	20.1	11.2	9.5	7.8	9.7	8.1	6.3	2.6	100.0
平成 27 年率（%）	8.3	16.8	20.6	12.9	10.0	7.1	9.1	7.2	5.8	2.2	100.0
平成 25 年率（%）	7.5	18.0	24.3	12.8	10.4	7.1	8.2	5.4	4.6	1.8	100.0

部屋の設定（第 10-5 表）として、「キッチン」、「バス・シャワー」、「トイレ」の有無を見ると、約 7 割の者が個別のキッチン（77.3%）、バス・シャワー（77.2%）、トイレ（78.6%）付きの部屋に居住している。また、「部屋にはないが共同」はそれぞれ約 2 割となっている。

第 10-5 表 部屋の設定

（Q33(4)参照）

区分		部屋にある	部屋にはないが共同	なし	不明
キッチン	人数（人）	4,407	1,120	48	129
	率（%）	77.3	19.6	0.8	2.3
	平成 27 年率（%）	69.9	18.4	0.9	10.8
	平成 25 年率（%）	71.6	19.2	1.0	8.2
バス・シャワー	人数（人）	4,403	1,092	15	194
	率（%）	77.2	19.1	0.3	3.4
	平成 27 年率（%）	68.9	18.7	0.5	12.0
	平成 25 年率（%）	71.3	19.0	0.4	9.3
トイレ	人数（人）	4,481	1,006	—	217
	率（%）	78.6	17.6	—	3.8
	平成 27 年率（%）	71.1	16.5	—	12.3
	平成 25 年率（%）	73.6	16.7	—	9.7

（注）「トイレ」の設間には「なし」の選択肢はない

同居人の有無（第 10-6 表）については、「日本で単身で住んでいる」と回答した者は、2,768 人（48.5%）で、全体の約半数となっている。

第 10-6 表 同居人の有無

（Q34 参照）

区分	単身	同居	不明	計
人数（人）	2,768	2,879	57	5,704
率（%）	48.5	50.5	1.0	100.0
平成 27 年率（%）	49.2	49.8	1.0	100.0
平成 25 年率（%）	50.9	46.9	2.2	100.0

「同居人がいる」と回答した者のうち、同居人の数（第 10-7 表）が「1 人」と回答した者が 995 人（34.6%）で最も多く、次いで、「2 人」と回答した者 955 人（33.2%）となっている。

第 10-7 表 同居人の数

（Q35(1)参照）

区分	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	計
人数（人）	995	955	487	216	166	60	2,879
率（%）	34.6	33.2	16.9	7.5	5.8	2.1	100.0
平成 27 年率（%）	34.5	36.6	14.4	6.8	4.8	2.8	100.0
平成 25 年率（%）	41.4	33.4	13.7	4.8	4.6	2.1	100.0

（注）回答者数は、第 10-6 表で同居人ありと回答した数（2,879 人）

同居人の種類（第 10-8 表）を見ると、「外国人留学生」と回答した者が約 6 割の 1,621 人（56.3%）で最も多く、次いで、「配偶者又は家族」の 667 人（23.2%）となっている。

第 10-8 表 同居人の種類 (Q35(2)参照)

区分	配偶者又は家族	外国人留学生	日本人学生	その他	不明	計
人数（人）	667	1,621	102	369	120	2,879
率（%）	23.2	56.3	3.5	12.8	4.2	100.0
平成 27 年率（%）	26.3	53.6	3.3	12.2	4.6	100.0
平成 25 年率（%）	29.1	54.9	2.3	9.8	3.8	100.0

（注）回答者数は、第 10-6 表で同居人ありと回答した数(2,879 人)

宿舎の形態による单身・同居の状況（第 10-9 表）を見ると、「单身居住者」、「同居者のいる者」のどちらも「民間のアパートやマンション等」に 7 割以上が居住している。

第 10-9 表 宿舎の形態による单身・同居の状況 (Q33(1)・34 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
单身	人数（人）	2,172	231	182	60	41	33	8	31	10	2,768
	率（%）	78.5	8.3	6.6	2.2	1.5	1.2	0.3	1.1	0.4	100.0
同居	人数（人）	2,112	240	200	29	90	39	37	115	17	2,879
	率（%）	73.4	8.3	6.9	1.0	3.1	1.4	1.3	4.0	0.6	100.0
不明	人数（人）	18	0	1	0	0	0	0	0	38	57
	率（%）	31.6	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0
合計	人数（人）	4,302	471	383	89	131	72	45	146	65	5,704
	率（%）	75.4	8.3	6.7	1.6	2.3	1.3	0.8	2.6	1.1	100.0
	平成 27 年率（%）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0
	平成 25 年率（%）	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	0.5	100.0

居住地域別の住居費（第 10-10 表）を見ると、関東地方が平均月額 39,000 円と全国で最も高くなっている。一方、平均月額が低いのは四国地方で 23,000 円となっている。なお、東京のみでは、43,000 円となっている。

第 10-10 表 居住地域別の住居費（年度別比較表） (Q29・32 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
平成 29 年（千円）	31	25	39	26	35	24	23	24	43	34
平成 27 年（千円）	30	23	35	26	32	21	22	22	38	31
平成 25 年（千円）	28	23	41	28	35	25	21	25	43	35

宿舍の形態別の住居費（第 10-11 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「2 万円以上 5 万円未満」が約 7 割（66.9%）であり、「大学・学校の留学生用宿舍」は、「1 万円以上 4 万円未満」が 6 割以上（62.2%）となっている。全体では「2 万円以上 5 万円未満」が 6 割以上（63.9%）となっている。

第 10-11 表 宿舍の形態別の住居費

（Q29・33(1)参照）

区分		1 万円未満	1～2 万円未満	2～3 万円未満	3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満	6～7 万円未満	7 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	45	211	692	917	579	344	199	176	107	3,270
	率（%）	1.4	6.5	21.2	28.0	17.7	10.5	6.1	5.4	3.3	100.0
大学・学校の留学生用宿舍	人数（人）	43	58	90	76	48	12	11	3	19	360
	率（%）	11.9	16.1	25.0	21.1	13.3	3.3	3.1	0.8	5.3	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	23	57	73	52	29	13	13	9	21	290
	率（%）	7.9	19.7	25.2	17.9	10.0	4.5	4.5	3.1	7.2	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舍	人数（人）	4	8	17	14	12	9	3	4	1	72
	率（%）	5.6	11.1	23.6	19.4	16.7	12.5	4.2	5.6	1.4	100.0
公営住宅等の一般公的宿舍	人数（人）	5	9	19	25	12	6	3	5	3	87
	率（%）	5.7	10.3	21.8	28.7	13.8	6.9	3.4	5.7	3.4	100.0
企業の社員寮	人数（人）	1	6	7	11	4	1	4	1	12	47
	率（%）	2.1	12.8	14.9	23.4	8.5	2.1	8.5	2.1	25.5	100.0
ホームステイ	人数（人）	0	1	10	5	3	3	0	3	9	34
	率（%）	0.0	2.9	29.4	14.7	8.8	8.8	0.0	8.8	26.5	100.0
その他	人数（人）	1	6	11	12	8	19	10	9	27	103
	率（%）	1.0	5.8	10.7	11.7	7.8	18.4	9.7	8.7	26.2	100.0
不明	人数（人）	0	2	3	5	1	4	2	0	1	18
	率（%）	0.0	11.1	16.7	27.8	5.6	22.2	11.1	0.0	5.6	100.0
合計	人数（人）	122	358	922	1,117	696	411	245	210	200	4,281
	率（%）	2.8	8.4	21.5	26.1	16.3	9.6	5.7	4.9	4.7	100.0
	平成 27 年率（%）	2.9	8.7	20.7	28.5	15.4	10.0	5.3	3.4	5.0	100.0
	平成 25 年率（%）	4.0	8.6	22.3	29.7	16.2	8.2	4.0	2.7	4.2	100.0

（注）回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,281 人）

宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額（第 10-12 表）は「5 万円未満」と回答した者が 1,705 人（29.9%）と最も多く、次いで、「5 万円以上 10 万円未満」と回答した者が 1,374 人（24.1%）、「なし」が 1,072 人（18.8%）となっている。

第 10-12 表 宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額

（Q36 参照）

区分	なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
人数（人）	1,072	1,705	1,374	918	276	95	22	25	217	5,704
率（%）	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0
平成 27 年率（%）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0
平成 25 年率（%）	19.7	33.5	24.4	14.9	4.0	0.7	0.2	0.2	2.4	100.0

宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等（第 10-13 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「企業の社員寮」、「ホームステイ」は 7 割以上が敷金・礼金、保証金等が「なし」又は「5 万円未満」となっている。

第 10-13 表 宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等

（Q33(1)・36 参照）

区分		なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	632	1,161	1,154	849	254	86	20	20	126	4,302
	率（％）	14.7	27.0	26.8	19.7	5.9	2.0	0.5	0.5	2.9	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	156	220	55	16	7	2	0	0	15	471
	率（％）	33.1	46.7	11.7	3.4	1.5	0.4	0.0	0.0	3.2	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	118	168	59	15	6	2	1	0	14	383
	率（％）	30.8	43.9	15.4	3.9	1.6	0.5	0.3	0.0	3.7	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	22	36	23	2	2	1	0	1	2	89
	率（％）	24.7	40.4	25.8	2.2	2.2	1.1	0.0	1.1	2.2	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	18	42	35	19	4	3	1	3	6	131
	率（％）	13.7	32.1	26.7	14.5	3.1	2.3	0.8	2.3	4.6	100.0
企業の社員寮	人数（人）	35	21	12	2	0	1	0	0	1	72
	率（％）	48.6	29.2	16.7	2.8	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	100.0
ホームステイ	人数（人）	22	10	8	4	0	0	0	0	1	45
	率（％）	48.9	22.2	17.8	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	100.0
その他	人数（人）	65	41	22	7	1	0	0	1	9	146
	率（％）	44.5	28.1	15.1	4.8	0.7	0.0	0.0	0.7	6.2	100.0
不明	人数（人）	4	6	6	4	2	0	0	0	43	65
	率（％）	6.2	9.2	9.2	6.2	3.1	0.0	0.0	0.0	66.2	100.0
合計	人数（人）	1,072	1,705	1,374	918	276	95	22	25	217	5,704
	率（％）	18.8	29.9	24.1	16.1	4.8	1.7	0.4	0.4	3.8	100.0
	平成 27 年率（％）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0
	平成 25 年率（％）	19.7	33.5	24.4	14.9	4.0	0.7	0.2	0.2	2.4	100.0

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-14 表）について、「保証人を求められた」と回答した者は、3,168 人で全体の約 6 割（55.5%）となっている。

第 10-14 表 宿舎に入居の際の保証人の要否

（Q37 参照）

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数（人）	3,168	2,441	95	5,704
率（％）	55.5	42.8	1.7	100.0
平成 27 年率（％）	57.7	40.8	1.5	100.0
平成 25 年率（％）	59.3	39.3	1.5	100.0

宿舎の形態別の保証人の要否（第 10-15 表）を見ると、「民間のアパート・マンション等」に居住する学生のうち、6 割以上が「保証人を求められた」（2,652 人、61.6%）と回答している。一方、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「ホームステイ」に居住する学生では、「保証人を求められた」と回答したのはそれぞれ 4 割以下である。

第 10-15 表 宿舍の形態別の保証人の要否

(Q33(1)・37 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
保証人必要	人数 (人)	2,652	172	136	43	68	31	13	41	12	3,168
	率 (%)	61.6	36.5	35.5	48.3	51.9	43.1	28.9	28.1	18.5	55.5
	平成 27 年率 (%)	63.9	35.7	37.4	54.3	59.3	37.7	30.7	31.0	24.5	57.7
	平成 25 年率 (%)	65.7	34.1	36.9	49.6	64.9	53.7	23.9	34.1	39.4	59.3
保証人不要	人数 (人)	1,612	290	245	46	62	40	32	99	15	2,441
	率 (%)	37.5	61.6	64.0	51.7	47.3	55.6	71.1	67.8	23.1	42.8
	平成 27 年率 (%)	35.2	62.5	60.4	44.6	39.3	60.7	66.7	68.3	24.5	40.8
	平成 25 年率 (%)	33.0	65.1	61.7	48.7	32.5	44.4	76.1	64.3	27.3	39.3
不明	人数 (人)	38	9	2	0	1	1	0	6	38	95
	率 (%)	0.9	1.9	0.5	0.0	0.8	1.4	0.0	4.1	58.5	1.7
	平成 27 年率 (%)	0.9	1.8	2.2	1.1	1.4	1.6	2.7	0.8	51.0	1.5
	平成 25 年率 (%)	1.3	0.8	1.4	1.7	2.6	1.9	0.0	1.6	33.3	1.5
計	人数 (人)	4,302	471	383	89	131	72	45	146	65	5,704
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

宿舍の保証人の種類 (第 10-16 表) は、「大学・学校等 (代表者)」と回答した者が 757 人 (23.9%) と最も多く、次いで、「保証人制度を利用する」が 591 人 (18.7%)、「日本人の知人」が 551 人 (17.4%)、「親族」が 514 人 (16.2%) となっている。

第 10-16 表 宿舍の保証人の種類

(Q38 参照)

区分	大学・学校 (代表者)	大学・学校の指導教員	国際交流団体 (代表者)	過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	不明	計
人数 (人)	757	162	54	85	551	263	514	591	142	49	3,168
率 (%)	23.9	5.1	1.7	2.7	17.4	8.3	16.2	18.7	4.5	1.5	100.0
平成 27 年率 (%)	29.0	6.7	1.7	2.5	18.9	5.9	14.3	15.6	4.3	1.1	100.0
平成 25 年率 (%)	30.5	6.6	1.7	2.3	21.6	5.2	14.6	15.0	2.1	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第 10-14 表の保証人を必要とする件数 (3,168 人)

学校までの所要通学時間 (第 10-17 表) については、全国平均で「30 分以内」が 3,811 人 (66.8%) と最も多く、以下、「1 時間以内」が 1,426 人 (25.0%)、「1 時間 30 分以内」が 325 人 (5.7%) となっている。東京在住では、「30 分以内」が 1,123 人 (54.7%) である。

第 10-17 表 学校までの所要通学時間

(Q18・32 参照)

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	不明	計
全国平均	人数 (人)	3,811	1,426	325	68	40	34	5,704
	率 (%)	66.8	25.0	5.7	1.2	0.7	0.6	100.0
	平成 27 年率 (%)	67.5	24.1	6.1	1.2	0.5	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	64.3	25.6	7.6	1.6	0.6	0.4	100.0
東京在住	人数 (人)	1,123	731	142	20	20	16	2,052
	率 (%)	54.7	35.6	6.9	1.0	1.0	0.8	100.0
	平成 27 年率 (%)	59.4	31.5	7.3	0.9	0.5	0.4	100.0
	平成 25 年率 (%)	54.5	33.4	9.2	1.9	0.6	0.5	100.0

11. 授業料等の保証人

大学・学校の授業料等の保証人の要否(第 11-1 表)は、「求められた」と回答した者が 3,434 人(60.2%)、「求められていない」と回答した者が 2,192 人(38.4%)となっており、約 6 割が保証人を求められている。

第 11-1 表 授業料等の保証人の要否

(Q19 参照)

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数(人)	3,434	2,192	78	5,704
率(%)	60.2	38.4	1.4	100.0
平成 27 年率(%)	60.5	38.5	1.0	100.0
平成 25 年率(%)	60.0	39.0	1.0	100.0

在籍学校別の保証人要否(第 11-2 表)を見ると、国立大学で保証人を必要としているのは、39.1%(324 人)で、他の区分と比較して割合が低くなっている。

第 11-2 表 在籍学校別の保証人要否

(Q11・12・19 参照)

区分			保証人要	保証人不要	不明	計
大学	国立	人数（人）	324	492	12	828
		率（％）	39.1	59.4	1.4	100.0
		平成 27 年率（％）	39.2	59.8	1.1	100.0
		平成 25 年率（％）	40.9	58.4	0.7	100.0
	公立	人数（人）	48	42	2	92
		率（％）	52.2	45.7	2.2	100.0
		平成 27 年率（％）	67.2	32.8	0.0	100.0
		平成 25 年率（％）	50.7	45.6	3.7	100.0
	私立	人数（人）	1,157	698	13	1,868
		率（％）	61.9	37.4	0.7	100.0
		平成 27 年率（％）	63.6	35.8	0.6	100.0
		平成 25 年率（％）	64.9	34.3	0.8	100.0
	大学計	人数（人）	1,529	1,232	27	2,788
		率（％）	54.8	44.2	1.0	100.0
		平成 27 年率（％）	56.7	42.6	0.7	100.0
		平成 25 年率（％）	58.0	41.1	0.9	100.0
短期大学	人数（人）	23	16	1	40	
	率（％）	57.5	40.0	2.5	100.0	
	平成 27 年率（％）	70.4	29.6	0.0	100.0	
	平成 25 年率（％）	71.2	25.4	3.4	100.0	
専修学校（専門課程）	人数（人）	695	497	19	1,211	
	率（％）	57.4	41.0	1.6	100.0	
	平成 27 年率（％）	56.2	42.7	1.1	100.0	
	平成 25 年率（％）	57.4	42.1	0.5	100.0	
準備教育課程	人数（人）	65	16	1	82	
	率（％）	79.3	19.5	1.2	100.0	
	平成 27 年率（％）	66.2	32.4	1.4	100.0	
	平成 25 年率（％）	78.0	22.0	0.0	100.0	
日本語教育機関	人数（人）	1,122	431	30	1,583	
	率（％）	70.9	27.2	1.9	100.0	
	平成 27 年率（％）	71.0	27.4	1.6	100.0	
	平成 25 年率（％）	69.3	28.9	1.8	100.0	
計	人数（人）	3,434	2,192	78	5,704	
	率（％）	60.2	38.4	1.4	100.0	
	平成 27 年率（％）	60.5	38.5	1.0	100.0	
	平成 25 年率（％）	60.0	39.0	1.0	100.0	

また、授業料の保証人の種類（第 11-3 表）としては、「親族」が 2,494 人（72.6%）と最も多く、約 7 割となっている。次いで、「日本人の知人」が 189 人（5.5%）となっている。

第 11-3 表 授業料の保証人の種類

（Q20 参照）

区分	大学・学校 (代表者)	大学・学校 の指導教員	国際交流 団体 (代表者)	過去に在籍 していた 日本語教育機関 (代表者・教員)	日本人の 知人	日本人以外 の知人	親族	その他	不明	計
人数 (人)	188	146	30	69	189	169	2,494	106	43	3,434
率 (%)	5.5	4.3	0.9	2.0	5.5	4.9	72.6	3.1	1.3	100.0
平成 27 年率 (%)	6.4	3.8	0.9	2.8	6.3	4.3	71.7	3.0	0.7	100.0
平成 25 年率 (%)	5.2	5.3	0.8	3.0	9.8	4.3	68.3	1.9	1.3	100.0

（注）回答者数は、第 11-1 表の保証人を必要とする件数（3,434 人）

12. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 12-1 表）として、「病院に行った」が 2,503 人（43.9%）と最も多く、次いで、「薬局で薬を買って治した」が 2,493 人（43.7%）、「学校の保健管理センターや医務室に行った」が 938 人（16.4%）となっている。なお、「病気やけがをしたことがない」が 2,284 人（40.0%）となっている。

第 12-1 表 大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答設問）（Q39 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも行かないで、我慢した	その他	不明
人数（人）	2,284	938	2,503	2,493	659	98	198
率（%）	40.0	16.4	43.9	43.7	11.6	1.7	3.5
平成 27 年率（%）	38.8	20.6	56.0	56.7	9.6	1.2	2.5
平成 25 年率（%）	36.5	15.8	46.4	39.1	9.1	1.2	1.7

健康保険加入状況（第 12-2 表）については、5,628 人（98.7%）が何らかの健康保険に加入していると回答している。

第 12-2 表 健康保険加入状況（Q40(1)参照）

区分	健康保険に加入している	健康保険に加入していない	不明	計
高等教育機関				
人数（人）	4,082	14	25	4,121
率（%）	99.1	0.3	0.6	100.0
日本語教育機関				
人数（人）	1,546	8	29	1,583
率（%）	97.7	0.5	1.8	100.0
合計				
人数（人）	5,628	22	54	5,704
率（%）	98.7	0.4	0.9	100.0
平成 27 年率（%）	97.0	2.2	0.8	100.0
平成 25 年率（%）	97.3	2.5	0.3	100.0

加入している健康保険の種類（第 12-4 表）については、健康保険に加入している学生の 92.1%にあたる 5,186 人が「（日本の）国民健康保険」に加入しており、その他に、「海外旅行・留学保険」に 504 人（9.0%）、「所属する機関の健康保険」に 439 人（7.8%）、「親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険」に 290 人（5.2%）が加入している。

第 12-3 表 居住地域別健康保険加入状況（Q32・40(1)参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
人数（人）	58	126	3,194	563	867	205	54	561	5,628
率（%）	1.0	2.2	56.8	10.0	15.4	3.6	1.0	10.0	100.0

（注）回答者数は、第 12-2 表で健康保険に加入していると回答した人数（5,628 人）

第 12-4 表 加入している健康保険の種類（複数回答設問）（Q40(2)参照）

区分	（日本の）国民健康保険	海外旅行・留学保険	親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	所属する機関の健康保険	その他	不明
人数（人）	5,186	504	290	439	59	184
率（%）	92.1	9.0	5.2	7.8	1.0	3.3
平成 27 年率（%）	95.0	8.3	4.8	6.5	0.8	1.1
平成 25 年率（%）	96.6	4.9	3.1	4.4	0.6	3.4

（注）率は、第 12-2 表の健康保険加入者数（5,628 人）を 100 とした割合

第 12-5 表 居住地域別加入している健康保険の種類

(Q32・40(2)参照)

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
国民健康保険	人数(人)	54	112	2,939	524	806	195	48	508	5,186
	率(%)	1.0	2.2	56.7	10.1	15.5	3.8	0.9	9.8	100.0
海外旅行・留学保険	人数(人)	8	28	266	60	75	20	3	44	504
	率(%)	1.6	5.6	52.8	11.9	14.9	4.0	0.6	8.7	100.0
親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	人数(人)	5	11	150	27	54	10	5	28	290
	率(%)	1.7	3.8	51.7	9.3	18.6	3.4	1.7	9.7	100.0
所属する機関の健康保険	人数(人)	7	12	217	46	65	18	8	66	439
	率(%)	1.6	2.7	49.4	10.5	14.8	4.1	1.8	15.0	100.0
その他	人数(人)	0	2	28	3	10	4	1	11	59
	率(%)	0.0	3.4	47.5	5.1	16.9	6.8	1.7	18.6	100.0
不明	人数(人)	1	6	108	19	21	5	2	22	184
	率(%)	0.5	3.3	58.7	10.3	11.4	2.7	1.1	12.0	100.0

居住地域別国民健康保険の加入率(第 12-6 表)は、全国的に 9 割以上が加入している。

第 12-6 表 居住地域別国民健康保険の加入率

(Q32・40(2)参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
人数(人)	54	112	2,939	524	806	195	48	508	5,186
率(%)	93.1	88.9	92.0	93.1	93.0	95.1	88.9	90.6	92.1

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数(5,186 人)

年度別の居住地域別国民健康保険の加入率(第 12-7 表)を見ると、全国的に加入率が低下している。

第 12-7 表 年度別の居住地域別国民健康保険の加入率 (年度別比較表)

(Q32・40(2)参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
率(%)	93.1	88.9	92.0	93.1	93.0	95.1	88.9	90.6	92.1
平成 27 年率(%)	96.1	90.7	95.0	95.5	96.6	92.9	94.6	94.2	95.0
平成 25 年率(%)	99.0	94.6	96.4	96.0	98.1	98.2	96.3	95.1	96.6

国民健康保険の地域別保険料月額(第 12-8 表)について、全体では「1,000 円以上 1,500 円未満」が 1,658 人(32.0%)と最も多い。居住地域別にみると、中国地方では「2,000 円以上 2,500 円未満」、北海道地方・中部地方・近畿地方・九州地方では「1,500 円以上 2,000 円未満」、関東地方、四国地方では「1,000 円以上 1,500 円未満」がそれぞれ最も多い。(東北地方では「2,000 円以上 2,500 円未満」、「1,500 円以上 2,000 円未満」が同数で多い。)

第 12-8 表 国民健康保険の地域別保険料月額

(Q32・40(3)参照)

区分		無料	500 円 未満	500 円 ～1,000 円未満	1,000 円 ～1,500 円未満	1,500 円 ～2,000 円未満	2,000 円 ～2,500 円未満	2,500 円 ～3,000 円未満	3,000 円 ～3,500 円未満	3,500 円 以上	不明	計
北海道	人数 (人)	4	2	1	9	23	7	1	3	1	3	54
	率 (%)	7.4	3.7	1.9	16.7	42.6	13.0	1.9	5.6	1.9	5.6	100
東北	人数 (人)	5	2	4	18	27	27	7	6	13	3	112
	率 (%)	4.5	1.8	3.6	16.1	24.1	24.1	6.3	5.4	11.6	2.7	100
関東	人数 (人)	35	32	276	1,281	433	169	116	101	431	65	2939
	率 (%)	1.2	1.1	9.4	43.6	14.7	5.8	3.9	3.4	14.7	2.2	100
中部	人数 (人)	8	5	22	119	140	73	44	13	85	15	524
	率 (%)	1.5	1.0	4.2	22.7	26.7	13.9	8.4	2.5	16.2	2.9	100
近畿	人数 (人)	9	2	18	118	265	191	66	33	88	16	806
	率 (%)	1.1	0.2	2.2	14.6	32.9	23.7	8.2	4.1	10.9	2.0	100
中国	人数 (人)	3	4	3	28	47	55	16	6	29	4	195
	率 (%)	1.5	2.1	1.5	14.4	24.1	28.2	8.2	3.1	14.9	2.1	100
四国	人数 (人)	2	0	1	14	6	10	1	0	13	1	48
	率 (%)	4.2	0.0	2.1	29.2	12.5	20.8	2.1	0.0	27.1	2.1	100
九州	人数 (人)	3	4	16	71	243	56	28	16	67	4	508
	率 (%)	0.6	0.8	3.1	14.0	47.8	11.0	5.5	3.1	13.2	0.8	100
計	人数 (人)	69	51	341	1,658	1,184	588	279	178	727	111	5186
	率 (%)	1.3	1.0	6.6	32.0	22.8	11.3	5.4	3.4	14.0	2.1	100

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数 (5,186 人)

また、国民健康保険料負担分布の年度別比較 (第 12-9 表) を見ると、国民健康保険料が、「1,500 円以上 2,000 円未満」、「2,500 円以上 3,000 円未満」、「3,500 円以上」の割合がやや上昇している。

第 12-9 表 国民健康保険料負担分布の年度別比較表

(Q40(2)・(3)参照)

区分		無料	500 円 未満	500 円 ～ 1,000 円未満	1,000 円 ～ 1,500 円未満	無料～ 1,500 円未満	1,500 円 ～ 2,000 円未満	2,000 円 ～ 2,500 円未満	2,500 円 ～ 3,000 円未満	3,000 円 ～ 3,500 円未満	3,500 円 以上	不明	計
平成 29 年	人数 (人)	69	51	341	1,658	2,119	1,184	588	279	178	727	111	5,186
	率 (%)	1.3	1.0	6.6	32.0	40.9	22.8	11.3	5.4	3.4	14.0	2.1	100
平成 27 年	人数 (人)	118	73	483	1,800	2,474	1,218	674	236	192	633	138	5,565
	率 (%)	2.1	1.3	8.7	32.3	44.5	21.9	12.1	4.2	3.5	11.4	2.5	100.0
平成 25 年	人数 (人)	79	86	488	1,810	2,463	1,279	737	291	193	677	75	5,715
	率 (%)	1.4	1.5	8.5	31.7	43.1	22.4	12.9	5.1	3.4	11.8	1.3	100.0

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数 (5,186 人)

第 12-10 表 健康保険未加入の理由

(Q41 参照)

区分	保険料が 高すぎる	保険が必要 だと思わない	国民健康保険への 加入の仕方が わからない	その他	不明	計
人数 (人)	3	1	0	3	15	22
率 (%)	13.6	4.5	0.0	13.6	68.2	100.0
平成 27 年率 (%)	45.4	20.0	21.5	4.6	8.5	100.0
平成 25 年率 (%)	38.7	36.0	9.3	10.0	6.0	100.0

(注) 回答者数は、第 12-2 表の健康保険未加入者数 (22 人)

13.卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 13-1 表）として、「日本において就職希望」と回答した者が 3,682 人（64.6%）で最も多く、次いで、「日本において進学希望」が 2,940 人（51.5%）となっている。

第 13-1 表 卒業後の進路希望 （全体） （複数回答設問） （Q42 参照）

区分	日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
集計 pt	7,981	9,978	1,013	621	2,204	633	434	638	—
集計 pt 率 (%)	34.0	42.5	4.3	2.6	9.4	2.7	1.8	2.7	—
人数 (人)	2,940	3,682	605	323	1,052	353	297	299	57
率 (%)	51.5	64.6	10.6	5.7	18.4	6.2	5.2	5.2	1.0
平成 27 年率 (%)	50.4	63.6	10.8	5.3	20.0	5.9	5.8	6.0	0.8
平成 25 年率 (%)	45.2	65.0	8.7	3.4	26.4	5.7	4.0	4.0	0.3

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

在籍段階別卒業後の進路希望（第 13-2 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」では、「日本において就職を希望」が最も多く、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では、「日本において進学希望」が最も多い回答となっている。

専攻分野別卒業後の進路希望（第 13-3 表）を見ると、「日本語」では、「日本において進学希望」が最も多く、それ以外の分野では、「日本において就職希望」が最も多い。

第 13-2 表 在籍段階別卒業後の進路希望 (複数回答設問)

(Q12・42 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	155	503	30	80	421	54	54	92	—
	集計 pt 率(%)	11.2	36.2	2.2	5.8	30.3	3.9	3.9	6.6	—
	人数 (人)	61	189	18	34	167	30	32	36	2
	率 (%)	18.2	56.3	5.4	10.1	49.7	8.9	9.5	10.7	0.6
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	514	1,154	87	86	453	80	52	95	—
	集計 pt 率(%)	20.4	45.8	3.5	3.4	18.0	3.2	2.1	3.8	—
	人数 (人)	194	416	44	42	197	44	35	47	3
	率 (%)	31.3	67.2	7.1	6.8	31.8	7.1	5.7	7.6	0.5
専門職大学院課程	集計 pt	42	109	16	9	32	2	5	7	—
	集計 pt 率(%)	18.9	49.1	7.2	4.1	14.4	0.9	2.3	3.2	—
	人数 (人)	15	40	8	4	14	2	4	4	0
	率 (%)	28.8	76.9	15.4	7.7	26.9	3.8	7.7	7.7	0.0
大学院レベルの研究生	集計 pt	38	86	5	6	33	7	6	2	—
	集計 pt 率(%)	20.8	47.0	2.7	3.3	18.0	3.8	3.3	1.1	—
	人数 (人)	15	31	4	3	15	4	4	2	0
	率 (%)	36.6	75.6	9.8	7.3	36.6	9.8	9.8	4.9	0.0
学部正規課程	集計 pt	1,686	2,901	339	199	631	341	163	217	—
	集計 pt 率(%)	26.0	44.8	5.2	3.1	9.7	5.3	2.5	3.4	—
	人数 (人)	635	1,067	189	102	313	177	106	106	6
	率 (%)	41.9	70.5	12.5	6.7	20.7	11.7	7.0	7.0	0.4
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	50	104	13	14	24	4	3	4	—
	集計 pt 率(%)	23.1	48.1	6.0	6.5	11.1	1.9	1.4	1.9	—
	人数 (人)	19	37	7	6	12	2	3	2	0
	率 (%)	37.3	72.5	13.7	11.8	23.5	3.9	5.9	3.9	0.0
短期大学	集計 pt	40	94	9	3	14	3	2	1	—
	集計 pt 率(%)	24.1	56.6	5.4	1.8	8.4	1.8	1.2	0.6	—
	人数 (人)	15	33	4	2	8	3	2	1	0
	率 (%)	37.5	82.5	10.0	5.0	20.0	7.5	5.0	2.5	0.0
専修学校(専門課程)	集計 pt	1,413	2,522	280	85	243	56	72	102	—
	集計 pt 率(%)	29.6	52.8	5.9	1.8	5.1	1.2	1.5	2.1	—
	人数 (人)	519	906	165	52	138	33	54	46	14
	率 (%)	43.5	75.9	13.8	4.4	11.6	2.8	4.5	3.9	1.2
準備教育課程	集計 pt	196	92	9	10	21	6	1	2	—
	集計 pt 率(%)	58.2	27.3	2.7	3.0	6.2	1.8	0.3	0.6	—
	人数 (人)	69	38	6	6	11	3	1	1	0
	率 (%)	84.1	46.3	7.3	7.3	13.4	3.7	1.2	1.2	0.0
日本語教育機関	集計 pt	3,557	1,986	176	87	268	62	62	100	—
	集計 pt 率(%)	56.5	31.5	2.8	1.4	4.3	1.0	1.0	1.6	—
	人数 (人)	1,288	769	128	50	145	44	45	47	27
	率 (%)	82.8	49.5	8.2	3.2	9.3	2.8	2.9	3.0	1.7
その他	集計 pt	290	427	49	42	64	18	14	16	—
	集計 pt 率(%)	31.5	46.4	5.3	4.6	7.0	2.0	1.5	1.7	—
	人数 (人)	110	156	32	22	32	11	11	7	5
	率 (%)	50.0	70.9	14.5	10.0	14.5	5.0	5.0	3.2	2.3
合計	集計 pt	7,981	9,978	1,013	621	2,204	633	434	638	—
	集計 pt 率(%)	34.0	42.5	4.3	2.6	9.4	2.7	1.8	2.7	—
	人数 (人)	2,940	3,682	605	323	1,052	353	297	299	57
	率 (%)	51.5	64.6	10.6	5.7	18.4	6.2	5.2	5.2	1.0

(注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

第 13-3 表 専攻分野別卒業後の進路希望 (複数回答設問)

(Q16・42 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
人文科学	集計 pt	382	771	57	74	239	48	62	56	—
	集計 pt 率(%)	22.6	45.6	3.4	4.4	14.2	2.8	3.7	3.3	—
	人数 (人)	141	286	32	34	108	26	37	28	4
	率 (%)	34.3	69.6	7.8	8.3	26.3	6.3	9.0	6.8	1.0
社会科学	集計 pt	1,117	2,505	284	131	613	172	109	158	—
	集計 pt 率(%)	21.9	49.2	5.6	2.6	12.0	3.4	2.1	3.1	—
	人数 (人)	421	904	155	70	287	94	76	77	7
	率 (%)	34.3	73.7	12.6	5.7	23.4	7.7	6.2	6.3	0.6
理学	集計 pt	211	248	25	38	66	52	24	37	—
	集計 pt 率(%)	30.1	35.4	3.6	5.4	9.4	7.4	3.4	5.3	—
	人数 (人)	80	94	14	17	31	26	15	17	0
	率 (%)	50.6	59.5	8.9	10.8	19.6	16.5	9.5	10.8	0.0
工学	集計 pt	659	1,210	102	68	312	102	42	56	—
	集計 pt 率(%)	25.8	47.4	4.0	2.7	12.2	4.0	1.6	2.2	—
	人数 (人)	245	448	62	33	142	56	27	27	1
	率 (%)	40.0	73.1	10.1	5.4	23.2	9.1	4.4	4.4	0.2
農学	集計 pt	111	126	18	26	57	22	18	23	—
	集計 pt 率(%)	27.7	31.4	4.5	6.5	14.2	5.5	4.5	5.7	—
	人数 (人)	42	48	10	13	26	12	12	10	1
	率 (%)	46.7	53.3	11.1	14.4	28.9	13.3	13.3	11.1	1.1
医・歯学	集計 pt	46	103	5	24	63	25	7	23	—
	集計 pt 率(%)	15.5	34.8	1.7	8.1	21.3	8.4	2.4	7.8	—
	人数 (人)	18	40	4	12	27	14	5	9	1
	率 (%)	27.3	60.6	6.1	18.2	40.9	21.2	7.6	13.6	1.5
薬学	集計 pt	27	31	1	0	14	1	1	0	—
	集計 pt 率(%)	36.0	41.3	1.3	0.0	18.7	1.3	1.3	0.0	—
	人数 (人)	11	11	1	0	5	1	1	0	0
	率 (%)	57.9	57.9	5.3	0.0	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0
家政	集計 pt	101	201	32	15	34	14	9	8	—
	集計 pt 率(%)	24.4	48.6	7.7	3.6	8.2	3.4	2.2	1.9	—
	人数 (人)	38	71	18	10	21	6	6	4	2
	率 (%)	39.2	73.2	18.6	10.3	21.6	6.2	6.2	4.1	2.1
教育	集計 pt	163	195	9	18	91	13	9	18	—
	集計 pt 率(%)	31.6	37.8	1.7	3.5	17.6	2.5	1.7	3.5	—
	人数 (人)	58	75	4	9	39	8	9	7	0
	率 (%)	46.8	60.5	3.2	7.3	31.5	6.5	7.3	5.6	0.0
日本語	集計 pt	4,511	2,778	266	149	409	87	85	145	—
	集計 pt 率(%)	53.5	33.0	3.2	1.8	4.9	1.0	1.0	1.7	—
	人数 (人)	1,634	1,066	187	82	217	59	64	65	35
	率 (%)	78.4	51.2	9.0	3.9	10.4	2.8	3.1	3.1	1.7
その他	集計 pt	653	1,810	214	78	306	97	68	114	—
	集計 pt 率(%)	19.6	54.2	6.4	2.3	9.2	2.9	2.0	3.4	—
	人数 (人)	252	639	118	43	149	51	45	55	6
	率 (%)	30.8	78.2	14.4	5.3	18.2	6.2	5.5	6.7	0.7
計	集計 pt	7,981	9,978	1,013	621	2,204	633	434	638	—
	集計 pt 率(%)	34.0	42.5	4.3	2.6	9.4	2.7	1.8	2.7	—
	人数 (人)	2,940	3,682	605	323	1,052	353	297	299	57
	率 (%)	51.5	64.6	10.6	5.7	18.4	6.2	5.2	5.2	1.0

(注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合
2. 率は、第 1-5 表の専攻分野別の回答者数を 100 とした割合

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種(第13-4表)としては、「海外業務」が1,242人(33.7%)で最も多く、次いで「翻訳・通訳」が1,193人(32.4%)、「貿易業務」909人(24.7%)となっている。

第13-4表 「日本において就職希望」回答者の就職希望職種 (複数回答設問) (Q44(1)参照)

区分	翻訳 通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他	不明
集計 pt	3,102	2,883	1,907	917	1,030	1,668	1,667	1,651	787	974	813	—
集計 pt 率 (%)	17.8	16.6	11.0	5.3	5.9	9.6	9.6	9.5	4.5	5.6	4.7	—
人数 (人)	1,193	1,242	909	400	499	813	903	683	423	454	328	156
率 (%)	32.4	33.7	24.7	10.9	13.6	22.1	24.5	18.5	11.5	12.3	8.9	4.2
平成27年率 (%)	33.8	37.2	30.4	9.4	13.9	22.5	24.5	18.8	9.4	11.4	8.6	1.3
平成25年率 (%)	28.2	38.5	32.8	8.6	11.4	20.3	23.9	15.2	8.9	10.9	7.8	3.1

(注) 1. 回答者数は、第13-1表の「日本において就職希望」の数(3,682人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を100としたときの割合

学年別日本語能力取得状況(第13-5表と第13-6表)を比較すると、「日本において就職希望」回答者、「日本において就職希望」回答者以外とも、「N1」が一番多く、それぞれ1,126人(31.3%)、617人(32.0%)となっている。

第13-5表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得状況 (全体) (Q13・14・42参照)

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1年生	人数(人)	6	9	10	12	7	5	271	308	145	29	40	207
	率(%)	0.6	0.9	1.0	1.1	0.7	0.5	25.8	29.4	13.8	2.8	3.8	19.7
2年生	人数(人)	6	10	15	11	7	6	316	461	223	32	36	169
	率(%)	0.5	0.8	1.2	0.9	0.5	0.5	24.5	35.7	17.3	2.5	2.8	13.1
3年生	人数(人)	2	4	7	1	5	3	160	126	19	6	4	52
	率(%)	0.5	1.0	1.8	0.3	1.3	0.8	41.1	32.4	4.9	1.5	1.0	13.4
4年生	人数(人)	0	8	5	3	1	0	130	57	13	2	0	24
	率(%)	0.0	3.3	2.1	1.2	0.4	0.0	53.5	23.5	5.3	0.8	0.0	9.9
5年生	人数(人)	2	2	0	0	1	0	4	1	0	1	0	2
	率(%)	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4
6年生	人数(人)	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	率(%)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
修士1年生	人数(人)	0	0	3	1	1	0	78	39	10	2	4	30
	率(%)	0.0	0.0	1.8	0.6	0.6	0.0	46.4	23.2	6.0	1.2	2.4	17.9
修士2年生	人数(人)	0	5	1	0	2	0	92	35	9	2	1	25
	率(%)	0.0	2.9	0.6	0.0	1.2	0.0	53.5	20.3	5.2	1.2	0.6	14.5
博士1年生	人数(人)	2	0	0	0	0	0	17	1	3	1	1	32
	率(%)	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.8	1.8	5.3	1.8	1.8	56.1
博士2年生	人数(人)	0	0	0	0	0	0	11	5	3	0	0	12
	率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5	16.1	9.7	0.0	0.0	38.7
博士3年生	人数(人)	0	0	0	0	0	0	14	8	4	2	1	8
	率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.8	21.6	10.8	5.4	2.7	21.6
研究生・ 聴講生等	人数(人)	0	0	0	0	0	0	4	7	4	0	0	4
	率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	36.8	21.1	0.0	0.0	21.1
その他	人数(人)	2	2	1	1	0	0	29	40	20	4	2	24
	率(%)	1.6	1.6	0.8	0.8	0.0	0.0	23.2	32.0	16.0	3.2	1.6	19.2
計	人数(人)	20	40	42	30	24	14	1,126	1,089	454	81	89	589
	率(%)	0.6	1.1	1.2	0.8	0.7	0.4	31.3	30.3	12.6	2.3	2.5	16.4

(注) 回答者数は、第13-1表で日本において就職希望と回答した人数のうち有効回答した人数

第 13-6 表 「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数 (人)	3	5	8	2	2	3	144	123	44	21	30	107
	率 (%)	0.6	1.0	1.6	0.4	0.4	0.6	29.3	25.0	8.9	4.3	6.1	21.7
2 年生	人数 (人)	2	4	3	2	2	3	187	274	136	18	27	107
	率 (%)	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4	24.4	35.8	17.8	2.4	3.5	14.0
3 年生	人数 (人)	1	0	3	0	2	1	61	37	9	3	2	33
	率 (%)	0.7	0.0	2.0	0.0	1.3	0.7	40.1	24.3	5.9	2.0	1.3	21.7
4 年生	人数 (人)	0	0	2	0	1	0	82	22	3	0	1	15
	率 (%)	0.0	0.0	1.6	0.0	0.8	0.0	65.1	17.5	2.4	0.0	0.8	11.9
5 年生	人数 (人)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	率 (%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
修士 1 年生	人数 (人)	1	1	0	1	0	0	31	5	2	3	0	17
	率 (%)	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	50.8	8.2	3.3	4.9	0.0	27.9
修士 2 年生	人数 (人)	1	1	0	0	1	0	43	11	3	1	1	30
	率 (%)	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	46.7	12.0	3.3	1.1	1.1	32.6
博士 1 年生	人数 (人)	0	0	0	0	1	0	8	3	0	0	0	19
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	25.8	9.7	0.0	0.0	0.0	61.3
博士 2 年生	人数 (人)	1	1	0	0	0	0	8	2	1	4	0	25
	率 (%)	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	4.8	2.4	9.5	0.0	59.5
博士 3 年生	人数 (人)	0	1	0	0	0	0	8	4	3	0	0	9
	率 (%)	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	16.0	12.0	0.0	0.0	36.0
研究生・ 聴講生等	人数 (人)	0	0	0	1	0	0	4	7	0	0	0	3
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	46.7	0.0	0.0	0.0	20.0
その他	人数 (人)	0	1	2	2	0	2	41	39	10	3	3	20
	率 (%)	0.0	0.8	1.6	1.6	0.0	1.6	33.3	31.7	8.1	2.4	2.4	16.3
計	人数 (人)	9	14	19	8	9	9	617	528	212	53	64	386
	率 (%)	0.5	0.7	1.0	0.4	0.5	0.5	32.0	27.4	11.0	2.7	3.3	20.0

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数以外のうち有効回答した人数

学年別日本語能力取得予定（第 13-7 表と第 13-8 表）を比較すると、学年別日本語能力取得状況と同様、「日本において就職希望」回答者、「日本において就職希望」回答者以外とも、「N1」が一番多く、それぞれ 1,588 人（44.2%）、719 人（37.4%）となっている。

第 13-7 表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数（人）	73	31	13	6	0	0	480	194	31	4	3	217
	率（％）	6.9	2.9	1.2	0.6	0.0	0.0	45.6	18.4	2.9	0.4	0.3	20.6
2 年生	人数（人）	69	41	17	5	1	1	646	213	20	2	4	268
	率（％）	5.4	3.2	1.3	0.4	0.1	0.1	50.2	16.6	1.6	0.2	0.3	20.8
3 年生	人数（人）	37	20	5	0	1	3	169	35	3	0	0	111
	率（％）	9.6	5.2	1.3	0.0	0.3	0.8	44.0	9.1	0.8	0.0	0.0	28.9
4 年生	人数（人）	28	9	2	0	0	0	77	10	3	1	0	112
	率（％）	11.6	3.7	0.8	0.0	0.0	0.0	31.8	4.1	1.2	0.4	0.0	46.3
5 年生	人数（人）	3	0	0	1	0	0	4	3	0	0	0	2
	率（％）	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4
6 年生	人数（人）	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	率（％）	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
修士 1 年生	人数（人）	18	5	2	0	0	1	57	15	8	2	0	60
	率（％）	10.7	3.0	1.2	0.0	0.0	0.6	33.9	8.9	4.8	1.2	0.0	35.7
修士 2 年生	人数（人）	10	5	3	1	0	1	49	10	6	1	2	85
	率（％）	5.8	2.9	1.7	0.6	0.0	0.6	28.3	5.8	3.5	0.6	1.2	49.1
博士 1 年生	人数（人）	3	1	2	0	1	1	18	3	4	1	1	22
	率（％）	5.3	1.8	3.5	0.0	1.8	1.8	31.6	5.3	7.0	1.8	1.8	38.6
博士 2 年生	人数（人）	4	2	0	1	0	0	6	2	4	0	1	10
	率（％）	13.3	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	20.0	6.7	13.3	0.0	3.3	33.3
博士 3 年生	人数（人）	2	0	0	0	0	0	10	8	2	0	1	14
	率（％）	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	21.6	5.4	0.0	2.7	37.8
研究生・ 聴講生等	人数（人）	0	1	0	0	0	0	7	5	0	0	0	6
	率（％）	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8	26.3	0.0	0.0	0.0	31.6
その他	人数（人）	2	3	1	0	0	0	64	18	7	0	0	29
	率（％）	1.6	2.4	0.8	0.0	0.0	0.0	51.6	14.5	5.6	0.0	0.0	23.4
計	人数（人）	249	119	45	14	3	7	1,588	517	88	11	12	936
	率（％）	6.9	3.3	1.3	0.4	0.1	0.2	44.2	14.4	2.5	0.3	0.3	26.1

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数のうち有効回答した人数

第 13-8 表 「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数 (人)	38	14	5	7	1	0	182	89	18	8	2	127
	率 (%)	7.7	2.9	1.0	1.4	0.2	0.0	37.1	18.1	3.7	1.6	0.4	25.9
2 年生	人数 (人)	24	13	6	3	0	0	353	130	25	3	3	202
	率 (%)	3.1	1.7	0.8	0.4	0.0	0.0	46.3	17.1	3.3	0.4	0.4	26.5
3 年生	人数 (人)	8	6	0	1	0	0	60	10	2	1	1	63
	率 (%)	5.3	3.9	0.0	0.7	0.0	0.0	39.5	6.6	1.3	0.7	0.7	41.4
4 年生	人数 (人)	14	5	1	0	0	0	28	3	2	0	0	73
	率 (%)	11.1	4.0	0.8	0.0	0.0	0.0	22.2	2.4	1.6	0.0	0.0	57.9
5 年生	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
修士 1 年生	人数 (人)	3	1	1	0	1	0	12	7	4	1	1	30
	率 (%)	4.9	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	19.7	11.5	6.6	1.6	1.6	49.2
修士 2 年生	人数 (人)	3	4	2	0	0	1	15	10	6	0	1	50
	率 (%)	3.3	4.3	2.2	0.0	0.0	1.1	16.3	10.9	6.5	0.0	1.1	54.3
博士 1 年生	人数 (人)	3	0	0	0	0	0	6	2	2	1	2	15
	率 (%)	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4	6.5	6.5	3.2	6.5	48.4
博士 2 年生	人数 (人)	2	1	0	0	0	0	3	6	4	1	1	24
	率 (%)	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	9.5	2.4	2.4	57.1
博士 3 年生	人数 (人)	3	2	0	0	0	0	5	2	1	1	0	11
	率 (%)	12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	8.0	4.0	4.0	0.0	44.0
研究生・ 聴講生等	人数 (人)	0	1	1	0	0	0	8	0	0	0	0	4
	率 (%)	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
その他	人数 (人)	7	4	0	0	2	0	45	18	3	0	0	44
	率 (%)	5.7	3.3	0.0	0.0	1.6	0.0	36.6	14.6	2.4	0.0	0.0	35.8
計	人数 (人)	105	51	16	11	4	1	719	279	67	16	11	643
	率 (%)	5.5	2.7	0.8	0.6	0.2	0.1	37.4	14.5	3.5	0.8	0.6	33.4

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数以外のうち有効回答した人数

在籍段階別日本での就職希望職種（第 13-10 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」は、「調査研究」が最も多く、次いで「教育」、「技術開発」と専門知識を活かせると思われる分野をあげている。「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職員大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」では、「海外業務」が最も多く、「準備教育課程」では、「経営・管理業務」が最も多く、他の在籍段階では、「翻訳・通訳」が最も多い回答となっている。

第 13-9 表 在籍段階別の「日本において就職希望」回答者（Q12・42 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	189	416	40	31	1,067	37	33	906	38	769	156	3,682
率 (%)	5.1	11.3	1.1	0.8	29.0	1.0	0.9	24.6	1.0	20.9	4.2	100.0

第 13-10 表 在籍段階別日本での就職希望職種 (複数回答設問)

(Q12・44(1) 参照)

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他	不明
大学院博士 課程 ・博士後課程	集計 pt	71	94	31	271	208	4	22	131	16	24	19	—
	集計pt率(%)	8.0	10.5	3.5	30.4	23.3	0.4	2.5	14.7	1.8	2.7	2.1	—
	人数 (人)	34	40	18	104	88	2	13	64	12	16	9	7
	率 (%)	18.0	21.2	9.5	55.0	46.6	1.1	6.9	33.9	6.3	8.5	4.8	3.7
大学院修士 課程 ・博士前期課程	集計 pt	211	410	202	225	162	109	212	266	103	101	68	—
	集計pt率(%)	10.2	19.8	9.8	10.9	7.8	5.3	10.2	12.9	5.0	4.9	3.3	—
	人数 (人)	90	178	97	96	78	52	113	104	59	50	27	12
	率 (%)	21.6	42.8	23.3	23.1	18.8	12.5	27.2	25.0	14.2	12.0	6.5	2.9
専門職大学院 課程	集計 pt	30	48	24	7	5	17	20	15	7	2	9	—
	集計pt率(%)	16.3	26.1	13.0	3.8	2.7	9.2	10.9	8.2	3.8	1.1	4.9	—
	人数 (人)	12	19	11	4	3	10	10	6	3	1	3	2
	率 (%)	30.0	47.5	27.5	10.0	7.5	25.0	25.0	15.0	7.5	2.5	7.5	5.0
大学院レベル の 研究生	集計 pt	36	47	15	8	8	8	11	13	7	4	1	—
	集計pt率(%)	22.8	29.7	9.5	5.1	5.1	5.1	7.0	8.2	4.4	2.5	0.6	—
	人数 (人)	14	21	7	3	5	5	8	5	5	2	1	2
	率 (%)	45.2	67.7	22.6	9.7	16.1	16.1	25.8	16.1	16.1	6.5	3.2	6.5
学部正規課程	集計 pt	866	1,156	727	166	203	470	619	427	216	250	204	—
	集計pt率(%)	16.3	21.8	13.7	3.1	3.8	8.9	11.7	8.1	4.1	4.7	3.8	—
	人数 (人)	355	493	344	80	108	243	329	173	117	120	83	40
	率 (%)	33.3	46.2	32.2	7.5	10.1	22.8	30.8	16.2	11.0	11.2	7.8	3.7
学部レベルの 研究生・聴講生	集計 pt	43	43	32	3	7	21	16	9	7	3	4	—
	集計pt率(%)	22.9	22.9	17.0	1.6	3.7	11.2	8.5	4.8	3.7	1.6	2.1	—
	人数 (人)	16	19	15	1	5	10	9	4	3	1	2	0
	率 (%)	43.2	51.4	40.5	2.7	13.5	27.0	24.3	10.8	8.1	2.7	5.4	0.0
短期大学	集計 pt	50	16	16	0	5	20	6	16	4	3	11	—
	集計pt率(%)	34.0	10.9	10.9	0.0	3.4	13.6	4.1	10.9	2.7	2.0	7.5	—
	人数 (人)	18	8	10	0	3	9	3	6	3	1	4	1
	率 (%)	54.5	24.2	30.3	0.0	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1	3.0	12.1	3.0
専修学校 (専門課程)	集計 pt	954	461	388	97	151	605	331	395	243	324	226	—
	集計pt率(%)	22.9	11.0	9.3	2.3	3.6	14.5	7.9	9.5	5.8	7.8	5.4	—
	人数 (人)	346	207	182	47	81	276	187	160	119	146	91	23
	率 (%)	38.2	22.8	20.1	5.2	8.9	30.5	20.6	17.7	13.1	16.1	10.0	2.5
準備教育課程	集計 pt	22	31	18	5	5	19	26	18	18	15	8	—
	集計pt率(%)	11.9	16.8	9.7	2.7	2.7	10.3	14.1	9.7	9.7	8.1	4.3	—
	人数 (人)	11	12	9	2	2	8	13	7	10	6	4	2
	率 (%)	28.9	31.6	23.7	5.3	5.3	21.1	34.2	18.4	26.3	15.8	10.5	5.3
日本語教育機関	集計 pt	656	451	388	123	235	315	347	328	144	208	214	—
	集計pt率(%)	19.2	13.2	11.4	3.6	6.9	9.2	10.2	9.6	4.2	6.1	6.3	—
	人数 (人)	238	191	181	56	104	157	189	140	81	93	86	54
	率 (%)	30.9	24.8	23.5	7.3	13.5	20.4	24.6	18.2	10.5	12.1	11.2	7.0
その他	集計 pt	163	126	66	12	41	80	57	33	22	40	49	—
	集計pt率(%)	23.7	18.3	9.6	1.7	6.0	11.6	8.3	4.8	3.2	5.8	7.1	—
	人数 (人)	59	54	35	7	22	41	29	14	11	18	18	13
	率 (%)	37.8	34.6	22.4	4.5	14.1	26.3	18.6	9.0	7.1	11.5	11.5	8.3
計	集計 pt	3,102	2,883	1,907	917	1,030	1,668	1,667	1,651	787	974	813	—
	集計pt率(%)	17.8	16.6	11.0	5.3	5.9	9.6	9.6	9.5	4.5	5.6	4.7	—
	人数 (人)	1,193	1,242	909	400	499	813	903	683	423	454	328	156
	率 (%)	32.4	33.7	24.7	10.9	13.6	22.1	24.5	18.5	11.5	12.3	8.9	4.2

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,682 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、第 13-9 表の在学段階別の回答者数を 100 とした割合

第 13-11 表 専攻区分別における「日本において就職希望」回答者の構成比率及び割合 (Q16・42 参照)

区分	人文 科学	社会 科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
希望者数 (人)	286	904	94	448	48	40	11	71	75	1,066	639	3,682
構成比率 (%)	7.8	24.6	2.6	12.2	1.3	1.1	0.3	1.9	2.0	29.0	17.4	100.0
総数 (人)	411	1,226	158	613	90	66	19	97	124	2,083	817	5,704
希望者割合 (%)	69.6	73.7	59.5	73.1	53.3	60.6	57.9	73.2	60.5	51.2	78.2	64.6

- (注) 1. 「構成比率」は「日本において就職希望」の回答者数 (3,682 人) を 100 としたときの割合
2. 「希望者割合」は専攻区分別の回答者数 (第 1-5 表) の中で「日本において就職希望」を回答した人数の割合

専攻分野別就職希望職種 (第 13-12 表) を見ると、「理学」及び「工学」では「技術開発」が最も多い。
また、「農学」及び「医・歯学」では「調査研究」が最も多く、「人文科学」及び「社会科学」では「海外業務」、「薬学」では「販売業務」、「家政」では「設計」、「教育」及び「日本語」では「翻訳・通訳」が最も多い。

第 13-12 表 専攻分野別就職希望職種 (複数回答設問)

(Q16・44(1) 参照)

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他	不明
人文科学	集計 pt	335	301	207	73	138	112	107	22	37	29	59	—
	集計 pt 率 (%)	23.6	21.2	14.6	5.1	9.7	7.9	7.5	1.5	2.6	2.0	4.2	—
	人数 (人)	135	137	97	31	62	58	57	10	21	16	25	7
	率 (%)	47.2	47.9	33.9	10.8	21.7	20.3	19.9	3.5	7.3	5.6	8.7	2.4
社会科学	集計 pt	751	1,060	756	196	185	547	705	90	128	48	90	—
	集計 pt 率 (%)	16.5	23.3	16.6	4.3	4.1	12.0	15.5	2.0	2.8	1.1	2.0	—
	人数 (人)	299	441	356	89	90	270	375	44	80	32	36	31
	率 (%)	33.1	48.8	39.4	9.8	10.0	29.9	41.5	4.9	8.8	3.5	4.0	3.4
理学	集計 pt	30	42	13	115	38	30	22	108	30	19	7	—
	集計 pt 率 (%)	6.6	9.3	2.9	25.3	8.4	6.6	4.8	23.8	6.6	4.2	1.5	—
	人数 (人)	12	19	6	44	19	14	11	49	17	11	3	3
	率 (%)	12.8	20.2	6.4	46.8	20.2	14.9	11.7	52.1	18.1	11.7	3.2	3.2
工学	集計 pt	112	196	41	202	93	61	67	774	257	249	39	—
	集計 pt 率 (%)	5.4	9.4	2.0	9.7	4.4	2.9	3.2	37.0	12.3	11.9	1.9	—
	人数 (人)	48	87	21	88	45	30	38	300	122	123	18	13
	率 (%)	10.7	19.4	4.7	19.6	10.0	6.7	8.5	67.0	27.2	27.5	4.0	2.9
農学	集計 pt	23	38	24	44	23	18	14	24	6	7	6	—
	集計 pt 率 (%)	10.1	16.7	10.6	19.4	10.1	7.9	6.2	10.6	2.6	3.1	2.6	—
	人数 (人)	10	16	10	17	11	9	9	13	4	3	2	3
	率 (%)	20.8	33.3	20.8	35.4	22.9	18.8	18.8	27.1	8.3	6.3	4.2	6.3
医・歯学	集計 pt	23	11	5	33	20	1	6	18	0	4	34	—
	集計 pt 率 (%)	14.8	7.1	3.2	21.3	12.9	0.6	3.9	11.6	0.0	2.6	21.9	—
	人数 (人)	9	6	2	13	9	1	3	7	0	3	12	3
	率 (%)	22.5	15.0	5.0	32.5	22.5	2.5	7.5	17.5	0.0	7.5	30.0	7.5
薬学	集計 pt	2	0	0	11	0	14	7	7	1	2	7	—
	集計 pt 率 (%)	3.9	0.0	0.0	21.6	0.0	27.5	13.7	13.7	2.0	3.9	13.7	—
	人数 (人)	1	0	0	4	0	6	3	3	1	1	3	0
	率 (%)	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	54.5	27.3	27.3	9.1	9.1	27.3	0.0
家政	集計 pt	52	55	13	4	8	72	20	6	2	92	12	—
	集計 pt 率 (%)	15.5	16.4	3.9	1.2	2.4	21.4	6.0	1.8	0.6	27.4	3.6	—
	人数 (人)	20	24	7	3	5	31	14	2	2	39	5	3
	率 (%)	28.2	33.8	9.9	4.2	7.0	43.7	19.7	2.8	2.8	54.9	7.0	4.2
教育	集計 pt	101	65	21	17	85	33	12	11	8	2	11	—
	集計 pt 率 (%)	27.6	17.8	5.7	4.6	23.2	9.0	3.3	3.0	2.2	0.5	3.0	—
	人数 (人)	40	28	13	9	37	15	7	5	6	2	4	3
	率 (%)	53.3	37.3	17.3	12.0	49.3	20.0	9.3	6.7	8.0	2.7	5.3	4.0
日本語	集計 pt	1,067	661	530	145	322	448	464	402	188	275	277	—
	集計 pt 率 (%)	22.3	13.8	11.1	3.0	6.7	9.4	9.7	8.4	3.9	5.8	5.8	—
	人数 (人)	388	282	251	67	152	222	254	172	107	125	114	74
	率 (%)	36.4	26.5	23.5	6.3	14.3	20.8	23.8	16.1	10.0	11.7	10.7	6.9
その他	集計 pt	606	454	297	77	118	332	243	189	130	247	271	—
	集計 pt 率 (%)	20.4	15.3	10.0	2.6	4.0	11.2	8.2	6.4	4.4	8.3	9.1	—
	人数 (人)	231	202	146	35	69	157	132	78	63	99	106	16
	率 (%)	36.2	31.6	22.8	5.5	10.8	24.6	20.7	12.2	9.9	15.5	16.6	2.5
計	集計 pt	3,102	2,883	1,907	917	1,030	1,668	1,667	1,651	787	974	813	—
	集計 pt 率 (%)	17.8	16.6	11.0	5.3	5.9	9.6	9.6	9.5	4.5	5.6	4.7	—
	人数 (人)	1,193	1,242	909	400	499	813	903	683	423	454	328	156
	率 (%)	32.4	33.7	24.7	10.9	13.6	22.1	24.5	18.5	11.5	12.3	8.9	4.2

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,682 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、第 13-11 表の専攻分野別の回答者数を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職後の将来（第 13-13 表）としては、「大学院博士課程・博士後期課程」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」においては「日本で永久に働きたい」が最も多く、それ以外の在籍段階においては、「日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい」が最も多くなっている。

第 13-13 表 在籍段階別日本での就職後の将来

(Q12・44(2)参照)

区分		日本で永久に働きたい	日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい	日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	62	54	10	55	8
	率（％）	32.8	28.6	5.3	29.1	4.2
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	113	150	26	111	16
	率（％）	27.2	36.1	6.3	26.7	3.8
専門職大学院課程	人数（人）	12	15	5	4	4
	率（％）	30.0	37.5	12.5	10.0	10.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	10	15	1	3	2
	率（％）	32.3	48.4	3.2	9.7	6.5
学部正規課程	人数（人）	307	380	107	226	47
	率（％）	28.8	35.6	10.0	21.2	4.4
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	9	19	1	8	0
	率（％）	24.3	51.4	2.7	21.6	0.0
短期大学	人数（人）	10	11	1	8	3
	率（％）	30.3	33.3	3.0	24.2	9.1
専修学校（専門課程）	人数（人）	405	289	53	126	33
	率（％）	44.7	31.9	5.8	13.9	3.6
準備教育課程	人数（人）	15	14	0	6	3
	率（％）	39.5	36.8	0.0	15.8	7.9
日本語教育機関	人数（人）	245	304	55	114	51
	率（％）	31.9	39.5	7.2	14.8	6.6
その他	人数（人）	46	60	11	17	22
	率（％）	29.5	38.5	7.1	10.9	14.1
合計	人数（人）	1,234	1,311	270	678	189
	率（％）	33.5	35.6	7.3	18.4	5.1
	平成 27 年率(%)	31.6	37.8	9.5	17.8	3.3
	平成 25 年率(%)	24.7	35.5	10.0	26.0	3.7

(注) 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,682 人)

就職活動時の要望（第 13-14 表）としては、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」と回答した者が 1,905 人 (51.7%) で一番多くなっている。

第 13-14 表 就職活動時の要望 (複数回答設問)

(Q44(3) 参照)

区分		在留資格 の変更手 続きの簡 素化、手続 き期間の 短縮化	在留資格 の変更が 弾力的に 認められ るよう規 制緩和	留学生を 対象とし た就職に 関する情 報の充実	学校におけ る留学生を 対象とした 就職説明会 の充実	学校の留学 生に対する 就職相談窓 口の充実	企業におい てもっと留 学生を対象 とした就職 説明会を開 催してほしい	留学生を対 象としたイ ンターニン グの充実	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	3,926	2,171	3,454	1,566	960	1,782	1,398	89	—
	集計 pt 率 (%)	25.6	14.1	22.5	10.2	6.3	11.6	9.1	0.6	—
	人数 (人)	1,469	984	1,521	770	550	1,068	905	40	98
	率 (%)	50.7	33.9	52.5	26.6	19.0	36.8	31.2	1.4	3.4
日本語教育機関	集計 pt	1,230	604	816	296	255	367	222	36	—
	集計 pt 率 (%)	32.1	15.8	21.3	7.7	6.7	9.6	5.8	0.9	—
	人数 (人)	436	271	379	151	150	242	160	16	65
	率 (%)	55.7	34.6	48.4	19.3	19.2	30.9	20.4	2.0	8.3
合計	集計 pt	5,156	2,775	4,270	1,862	1,215	2,149	1,620	125	—
	集計 pt 率 (%)	26.9	14.5	22.3	9.7	6.3	11.2	8.4	0.7	—
	人数 (人)	1,905	1,255	1,900	921	700	1,310	1,065	56	163
	率 (%)	51.7	34.1	51.6	25.0	19.0	35.6	28.9	1.5	4.4
	平成 27 年率 (%)	50.3	36.1	53.2	26.0	20.7	36.4	28.5	1.9	2.5
	平成 25 年率 (%)	52.6	31.9	51.2	23.2	17.8	37.8	28.1	1.4	3.4

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,682 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

就職にあたっての不安 (第 13-15 表) としては、「職場で良い人間関係を作れるかどうか」が 1,797 人 (48.8%) で一番多く、「自分の日本語が通じるかどうか」が 1,785 人 (48.5%)、「希望する仕事につけるかどうか」が 1,294 人 (35.1%) と続く。

第 13-15 表 就職にあたっての不安 (複数回答設問)

(Q44(4) 参照)

区分		職場で良い人間関係を作れるかどうか	自分の日本語が通じるかどうか	希望する仕事につけるかどうか	日本の商慣習になじめるかどうか	顧客対応が問題なくできるかどうか	ビジネスマナーで失敗しないかどうか	どのような人事評価制度なのか	勤務地がどこになるか	適切に仕事を進められるかどうか
高等教育機関	集計 pt	3,773	3,416	2,302	916	646	911	349	374	509
	集計 pt 率 (%)	23.6	21.3	14.4	5.7	4.0	5.7	2.2	2.3	3.2
	人数 (人)	1,426	1,375	1,050	481	362	519	214	230	324
	率 (%)	49.2	47.4	36.2	16.6	12.5	17.9	7.4	7.9	11.2
日本語教育機関	集計 pt	1,026	1,021	509	214	152	215	53	88	89
	集計 pt 率 (%)	25.4	25.3	12.6	5.3	3.8	5.3	1.3	2.2	2.2
	人数 (人)	371	410	244	119	91	122	38	46	59
	率 (%)	47.4	52.4	31.2	15.2	11.6	15.6	4.9	5.9	7.5
合計	集計 pt	4,799	4,437	2,811	1,130	798	1,126	402	462	598
	集計 pt 率 (%)	23.9	22.1	14.0	5.6	4.0	5.6	2.0	2.3	3.0
	人数 (人)	1,797	1,785	1,294	600	453	641	252	276	383
	率 (%)	48.8	48.5	35.1	16.3	12.3	17.4	6.8	7.5	10.4
	平成 27 年率 (%)	50.4	49.0	34.2	18.0	13.3	15.7	7.2	7.5	12.5
	平成 25 年率 (%)	45.2	46.0	32.1	17.4	15.9	14.0	7.5	6.9	12.4

区分		労働時間が長くないかどうか	給与・待遇が悪くないかどうか	自分の専門知識が役立つかどうか	キャリアパスがどうなるか	生活習慣の違いになじめるかどうか	不安はない	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	685	944	738	190	112	109	41	—
	集計 pt 率 (%)	4.3	5.9	4.6	1.2	0.7	0.7	0.3	—
	人数 (人)	397	638	497	128	75	47	17	83
	率 (%)	13.7	22.0	17.1	4.4	2.6	1.6	0.6	2.9
日本語教育機関	集計 pt	153	241	155	62	28	21	16	—
	集計 pt 率 (%)	3.8	6.0	3.8	1.5	0.7	0.5	0.4	—
	人数 (人)	88	168	111	43	24	7	6	55
	率 (%)	11.2	21.5	14.2	5.5	3.1	0.9	0.8	7.0
合計	集計 pt	838	1,185	893	252	140	130	57	—
	集計 pt 率 (%)	4.2	5.9	4.5	1.3	0.7	0.6	0.3	—
	人数 (人)	485	806	608	171	99	54	23	138
	率 (%)	13.2	21.9	16.5	4.6	2.7	1.5	0.6	3.7
	平成 27 年率 (%)	10.8	21.3	19.1	4.6	2.4	1.6	0.7	2.1
	平成 25 年率 (%)	8.8	17.6	18.0	4.8	3.7	2.4	1.0	2.9

(注) 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,682 人)

就職期間（第 13-16 表）としては、「10 年以上」が 1,207 人（32.8%）で一番多くなっている。

第 13-16 表 就職期間

（Q44(5) 参照）

区分		1 年未満	1 年～3 年 未満	3 年～5 年 未満	5 年～10 年 未満	10 年以上	不明	計
高等教育機関	人数（人）	38	381	688	694	993	105	2,899
	率（%）	1.3	13.1	23.7	23.9	34.3	3.6	100.0
	平成 27 年率（%）	1.5	13.7	25.1	24.0	33.5	2.2	100.0
	平成 25 年率（%）	0.9	14.7	28.1	24.2	28.8	3.2	100
日本語教育機関	人数（人）	26	126	204	159	214	54	783
	率（%）	3.3	16.1	26.1	20.3	27.3	6.9	100.0
	平成 27 年率（%）	1.7	18.3	24.6	22.9	27.2	5.4	100.0
	平成 25 年率（%）	1.5	19.8	23.7	21.1	26.3	7.5	100.0
合計	人数（人）	64	507	892	853	1,207	159	3,682
	率（%）	1.7	13.8	24.2	23.2	32.8	4.3	100.0
	平成 27 年率（%）	1.5	14.7	25.0	23.7	32.2	2.8	100.0
	平成 25 年率（%）	1.0	15.3	27.6	23.9	28.5	3.7	100.0

（注） 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数（3,682 人）で、在学段階別を「その他」の区分で回答した人数は、在籍校に基づき高等教育機関と日本語教育機関に振り分けて集計

インターンシップ参加の有無（第 13-17 表）としては、「参加したい」が 2,745 人（74.6%）で一番多くなっている。

第 13-17 表 インターンシップ参加の有無

（Q44(6) 参照）

区分		参加したい	既に参加した、 または現在参加 している	不参加	不明	計
高等教育機関	人数（人）	2,154	346	318	81	2,899
	率（%）	74.3	11.9	11.0	2.8	100.0
	平成 27 年率（%）	75.5	11.3	11.4	1.9	100.0
	平成 25 年率（%）	78.5	9.0	10.6	1.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	591	32	98	62	783
	率（%）	75.5	4.1	12.5	7.9	100.0
	平成 27 年率（%）	79.8	4.6	10.9	4.7	100.0
	平成 25 年率（%）	78.9	2.4	13.6	5.2	100.0
合計	人数（人）	2,745	378	416	143	3,682
	率（%）	74.6	10.3	11.3	3.9	100.0
	平成 27 年率（%）	76.3	9.9	11.3	2.4	100.0
	平成 25 年率（%）	78.5	8.2	11.0	2.3	100.0

（注） 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数（3,682 人）で、在学段階別を「その他」の区分で回答した人数は、在籍校に基づき高等教育機関と日本語教育機関に振り分けて集計

インターンシップ参加有無理由（第 13-18 表）としては、「就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから」が 1,315 人（42.1%）で一番多く、次いで「就職が有利になりそうだから」が 1,173 人（37.6%）となっている。

第 13-18 表 インターンシップ参加理由

（Q44(7) 参照）

区分		就職が有利になりそうだから	日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから	就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから	不明	計
高等教育機関	人数（人）	938	397	1,128	37	2,500
	率（%）	37.5	15.9	45.1	1.5	100.0
	平成 27 年率（%）	36.5	15.8	46.0	1.8	100.0
	平成 25 年率（%）	36.2	15.6	46.0	2.1	100.0
日本語教育機関	人数（人）	235	185	187	16	623
	率（%）	37.7	29.7	30.0	2.6	100.0
	平成 27 年率（%）	37.5	24.8	34.9	2.7	100.0
	平成 25 年率（%）	37.7	22.8	38.2	1.3	100.0
合計	人数（人）	1,173	582	1,315	53	3,123
	率（%）	37.6	18.6	42.1	1.7	100.0
	平成 27 年率（%）	36.7	17.6	43.8	2.0	100.0
	平成 25 年率（%）	36.4	16.4	45.2	2.0	100.0

（注）回答者数は、第 13-17 表の「参加したい」「既に参加した、または現在参加している」の数（3,123 人）

参考資料

平成 2 9 年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

平成 29 年度私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

Lifestyle Survey of Privately Financed International Students

Questionnaire

独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) は、「学習奨励費」の支給、「日本留学試験」の実施、就職情報の提供など、日本に来られている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるためのものです。

アンケートには、あなたのお名前や学校名などを書く必要はありません。あなたのプライバシーは侵害されませんので、ご協力をお願いします。

Japan Student Services Organization (JASSO) is an organization which offers enhanced support programs : providing scholarships to international students, administering “Examination for Japanese University Admission for International Students” and offering employment information.

This questionnaire is for using for the assistance of various support programs for international students in Japan and prospective students.

It is not necessary to fill in your name and your school. We ask your kind cooperation.

回答方法 How to answer

それぞれの質問の、該当する番号・金額をアンケート回答用紙の ☐ の中に記入し、回答用紙を在籍する学校の留学生担当者に提出してください。 () には具体例があれば記入してください。

※ この用紙には回答しないでください。

Please answer each question and fill in the applicable number and amount in ☐ of answer paper, and submit it to your school.

If you select “Others” in the question, please fill in a suitable word.

※ Please don't use this paper to answer the question.

ーアンケートー

Questionnaire

べっし かいとうようし きにゅう
別紙の回答用紙に記入してください。

Please fill in the attached answer paper.

【あなたのことについてお聞きします。 About yourself】

Q 1. あなたの性別はどちらですか。 Please select your gender.

1. 男 Male 2. 女 Female

Q 2. あなたの出身国・地域はどこですか。(その他の人は、回答用紙に記入してください。)

Please select your home country or region. (If you select "Others", please fill in the name of your home country or region.)

- | | | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 中国 China | 2. 韓国 Korea | 3. 台湾 Taiwan | 4. ベトナム Vietnam |
| 5. ネパール Nepal | 6. マレーシア Malaysia | 7. インドネシア Indonesia | 8. タイ Thailand |
| 9. アメリカ United States | 10. ミャンマー Myanmar | 11. モンゴル Mongolia | |
| 12. バングラデシュ Bangladesh | 13. フランス France | 14. スリランカ Sri Lanka | |
| 15. ドイツ Germany | 16. インド India | 17. フィリピン Philippines | |
| 18. イギリス Great Britain | 19. サウジアラビア Saudi Arabia | | |
| 20. オーストラリア Australia | 21. ロシア Russia | 22. カンボジア Cambodia | |
| 23. カナダ Canada | 24. ブラジル Brazil | 25. スウェーデン Sweden | |
| 26. ラオス Laos | 27. イラン Iran | 28. エジプト Egypt | |
| 29. シンガポール Singapore | 30. ウズベキスタン Uzbekistan | 31. その他 Others | |

Q 3. 留学の目的は何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What is the purpose of your study? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 学位を取得するため To obtain an academic degree
2. 教養を身につけるため To acquire culture
3. 就職に必要な技能や知識を身につけるため To obtain skills and knowledge for future career development
4. 日本で働く、もしくは日本企業に就職するため To work in Japan or to find a Job in a Japanese company
5. 国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため To make an international network
6. 国際的な考え方を身につけるため To acquire a wide perspective

7. 良い環境で研究を行うため To research in good academic environment
8. 日本語の能力を高めるため To improve yourself in Japanese ability
9. 異文化に接するため To experience a different culture
10. その他 Others

【日本に留学する前のことについてお聞きします。 Before studying in Japan】

Q 4. 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
 Why did you decide to study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため
Interested in Japanese society and wanted to live in Japan
2. 日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため
Felt that education and research in Japanese universities were attractive
3. 地理的に近い
Geographically close to Japan
4. 興味ある専門分野があったため Offered studies in a particular field of interest
5. 異文化に接したかったため Wanted to experience a different culture
6. 日本語・日本文化を勉強したかったため Wanted to learn Japanese and Japanese culture
7. 日本と関連のある職業に就きたかったため Wanted to do work related to Japan
8. 奨学金を得られたため Received scholarship
9. 友人、知人、家族等に勧められたため Recommended by your friend, acquaintance and family etc.
10. 大学間交流等をきっかけとして Occasion of the having experienced of the university exchange
11. 他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため
As compared with other countries, Japan met your most conditions such as academic ability and expense.
12. その他 Others

Q 5. 日本に留学するにあたり、不安に感じていたことは何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
 What were your concerns before studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本の天候や食べ物、習慣に適応できるかどうか
Adaptation to Japanese climate, food and customs
2. 自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか
Possibility of studying your desired field and achievement of the learning outcomes
3. 周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか
Communication with other people
4. 適切な宿舎を確保できるかどうか Reservation of accommodation

5. 病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか Disease or natural disaster
6. 孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか Loneliness and homesickness
7. 経済的な困難に直面しないかどうか Financial problems
8. 特に不安はなかった None
9. その他 Others

Q 6. 日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
What were your problems before arriving at Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 情報の収集 Gathering information
2. 日本語学習 Learning Japanese
3. 留学先学校との事前連絡 Contact with Japanese school
4. 留学ビザ取得 Getting visa
5. 留学資金準備 Preparation of expenses
6. 入学試験 Entrance examination
7. その他 Others

Q 7. 日本に留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
How did you gather information on studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本留学フェア、教育展等に参加して Japan education fair or seminar
2. 入学を希望する学校に直接問い合わせして Contact with school you wish to enroll in
3. 在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして Japanese embassy or consulate general
4. 母国の政府教育機関に問い合わせして Government organization of your home country or region
5. 日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして Contact with JASSO
6. インターネットを利用して学校や日本学生支援機構(JASSO)のHPを検索して Internet
7. その他の民間団体に問い合わせして Private foundation
8. 日本の出版物を購入して Publication
9. 母国の学校や教員に相談して School in your home country or region
10. 親戚や友人に相談して Relative or friend
11. その他 Others

【日本に来てから現在通っている学校に入学することについてお聞きします。After arriving at Japan】

Q 8. 日本に来てから何年経ちますか。How many years have passed after arriving at Japan?

1. 1年未満 Less than 1 year
2. 1年～2年未満 1～2 years
3. 2年～3年未満 2～3 years
4. 3年～4年未満 3～4 years
5. 4年～5年未満 4～5 years
6. 5年～6年未満 5～6 years
7. 6年以上 More than 6 years

Q 9. 日本に来たあと、今在籍している学校の課程に、すぐ入学しましたか。

Did you enroll in your current school immediately after arriving at Japan?

1. はい (Q 1 1へ進んでください。) Yes (Go to Q11.) 2. いいえ No



Q 10. Q 9で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に来たあと、今在籍している学校の課程に入学する直前は何をしていましたか。

(一番最近のものを1つ回答)

If you selected “2.No” above, please answer the question.

What were you doing before enrolling in your current school?

1. 日本語教育機関で勉強していた Studying at Japanese language institution
2. 準備教育課程で勉強していた Studying at university preparatory course
3. 留学生別科で勉強していた Studying at preparatory Japanese language course
4. 専修学校(専門課程)で勉強していた Studying at professional training college
5. 高等専門学校で勉強していた Studying at college of technology
6. 短期大学で勉強していた Studying at junior college
7. 大学の学部で勉強していた Studying at undergraduate course
8. 大学院で勉強していた Studying at graduate school
9. 働いていた Working
10. その他 Others

【現在通っている学校等についてお聞きます。 Your current school】

Q 11. 在籍する学校は次のどれですか。 Please select your school type.

1. 国立 National 2. 公立 Local public 3. 私立 Private

Q 12. 在籍する学校ではどの課程で学んでいますか。 Please select your course.

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (Non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短期大学 Junior college
8. 専修学校(専門課程) Professional training college
9. 準備教育課程 University preparatory course
10. 日本語教育機関 Japanese language institution
11. その他 Others

Q 1 3. ^{げんざい}現在、^{なんねんせい}何年生ですか。Please select your grade in school.

1. ^{ねんせい}1年生 1st grade 2. ^{ねんせい}2年生 2nd grade 3. ^{ねんせい}3年生 3rd grade 4. ^{ねんせい}4年生 4th grade
 5. ^{ねんせい}5年生 5th grade 6. ^{ねんせい}6年生 6th grade 7. ^{しゅうし}修士1年生 Master 1st grade
 8. ^{しゅうし}修士2年生 Master 2nd grade 9. ^{はかせ}博士1年生 Doctor 1st grade
 10. ^{はかせ}博士2年生 Doctor 2nd grade 11. ^{はかせ}博士3年生 Doctor 3rd grade
 12. ^{けんきゅうせい}研究生・^{ちようこうせいとう}聴講生等 Research student etc. 13. ^{その他}Others

Q 1 4. ^{にほんごのうりよく}日本語能力に関する^{かん}資格を取得していますか。

Please select your qualifications for Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
 9. N3 10. N4 11. N5 12. ^{しゅとく}取得していない No qualification

Q 1 5. ^{こんご}今後、^{にほんごのうりよく}日本語能力に関する^{かん}資格を取得する予定はありますか。

Please select your plans for getting qualification related to Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
 9. N3 10. N4 11. N5 12. ^{しゅとく}取得する予定がない No plan for getting qualification

Q 1 6. ^{ざいせき}在籍する^{がっこう}学校における^{せんこうぶんや}専攻分野は何ですか。Please select your major.

1. ^{じんぶんかがく}人文科学 (文学、^{ぶんがく}歴史、^{れきし}哲学等)
 Human sciences (Literature, History, Philosophy etc.)
 2. ^{しゃかいかがく}社会科学 (法律、^{ほうりつ}政治、^{せいじ}経済、^{けいざい}社会学等)
 Social sciences (Law, Politics, Economics, Sociology etc.)
 3. ^{りがく}理学 (数学、^{すうがく}物理、^{ぶつり}化学、^{かがく}生物学等)
 Natural sciences (Mathematics, Physics, Chemistry, Biology etc.)
 4. ^{こうがく}工学 (機械工学、^{きかいこうがく}電子工学、^{でんしこうがく}応用化学等)
 Engineering (Mechanical engineering, Electrical engineering, Applied chemistry etc.)
 5. ^{のうがく}農学 (農業経済、^{のうぎようけいざい}農芸、^{のうげい}獣医畜産、^{じゅういちくさん}水産学等)
 Agriculture (Agricultural economics, Agricultural science, Animal and Veterinary science, Fisheries science etc.)
 6. ^い医・^{しがく}歯学 Medicine/dentistry
 7. ^{やくがく}薬学 Pharmacy
 8. ^{かせい}家政 (食物、^{しょくもつ}被服、^{ひふく}住居学等)
 Home economics (Food science, Clothing science, Housing science etc.)
 9. ^{きょういく}教育 Education
 10. ^{にほんご}日本語 Japanese ※^{にほんごきょういくきかんざいせきしや}日本語教育機関在籍者 Student enrolled in Japanese language institution
 11. ^{その他}Others

Q 17. 1 週間当たりの勉強時間を教えてください。(学校での授業時間を除く。)

How many hours do you study per week? (Except the classes)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 7 時間未満 Less than 7 hours | 2. 7 ~ 14 時間未満 7 ~ 14 hours |
| 3. 14 ~ 21 時間未満 14 ~ 21 hours | 4. 21 ~ 28 時間未満 21 ~ 28 hours |
| 5. 28 ~ 35 時間未満 28 ~ 35 hours | 6. 35 ~ 42 時間未満 35 ~ 42 hours |
| 7. 42 ~ 49 時間未満 42 ~ 49 hours | 8. 49 時間以上 More than 49 hours |

Q 18. 現在住んでいるところから、在籍する学校までの所要通学時間 (片道) はどのくらいですか。

How long does it take from your house to your school? (One way)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 30 分以内 Less than 30 minutes | 2. 1 時間以内 One hour |
| 3. 1 時間 30 分以内 One and a half hours | 4. 2 時間以内 2 hours |
| 5. 2 時間以上 More than 2 hours | |

Q 19. 在籍する学校の授業料等の保証人を求められましたか。

Were you required a guarantor for the payment of tuition?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 21 へ進んでください。) No (Go to Q21.)

Q 20. Q 19 で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に教えてください。

在籍する学校の授業料等の保証人は誰ですか。

If you selected "1.Yes" above, please answer the question.

Who is your guarantor for the payment of tuition?

1. 大学・学校 (代表者) School (Representative)
2. 大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. 国際交流団体 (代表者) International exchange organization (Representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. 日本人の知人 Acquaintance (Japanese)
6. 日本人以外の知人 Acquaintance (Non Japanese)
7. 親族 Relative 8. その他 Others

Q 21. 在籍する学校の良いところ、悪いところはそれぞれ何ですか。

What are good/bad points of your school?

1. 学生のサポート体制 Student support
2. 学修環境 (教室、研究室、実験室等) Learning environment (Classroom, laboratory, etc.)
3. 研究内容 Research/learning contents
4. 福利厚生 Welfare program
5. クラブ活動等の課外活動 Club activities
6. その他 Others

※「悪いところ」で「6. その他」を選択した場合は、回答用紙にその理由を記載してください。

※If you select "Others" in the bad points, please fill in a suitable word.

【日本への印象等についてお聞きします。 Your impression of Japan】

Q 2 2. 日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

Has your impression of Japanese people been changed after studying in Japan?

1. 留学前は悪かったが、留学後に良くなった It was bad before, but it got better.
2. 留学前から良かったが、留学後にさらに良くなった It was good before and got even better.
3. 留学前は良かったが、留学後に悪くなった It was good before, but it got worse.
4. 留学前から悪かったが、留学後にさらに悪くなった It was bad before and got even worse.
5. 留学前から良かったが、留学後に特に変化は無い It has been good and same as before.
6. 留学前から悪かったが、留学後に特に変化は無い It has been bad and same as before.

Q 2 3. 日本に留学して、良かったですか。

How would you describe your impression of studying in Japan?

1. 良かった Good

2. 悪かった

(Q 2 5へ進んでください。) Bad (Go to Q25.)

3. どちらともいえない

(Q 2 5へ進んでください。) Neither one (Go to Q25.)

※「2. 悪かった」、「3. どちらともいえない」を選択した場合は、回答用紙にその理由を記載してください。

※If you select “Bad” or “Neither one” in the question, please fill in a suitable word.

Q 2 4. Q 2 3で「1. 良かった」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に留学して良かったことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

If you selected “1.Good” above, please answer the question.

What did you acquire during your study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 質の高い教育を受けられたこと High quality of education
2. 日本語が習得できたこと Japanese acquisition
3. 日本人の友人ができたこと Japanese friends
4. 国際的な人脈ができたこと International network
5. 国際的な考え方、教養を身につけることができたこと Wide perspective and culture
6. その他 Others

Q 2 5. 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are your problems in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

Q 2 6. Q 2 5で克服できなかったことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are the things which you could not overcome in Q25? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

【1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。 Your monthly income and expenses】

Q27とQ29は、下の注意を読んで記入してください。

—回答の例—

Q27

(1) 仕送り	約	63,000	円
(2) アルバイト	約	29,000	円
(3) 奨学金			
A. 学習奨励費	約	48,000	円
B. 大学・学校	約		円
C. 地方自治体	約		円
D. 民間団体	約		円
E. 海外の団体	約		円
F. その他	約		円
(4) 知人の援助	約		円
(5) 配偶者の収入	約		円
(6) その他	約		円

Q29

(1) 学習研究費			
A. 授業料	約	44,000	円
B. 授業料以外	約	10,000	円
C. サークル等	約		円
(2) 通学費	約	8,000	円
(3) 食費	約	25,000	円
(4) 住居費	約	36,000	円
(5) 電気ガス水道	約	8,000	円
(6) 保険医療費	約	3,000	円
(7) 趣味娯楽	約	5,000	円
(8) その他	約		円
(9) 残額	約	1,000	円

計 約 140,000 円

計 約 140,000 円

※ Q27とQ29の合計額は、必ず同じ金額になるようにしてください。

※ Q29の授業料(1ヶ月分の金額)は、1年間の授業料を12で割る、または半年の授業料を6で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。

(例) 1年間の授業料 528,000円 → 月額 44,000円 (528,000÷12=44,000)

※ 記入する金額は、原則として1,000円単位で記入してください。

× 8,235円 ○ 8,000円

Please answer Q27 and Q29 after reading the following notices.

— Example —

Q27

(1) Allowance	about	63,000	yen
(2) Part-time job	about	29,000	yen
(3) Scholarship			
A. MEXT	about	48,000	yen
B. On campus	about		yen
C. Local government	about		yen
D. Private foundation	about		yen
E. Overseas organization	about		yen
F. Others	about		yen
(4) Acquaintance	about		yen
(5) Spouse	about		yen
(6) Others	about		yen

Q29

(1) Study fee			
A. Tuition	about	44,000	yen
B. Material fee	about	10,000	yen
C. Club activity	about		yen
(2) Commuting	about	8,000	yen
(3) Food	about	25,000	yen
(4) Rent	about	36,000	yen
(5) Utilities cost	about	8,000	yen
(6) Insurance etc.	about	3,000	yen
(7) Hobby etc.	about	5,000	yen
(8) Miscellaneous	about		yen
(9) Balance	about	1,000	yen

Total	about	140,000	yen
-------	-------	---------	-----

Total	about	140,000	yen
-------	-------	---------	-----

The two totals have to be the same amount!

※ “A. Tuition” of Q29 is monthly tuition (except entrance fee and temporary fee).

When you know only the tuition for one year, please divide it by 12.

Tuition for one year 528,000 yen → **Monthly tuition 44,000 yen** (528,000 ÷ 12 = 44,000)

※ Please fill the amount of money per 1,000 yen. × 8,235 yen ○ 8,000 yen

Q 27. 1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
How much is your monthly average income?

(1) 親・兄弟、または親戚からの仕送り

Allowance

約 about

円yen / 月month

(2) アルバイト

Part-time job

(3) 奨学金 Scholarship

A. 私費外国人留学生学習奨励費 (¥48,000、または¥30,000)

MEXT honors scholarship

B. 大学・学校からの奨学金

On-campus scholarship

C. 地方自治体 (都道府県市区町村) による援助金

Local government scholarship

D. 民間団体の奨学金

Private foundation scholarship

E. 海外の団体による奨学金 (日本以外の団体)

Scholarship of the overseas organization (Other than Japanese organization)

F. その他の奨学金

Others

(4) 知人の援助

Support from a guarantor or an acquaintance

(5) 配偶者の収入

Spouse's income

(6) その他

Others

合計 Total amount

約 about

円yen / 月month

↑ Q 29 の支出の合計が必ず確認してください。

Same as the total amount of Q29

Q 28. Q 27 (3) で学習奨励費を受けていると答えた人は、以下の質問に答えてください。

(受けていない人はQ 29へ進んでください。) If you receive MEXT honors scholarship, please answer the following questions. (If not, go to Q29.)

(1) 学習奨励費を受けて良かったことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are the merits of receiving MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた

Not having felt uneasiness about the daily life and could concentrate on study

2. 成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった

Became encouragement of your study

3. 奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった

Could have taken part in club activities in your school

4. 宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった Advantage in finding accommodation

5. その他 Others

(2) 学習奨励費の給付に対して今後望むことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What do you wish to MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 給付金額の増額 To increase the amount

2. 受給者数の増加 To increase the number of scholars

3. 海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やしてほしい

To increase the number of overseas applicants

4. 給付期間を1年間から延ばしてほしい To extend the duration from one year

5. 母国において、学習奨励費の情報が少なかったため、もっと情報提供してほしい

More information on MEXT honors scholarship

6. 学校内での選考について、もっと情報提供してほしい

More information on selection procedure of applicants in school

7. その他 Others

Q 2 9. 1ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
How much is your monthly average expenses?

(1) 学習研究費

Study fee

A. 授業料 (1ヶ月分の金額)

Tuition

約 about

円yen / 月month

B. 教科書、実習材料、文具等の経費 (授業料以外の経費)

Material fee (Textbook, training material, stationery)

C. サークル活動の会費、合宿費

Club activities

(2) 通学費 (定期代等)

Commuting expenses

(3) 食費

Food

(4) 住居費 (1ヶ月の家賃、寮費など)

Rent

(5) 電気、ガス、水道料金

Utilities cost

(6) 保険、医療費

Insurance and medical

(7) 趣味、娯楽費

Hobby and entertainment

(8) その他の日常的な経費 Miscellaneous

(洋服代、電話料金、交通費、消耗品等) (Clothes, mobile phone etc.)

(9) 残額

Balance

合計 Total amount

約 about

円yen / 月month

↑ Q 2 7 の収入の合計と同額か必ず確認してください。

↑ Same as the total amount of Q27

【アルバイトについてお聞きします。 Part-time job】

Q 3 0. 現在、アルバイトをしていますか。 Do you work part-time?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 3 2へ進んでください。) No (Go to Q32.)



Q 3 1. Q 3 0で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected "1.Yes" above, please answer the following questions.

(1) どのようなアルバイトをしていますか。(3つまで複数回答可)

What kind of part-time job? (You can give the multiple answers to three.)

- | | | |
|---|---|-----------------------------|
| 1. 家庭教師 Homework teacher | 2. 語学教師 Language teacher | |
| 3. 塾講師 Private supplementary school lecturer | | |
| 4. ティーチング アシスタント (TA)・リサーチアシスタント (RA) Teaching assistant (TA)/research assistant (RA) | | |
| 5. 一般事務 Office work | 6. 経理事務 Accounting work | |
| 7. 清掃 Cleaning | 8. 警備 Guard | 9. ビル管理 Building management |
| 10. ガソリンスタンド Gas stand | 11. 配達 Delivery | 12. 発送作業 Dispatch work |
| 13. 飲食業 Food | 14. 営業・販売(コンビニ等) Business/selling(convenience store etc.) | |
| 15. ホテル受付・ホール係 Reception/hall | 16. 出版物等の印刷作業 Printing work | |
| 17. 土木・建設作業 Construction work | 18. 引越業 Moving work | |
| 19. 工場での組立作業 Assembly work | 20. 倉庫整理 Warehouse rearranging | |
| 21. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | | |
| 22. プログラマー、オペレーター Computer programmer/operator | | |
| 23. グラフィック・デザイナー Computer graphic design | 24. その他 Others | |

(2) 1週間に何時間アルバイトをしていますか。

How many hours do you work part-time per week?

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 5時間未満 Less than 5 hours | 2. 5時間～10時間未満 5～10 hours |
| 3. 10時間～15時間未満 10～15 hours | 4. 15時間～20時間未満 15～20 hours |
| 5. 20時間～25時間未満 20～25 hours | 6. 25時間以上 More than 25 hours |

(3) なぜアルバイトをするのですか。 Why do you work part-time?

1. 日本での生活を維持するために必要だから To maintain your life in Japan
2. 日本人との交流等良い機会になるから
Good opportunity for communicating with Japanese people
3. 教養・娯楽等にあてる費用を得るため For your hobby and entertainment
4. その他 Others

(4) 主としてやっているアルバイトの時給（１時間あたりの単価）はいくらですか。

How much is the hourly wage?

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 800円未満 Less than 800 yen | 2. 800円～1,000円未満 800～1,000 yen |
| 3. 1,000円～1,200円未満 1,000～1,200 yen | 4. 1,200円～1,400円未満 1,200～1,400 yen |
| 5. 1,400円～1,600円未満 1,400～1,600 yen | 6. 1,600円～1,800円未満 1,600～1,800 yen |
| 7. 1,800円～2,000円未満 1,800～2,000 yen | 8. 2,000円以上 More than 2,000 yen |

【住居についてお聞きします。Accommodation】

Q 3 2. 現在、どの地域に住んでいますか。Where do you live in?

- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 北海道 Hokkaido | 2. 青森 Aomori | 3. 岩手 Iwate | 4. 宮城 Miyagi |
| 5. 秋田 Akita | 6. 山形 Yamagata | 7. 福島 Fukushima | 8. 茨城 Ibaraki |
| 9. 栃木 Tochigi | 10. 群馬 Gunma | 11. 埼玉 Saitama | 12. 千葉 Chiba |
| 13. 東京 Tokyo | 14. 神奈川 Kanagawa | 15. 新潟 Niigata | 16. 富山 Toyama |
| 17. 石川 Ishikawa | 18. 福井 Fukui | 19. 山梨 Yamanashi | 20. 長野 Nagano |
| 21. 岐阜 Gifu | 22. 静岡 Shizuoka | 23. 愛知 Aichi | 24. 三重 Mie |
| 25. 滋賀 Shiga | 26. 京都 Kyoto | 27. 大阪 Osaka | 28. 兵庫 Hyogo |
| 29. 奈良 Nara | 30. 和歌山 Wakayama | 31. 鳥取 Tottori | 32. 島根 Shimane |
| 33. 岡山 Okayama | 34. 広島 Hiroshima | 35. 山口 Yamaguchi | 36. 徳島 Tokushima |
| 37. 香川 Kagawa | 38. 愛媛 Ehime | 39. 高知 Kochi | 40. 福岡 Fukuoka |
| 41. 佐賀 Saga | 42. 長崎 Nagasaki | 43. 熊本 Kumamoto | 44. 大分 Oita |
| 45. 宮崎 Miyazaki | 46. 鹿児島 Kagoshima | 47. 沖縄 Okinawa | |

Q 3 3. どのような宿舎に住んでいますか。Which type of your current accommodation?

(1) どのような形態の宿舎に住んでいますか。

Which type of accommodation do you live in?

1. 民間アパート・マンション等 Private housing/apartment
2. 大学・学校の留学生用宿舎 International student residence set up by school
3. 大学・学校の一般学生寮 Student hostel set up by school
4. 県・市・財団法人の留学生宿舎 International student housing set up by local government
5. 公営住宅等の一般公的宿舎 Public housing
6. 企業の社員寮 Private company hostel
7. ホームステイ Home stay
8. その他 Others

(2) 宿舎を選ぶ際、重視したものは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What did you think as important in choosing accommodation? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 家賃・初期費用 Rent
2. 間取り・広さ Layout/width
3. 設備 Equipment
4. 学校からの距離・通学時間 Distance/commuting time
5. 周辺環境の利便性(駅が近い、買い物しやすい等) Convenience of neighboring environment
6. セキュリティ Security
7. 日本人との交流 Exchange with Japanese people
8. 留学生同士の交流 Exchange between international students

(3) 現在住んでいる部屋のうち、あなた個人が使用している面積はどの位の広さですか。

(キッチン・バス・トイレは除いてください。2人以上で住んでいる場合は、キッチン・バス・トイレを除いた部屋の広さを、住んでいる人の数で割ってください。たたみ1枚の広さは約1.6㎡です。)

About rooms you live in, how large is the area that you use individually?

(Except kitchen, bath/shower and toilet. If you live with two or more persons, please determine your own area. 1 tatami mat = about 1.6 m²)

1. 5㎡未満(たたみ約3枚分) Under 5 m² (3 tatami mats)
2. 5㎡～7.5㎡未満(たたみ約4枚～4.5枚分) 5 m²～7.5 m² (4～4.5 tatami mats)
3. 7.5㎡～10㎡未満(たたみ約5枚～6枚分) 7.5 m²～10 m² (5～6 tatami mats)
4. 10㎡～12.5㎡未満(たたみ約7枚～7.5枚分) 10 m²～12.5 m² (7～7.5 tatami mats)
5. 12.5㎡～15㎡未満(たたみ約8枚～9枚分) 12.5 m²～15 m² (8～9 tatami mats)
6. 15㎡～17.5㎡未満(たたみ約10枚～10.5枚分) 15 m²～17.5 m² (10～10.5 tatami mats)
7. 17.5㎡～20㎡未満(たたみ約11枚～12枚分) 17.5 m²～20 m² (11～12 tatami mats)
8. 20㎡～25㎡未満(たたみ約13枚～15枚分) 20 m²～25 m² (13～15 tatami mats)
9. 25㎡以上(たたみ約16枚分以上) Over 25 m² (Over 16 tatami mats)

(4) 現在住んでいる宿舎にキッチン、バス、シャワー、トイレはありますか。

Are there kitchen, bath/shower and toilet in your accommodation?

A. キッチン Kitchen

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

B. バス・シャワー Bath/shower

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

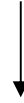
C. トイレ Toilet

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared

Q 3 4. ^{ひとり}^す 1人で住んでいますか。 Do you live alone?

1. はい (Q 3 6へ進んでください。) Yes (Go to Q36.)

2. いいえ No



Q 3 5. Q 3 4で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “2.No” above, please answer the following questions.

(1) ^{どうきょ}^{ひと}^{なんにん} 同居している人は何人ですか。(あなた以外)

How many people do you live together? (Except you)

1. ^{ひとり} 1人 One person

2. ^{ふたり} 2人 Two persons

3. ^{にん} 3人 Three persons

4. ^{にん} 4人 Four persons

5. ^{にんいじょう} 5人以上 More than five persons

(2) ^{だれ}^{どうきょ} 誰と同居していますか。

Whom do you live with?

1. ^{はいぐうしや}^{かぞく} 配偶者または家族 Spouse or family

2. ^{がいこくじんりゅうがくせい} 外国人留学生 International students

3. ^{にほんじんがくせい} 日本人学生 Japanese students

4. ^た その他 Others

Q 3 6. ^{げんざい}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 現在の宿 舎に入居が決まったとき、^{まいつき}^{やちん}^{べつ} 毎月の家賃とは別に、いくら^{けいひ}^{しききん}^{れいきんなど} 経費 (敷金・礼金等) がかりましたか。

How much did you pay the expenses (deposit) except the monthly rent in making a contract of your current accommodation?

1. なし Nothing

2. ^{まんえんみ}^{まん} 5万円未満 Less than 50,000 yen

3. ^{まんえん}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 5万円～10万円未満 50,000 ～ Less than 100,000 yen

4. ^{まんえん}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 10万円～20万円未満 100,000 ～ Less than 200,000 yen

5. ^{まんえん}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 20万円～30万円未満 200,000 ～ Less than 300,000yen

6. ^{まんえん}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 30万円～40万円未満 300,000 ～ Less than 400,000 yen

7. ^{まんえん}^{しゆくしや}^{にゆうきよ}^き 40万円～50万円未満 400,000 ～ Less than 500,000yen

8. ^{まんえんいじょう} 50万円以上 500,000 yen or more

Q 3 7. 宿舎の保証人を求められましたか。

Were you required a guarantor of your current accommodation?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 3 9へ進んでください。) No (Go to Q39.)



Q 3 8. Q 3 7で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

現在住んでいる宿舎の保証人は誰ですか。

If you selected “1.Yes” above, please answer the question.

Who is your guarantor of your current accommodation?

1. 大学・学校（代表者） School (Representative) 2. 大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. 国際交流団体（代表者） International exchange organization (Representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. 日本人の知人 Acquaintance (Japanese) 6. 日本人以外の知人 Acquaintance (Non-Japanese)
7. 親族 Relative 8. 保証人制度を利用する To use the guarantor system 9. その他 Others

【健康についてお聞きします。 Your health】

Q 3 9. 学校に入学してから病気やけがをしたことがありますか。また、その時どうしましたか。

（3つまで複数回答可）

Have you got disease or injuries since you enrolled in your school?

(You can give the multiple answers to three.)

1. 病気やけがをしたことがない No disease and injuries
2. 学校の保健管理センターや医務室に行った
Visited the health center or medical office in your school
3. 病院に行った Went to the hospital 4. 薬局で薬を買って治した Bought medicine
5. 病院にも薬局にも行かないで、我慢した Endured 6. その他 Others

Q 4 0. 健康保険についてお聞きします。 Health insurance

(1) 健康保険に加入していますか。

Do you join the health insurance?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 4 1へ進んでください。) No (Go to Q41.)



(2) 前の質問で「1. はい」と答えた人にお聞きします。

その健康保険の種類は次のどれですか。（3つまで複数回答可）

If you selected “1.Yes” above, please answer the following questions.

Which kind of the health insurance? (You can give the multiple answers to three.)

1. (日本) 国民健康保険 Japanese national health insurance
2. 海外旅行・留学保険 Overseas travel insurance/study abroad insurance
3. 親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険 Health insurance of your family
4. 所属する機関の健康保険 Health insurance by school
5. その他 Others

(3) 1ヶ月に合計どのくらいの金額を払っていますか。(次はQ42に進んでください。)

How much is the monthly payment of the health insurance? (Next, go to Q42.)

1. 無料 Free
2. 500円未満 Less than 500 yen
3. 500円～1,000円未満 500 ~ Less than 1,000 yen
4. 1,000円～1,500円未満 1,000 ~ Less than 1,500 yen
5. 1,500円～2,000円未満 1,500 ~ Less than 2,000 yen
6. 2,000円～2,500円未満 2,000 ~ Less than 2,500 yen
7. 2,500円～3,000円未満 2,500 ~ Less than 3,000 yen
8. 3,000円～3,500円未満 3,000 ~ Less than 3,500 yen
9. 3,500円以上 3,500 yen or more

Q41. Q40の(1)で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

健康保険に加入していない理由は次のどれですか。(加入している人は回答の必要はありません。)

What is the reason why you don't join the health insurance?

(If you selected "2.No" above in Q40-(1), please answer the question.)

1. 保険料が高すぎる Expensive
2. 保険が必要だと思わない Unnecessary
3. 国民健康保険への加入の仕方がわからない

Not knowing the subscription of the Japanese national health insurance

4. その他 Others

【卒業後の予定についてお聞きします。 Your plan after finishing your current school】

Q42. 現在在籍する学校の卒業後の予定はなんですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What will you do after finishing your current school in Japan?

(You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order of the most appropriate reasons.)

1. 日本において進学希望 (Q43に進んでください。) Further study in Japan (Go to Q43.)
2. 日本において就職希望 (Q44に進んでください。) Employment in Japan (Go to Q44.)
3. 日本において起業希望 Starting a business in Japan
4. 出身国において進学希望 Further study in your home country or region

5. 出身国において就職・起業希望
Employment/starting a business in your home country or region
6. 日本・出身国以外の国において進学希望
Further study except in Japan and in your home country or region
7. 日本・出身国以外の国において就職・起業希望
Employment/starting a business except in Japan and in your home country or region
8. まだ決めていない Not decided yet

Q 4 3. Q 4 2で「1. 日本において進学希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

どの課程への進学を考えていますか。

If you selected “1.Further study in Japan” in Q42, please answer the question.

Which course/school do you want to enroll in?

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (Non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短期大学 Junior college
8. 専修学校（専門課程） Professional training college
9. その他 Others

Q 4 4. Q 4 2で「2. 日本において就職希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “2.Employment in Japan” in Q42, please answer the following questions.

(1) どのような分野に就職を希望していますか。

(もっともあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What kind of job do you wish to engage in? (You can give the multiple answers to three.

Please fill in three answers in order from most appropriate.)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | 2. 海外業務 Overseas business |
| 3. 貿易業務 Trade | 4. 調査研究 Research |
| 6. 販売・営業 Business/selling | 7. 経営・管理業務 Management/administration |
| 8. 技術開発 Technology development | 9. 情報処理 Information processing |
| 10. 設計 Design | 11. その他 Others |

(2) 日本において就職した後の将来はどのように考えていますか。

What is your plan after employment in Japan?

1. 日本で永久に働きたい Want to work in Japan permanently
2. 日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい

Go back and find employment in your home country or region

3. ^{にほん はたら あと しょうらい にほん しゅっしんこくがい い しゅうしょく} 日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい
Find employment except in Japan and in your home country or region
4. ^{まだ} まだ決めていない Not decided yet

- (3) ^{にほん しゅうしょくかつどう} 日本での就職活動をする際に、^{さい} どのようなことを望みますか。
(^{もっと} 最もあてはまる^{かいとう} 回答を3つまで^{えら} 選び、^{かいとうようし} 回答用紙に^{あてはまる} あてはまる順に^{きにゆう} 記入してください。)
What do you expect in job hunting in Japan? (You can give the multiple answers to three.
Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. ^{ざいりゅうしかく へんこうてつづ かんそか てつづ きかん たんしゅくか} 在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
Simplification of the changing status of residence and shortening of a procedure period
2. ^{ざいりゅうしかく へんこう だんりよくてき みと きせいかんわ} 在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
Relaxing the regulation to be more flexible for changing status of residence
3. ^{りゅうがくせい たいしゅう しゅうしょく かん じょうほう じゅうじつ} 留学生を対象とした就職に関する情報の充実
More information on job hunting for international students
4. ^{がっこう りゅうがくせい たいしゅう しゅうしょくせつめいかい じゅうじつ} 学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
More offering the job hunting seminars for international students in school
5. ^{がっこう りゅうがくせい たい しゅうしょくそうだんまどぐち じゅうじつ} 学校の留学生に対する就職相談窓口の充実
More substantial of career consultation counter for international students in school
6. ^{きぎょう りゅうがくせい たいしゅう しゅうしょくせつめいかい かいさい} 企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
More offering the job hunting seminars for international students by company
7. ^{りゅうがくせい たいしゅう じゅうじつ} 留学生を対象としたインターンシップの充実
More substantial of internship for international students
8. ^た その他 Others

- (4) ^{にほん しゅうしょく} 日本での就職にあたり^{ふあん かん} 不安に感じることは何ですか。
(^{もっと} 最もあてはまる^{かいとう} 回答を3つまで^{えら} 選び、^{かいとうようし} 回答用紙に^{あてはまる} あてはまる順に^{きにゆう} 記入してください。)
What are your concerns prior to employment in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. ^{しよくば よ にんげんかんけい} 職場で良い人間関係をつくれるか Making good relationships at work
2. ^{じぶん にほんご つう} 自分の日本語が通じるか Japanese language ability
3. ^{きぼう しごと} 希望する仕事につけるか Getting a desired job
4. ^{にほん しょうかんしゅう} 日本の商慣習になじめるか Adaption for business practice
5. ^{こきやくたいおう もんだい} 顧客対応が問題なくできるか Customer service
6. ^{しつぱい} ビジネスマナーで失敗しないか Business manner
7. ^{じんじひようかせいど} どのような人事評価制度なのか Personnel evaluation system
8. ^{きんむち} 勤務地がどこになるか Working place
9. ^{てきせつ しごと すす} 適切に仕事を進められるか Working appropriately
10. ^{ろうどうじかん なが} 労働時間が長くないか Length of working hours
11. ^{きゅうよ たいぐう わる} 給与・待遇が悪くないか Salary and labor conditions
12. ^{じぶん せんもんちしき やくだ} 自分の専門知識が役立つか Putting technical knowledge to practical use

- 1 3. キャリアパスがどうなるのか Career path
- 1 4. 生活習慣の違いになじめるか Difference in a lifestyle
- 1 5. 不安はない Nothing
- 1 6. その他 Others

(5) 日本で就職した後、何年くらい日本で働きたいですか。

How long do you plan to work after employment in Japan?

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 1年未満 Less than 1 year | 2. 1年～3年未満 1～3 years |
| 3. 3年～5年未満 3～5 years | 4. 5年～10年未満 5～10 years |
| 5. 10年以上 More than 10 years | |

(6) 日本でインターンシップに参加したいと思いますか。

Do you want to participate in internship in Japan?

1. 思う Yes
2. 既に参加した、または現在参加している Already participated, or participating now.
3. 思わない No

(7) (6)の質問で「1. 思う」、または「2. 既に参加した、または現在参加している」と答えた人は、以下の質問に教えてください。

インターンシップに参加したいと思う理由（参加した理由）は何ですか。

If you selected “1.Yes” or “2. Already participated or participating now” above in (6), please answer the reason.

1. 就職が有利になりそうだから
It seems to become advantageous for your employment.
2. 日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから
It seems to be helpful for Japanese acquisition and your learning.
3. 就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから
To experience the atmosphere of Japanese company before your employment.

以上で終わりです。ご協力どうもありがとうございました。皆様のご活躍をお祈りしています。
Thank you for your kind cooperation!

平成 2 9 年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

編集・発行 独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 企画調査係

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

電 話 03-5520-6111

F A X 03-5520-6121

ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

©2019 年 <本書の一部または全部の無断複写、複製、転記等を禁じます。>